



# 同 窓 会 報



◆ 発 行 ◆ 宮城県仙台第二高等学校同窓会 〒980-8631 仙台市青葉区川内澁橋通1 ☎ 022-221-5651(直通)  
 ◆ Eメール ◆ info@sendainiko-dousokai.com ◆ URL ◆ https://www.sendainiko-dousokai.com  
 ◆ 印 刷 ◆ 創文印刷出版株式会社 〒980-0821 仙台市青葉区春日町8番34号 ☎ 022-222-0181

## 第 57 号



一高生応援席における、仙台二高応援団のエール交換(令和6年5月11日、楽天モバイルパーク宮城)

### 目次

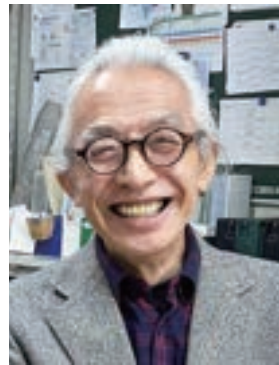
巻頭言 佐藤一郎会長「イマジン Imagine」.....	2
寄稿 大井龍司名誉会長「正論かひがみか」.....	4
校長挨拶 高橋賢校長「二高でのチャレンジ」.....	5
寄稿 元在ウクライナ特命全権大使 天江喜七郎 「今、世界は核戦争の危機に瀕している」.....	6
寄稿 高橋 賢「母校の更なる発展を願って」.....	6
寄稿 NY支部副会長 白田 正樹「人生を決めた瞬間だった」.....	7
寄稿 星野 誠「二高の少し南の山から」.....	7
支部総会・同期会報告.....	8
仙台二中・二高同窓会新年懇親会 (兼高乃二十歳を祝う会)の一案内 .....	14
二〇二四年度年間行事予定、理事会からのお知らせ.....	15
二〇二四年度評議員会報告 一般・特別会計二〇二二年度年度収支決算、 二〇二三年度年度予算報告.....	16
会費納入について.....	18
二〇二三年度同窓会入会式、卒業式、 二〇二四年度入学式報告.....	20
卒業記念品贈呈への感謝、大運動会報告、 囲碁部大会報告、寄贈図書.....	21
仙台二高・過去三年間の大学入試合格状況.....	23
仙台二高・部活動の記録.....	24
二〇二四年度定期戦、ゴルフ対抗戦・叙勲受賞者.....	35
会員計報.....	36
支部・OB会連絡先、評議員名簿、理事名簿.....	37
今春の人事異動、Webサイト活性化、 およびマーケティングリスト.....	40
「再登録」のお願い、交通の便、編集後記.....	40

巻頭言

「イマジン」Imagine」

田仙台二中・仙台二高同窓会会長

佐藤 一郎 (高17回)



はじめに

今回の第57号の仙台二高『同窓会報』は、一年半ぶりの発行となりました。その間、令和五年十月一日には、ニュースレター第10号、令和六年六月一日には、第11号が発刊されました。いずれにせよ、その年度ごとの評議員会、総会報告が載せられ、定期戦、北陵祭などの学校行事、また各地で行われる各支部報告など、できるかぎりの多くの情報を、『同窓会報』に掲載したい。このようなわけで、毎年六月発行から、一二月一日発行に変更いたしました。

同窓会活動

昨年(第56号『同窓会報』)発行以降の仙台二高同窓会活動について概略を報告します。

「卒業生歓迎会」(令和五年六月

一〇日、江陽グランドホテル)が開催され、若手同窓会員との交流が行われました。星野誠(高53回、TBC天気予報士)、秩父絵里(高63回、パークリー音楽大学首席卒業、作曲家)のお二人を、ゲストとして迎え、講演と演奏が行われました。

「定例評議員会」(五月二七日、江陽グランドホテル)が、次いで、「同窓会総会」(七月一日、江陽グランドホテル)が開催されました。小田中直樹(高34回、東北大学大学院経済学研究科長、経済学部長)が、「二一世紀における二高の役割・卒業生・同窓生・卒業生受入れの立場から」という演題で講演しました。東北大学においても、学生気質が変化してきており、自らの興味にしたがって研究テーマを設定している様子が窺えました。

「北陵祭」(九月二、三日)一年一組教室に、同窓会ブースが設置され、佐藤一郎『パリ・ノートルダム寺院』など二点、岩井純(高18回)『六華天目銀彩皿』、横山光太郎(高18回)、木村雅文(高22回)などの写真が展示されました。

「同窓会新年懇親会+高74回二十歳を祝う会」(令和六年一月六日、江陽グランドホテル)が、これまでの「PTA同窓会新年合同懇親会」をリニューアルし、名称も変え、開催されました。

江尻慎太郎(高48回)が「プロ野球選手からビジネスマンへ」という演題で講演しました。インタラクティブなパフォーマンスを交えた講演であり、若い同窓生には特に好評でありました。懇親会では、大井龍司名誉会長の御挨拶も加わり、和やかに進行しました。

参加者は、高74回二〇四名、一般学生四名、社会人七二名の計二八〇名でありました。

「同窓会入会式」(二月二九日、講堂)が挙行され、同窓会からは、会長、副会長四名の他に、斎藤雅樹理事、永見幸久(高29回)、太田康裕(高31回)評議員が出席しました。小野寺満明副会長より、「同窓会活動とその歩み」と題するパワーポイントによる説明があり、令和五年度(高76回)の、評議員(杉田知泰、嵯峨井颯)、常任委員(齋藤凜、杉田知泰、南健太、熊谷瑠景、畠山和子、香川幹央、阿部千慈、嵯峨井颯)に、同窓会長から委嘱状が手渡されました。

「卒業式」(三月一日、講堂)が挙行され、保護者も多数参列し、例年になく、女性生徒の色鮮やかな和装の出立が華やかでした。一組から八組まで、一人ひとりが

「はい」と言って起立し、その声が響き渡ります。各組代表の生徒に校長から卒業証書が授与されました。式辞、祝辞の終了後、突然、後藤悠里応援団長が登壇し、生徒全員が「雨か嵐か」を唱和し、われわれの時代とは異なり、メロディーが平坦になり、上下に動かす拍手でした。

「入学式」(四月八日、講堂)が挙行され、同窓会長、副会長三名、PTA会長ら保護者役員も来賓として、同席。また、六〇〇名を超える保護者の方々も後方に参列され、講堂は満杯。最後方に控えたブラスバンドが、国歌、校歌斉唱時に演奏し、彩りを供えた形態になりました。生徒合唱団による校歌斉唱の歌声に感動しました。高橋賢校長の式辞、新入生代表宣誓、祝辞と続きました。

「定例評議員会」(五月二五日)が江陽グランドホテルにて開催され、事業報告、計画案、収支決算報告、予算案、慶弔規約が審議され、了承されました。

令和五年度仙台二高同窓会収支決算書を見ると、収入は一三一八万円、会費収入は、七七〇万円であり予算案と比べると、一八〇万円減少しています。約五九〇人の同窓生が会費を納入していないということになります。しかし、入金金+寄付金収入は、五四八万円であり、予算案と比べると、一三八万円増加してい

ます。合算しますと、収入は、予算案と比べると、四二万円の赤字となります。

支出は、一二九二万円(内訳：校内活動助成費 一二〇万円、卒業記念品五八万円、同窓会報 三〇二万円、ニュースレター二〇二万円、同窓会活性化対策費一一二万円)になります。令和五年度分の繰越金は、二六万円となります。

「同窓会総会」(七月六日、江陽グランドホテル)が開催され(出席者総数七三名)、昨年と同様に、島田淳(高33回)在京同窓会幹事長にリモート中継のサポートをしていただきました。

天江喜七郎(高14回、ウクライナ特命全権大使、外務省参与、国立京都国際会館館長を歴任)が、『日本は異質な周辺国とどう付き合うべきか?』という演題で講演しました。グローバルな地球社会では、ウクライナ戦争、ガザ戦争と続き、情勢は不安定の一途をたどっている。東アジアにも波及する恐れがある。日本の安全保障を考える時、防衛力整備、日米同盟の効果的運用は当然であるが、周辺国との対話による日本の安全保障と相互理解が必要ではないか。そして、外務省にも仙台二高出身の女性があり、現在は、仙台二高における男女共学制度に賛同の意を示しているとのこと。

なお、令和六年度は、退任理事



はおらず、千田耕一副会長（高23回、会報統括）、横山政宣理事（高38回）、利大作理事（高41回）、内藤喜仁会計監事は、再任。

「北陵祭」（八月三十一日、九月一日、一年一組教室）に、同窓会ブースが設置され、佐藤一郎『石膏素描』六点、手戸雅巳（高15回、巨理支部長、写真）、庄司恒一（高22回、水彩画）、木村雅文（高22回、写真）などが展示されました。

そのほか、河北新報（四―九月、日曜版）「東北の文芸」欄に、山野辺太郎（高46回）作の『大観音の傾き』が連載されました。仙台弁がふんだんに活用され、牛久大仏までも登場しました。

一月一日且英夫（高20回）ニューヨーク支部長が来仙し、ホテルでの朝食会でお話を聞きました。『米語でウォッチ！日本からは見えないアメリカの真実』を拝見したのですが、新聞・ネットでの実際の英文例を引用し、生きた「米語」の語学教材にもなっていました。

令和6年度第七十九回仙台第二高等学校入学式、同窓会会長祝辞

「令和六（二〇二四）年元日、能登半島地震があり、自然の力は暴力的であり、破滅的な能登の姿を目の当たりにしました。震災によって亡くなられた、あるいは被害を受けられた人々に哀悼の意を捧げたいと思います。」

一方、コロナ禍、ウクライナ、あるいはパレスチナにおける戦争と、人間の力も暴力的な姿を曝しております。時間、空間が短縮され、網の目のように形成されたこの「グローバルな地球社会」で起きるさまざまな事象は、「ローカルな地域社会」でも、その影響から逃れ出ることができません。しかしながら、世界中を席巻したコロナ禍は終息を迎えてきました。このような状況のもと、宮城県仙台第二高等学校における、令和六年度、第七十九回、入学式が、ここ講堂において、無事挙行されることとなりました。栄えある今日を迎えた新入生は、男子一八三名 女子一三七名、合計三二〇名とお聞きしております。

宮城県仙台第二高等学校同窓会を代表いたしました。勉学を積み重ね、見事合格した新入生の皆さんにお祝いを申し上げますと共に、今日というこの入学式を迎えるにあたって、これまで一生懸命にサポートに徹してきた保護者の方々が、このように多数御列席いただきありがとうございます。

入学式は、新入生をお迎えするために「いはふ」儀式であり、最初の「おもてなし」をする場となっています。ここ講堂にお集まりの新入生は、はじめて仙台二高という共同体に入るべく、訪れた「客人」といえるかもしれませぬ。さて、昨年、高橋賢校長からお

聞きしたのですが、コロナ禍で中断していたアメリカ研修旅行が昨年再開したとのことでした。その際、旅費の高騰もあり、巡る都市は、ボストンにほぼ限定されてしまったそうです。ボストンといえば、東京美術学校（現在の東京藝術大学美術学部）校長であった岡倉天心が長らく中国、日本部長として勤めていたボストン美術館があります。天心は、英語を幼少時から学び、欧米文化に触れ、東洋、日本文化のなんたるかを語る必要性を感じていたのでしょう。『茶の本』『The Book of Tea』を英語で出版しています。

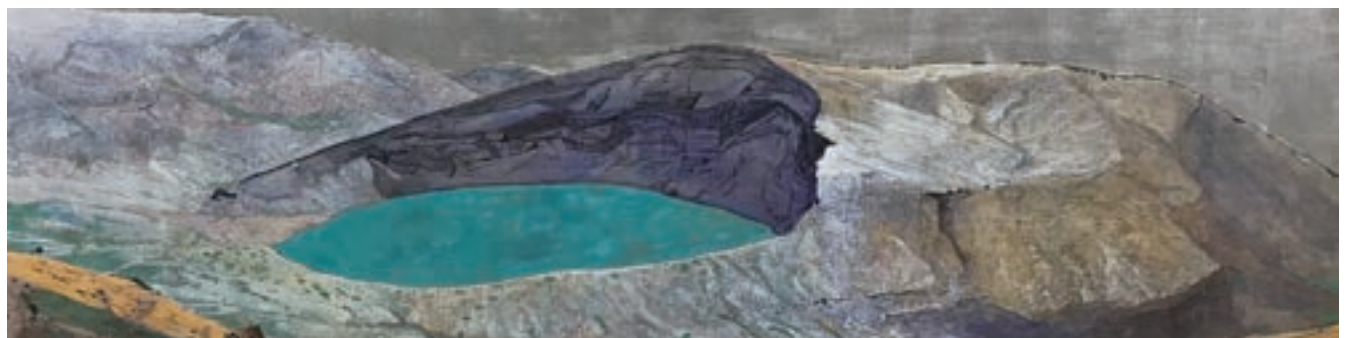
三十年以上に、わたくしは、東洋部作品の展示を含めて所蔵品を鑑賞しようと、二日ほどボストン美術館に滞在したことがあります。わたくしの大学生時代、約六十年前の上野の本館本造校舎にあった、擬宝珠の付いた手摺階段とか、大机などの調度品が、ボストン美術館にまったく同一のものがあり、明治時代にタイムスリップした感じになりました。

加えて、ヨーロッパの印象派、後期印象派の傑作も多く、ゴーギャンのタヒチで描かれた最大の作品である『われわれはどこから来たのか。われわれはどこへ行くのか。われわれはどこへ行くのか。』も陳列されていました。絵そのものも素晴らしい作品です

が「Where Do We Come From ? What Are We ? Where Are We Going ?」という題名に反応して自問自答してしまいました。昔日の日々、日本に飛来する白鳥も、「どこからきて、どこへ行くのか」と、日本に住む人々は不可思議に思っていたでしょう。谷川健一『白鳥伝説』を読んだとき、鉄砲で白鳥を撃つことは「白石ばかりは無用に候」と手紙で注意を与えているのです。このように、秋になると飛来し、春になると飛び立つ白鳥は、稀に顧客人として遇されており、大切に扱われてきたのです。刈田嶺神社は、白鳥神を祀っており、この事実は、清和天皇の貞観十一年（八六九）までさかのぼれるといわれています。

白鳥は、日本武尊（ヤマトノミコ）が語られている記紀の時代から日本人の靈魂のかたどりとみなされてきたのでしょうか。

わたくしの幼き頃を少し思い出してみます。小学一年生の春、青葉の山、青葉城址へ、花見遠足で登りました。小学校時代、毎夏、松淵、賢淵の廣瀬の流れで水泳をしました。とにかく、牛越橋から



佐藤一郎「蔵王御釜」部分 2007年 宮城県美術館蔵 麻布、白亜地、墨汁、銀箔、雲母銀泥、水彩絵具、膠絵具、卵テンペラ絵具、油絵具

瀬橋までの河原は、遊び場であり、中学生や高校生になっても、瀬橋の袂の土手によく寝そべってしました。青空を移動する雲の流れを追うと、いつの間にか雲に身をまかせている自分を発見し、身体までもふわふわ動いていく感覚にとられます。将来の生きる方向性が定まらず、悩んでいたからかもしれせん。

そのような時期、絵を描くことが唯一の楽しみでした。線を引く、色を塗る行為が楽しい。画面のなかの、その線と色とを見ていると、心が少し動くのです。筆を動かすと、次の一手のアイデアが生まれ、線が加えられ、色も加えられる。目による対象物と画面との往還には、手の運動も加わり、知らず知らずのうちに、画面はできあがってきます。そこには、自意識によるコントロールではない、無意識の心身の働きがあったようなのです。

このような絵画制作という二高美術部での体験が積み重なり、二年次には、美術教師二宮不二磨先生のすゝめもあり、東京藝術大学絵画科油画専攻受験へと舵を切ったのです。と同時に、応援団副団長に推されてしまいました。

男女共学となった仙台二高であっても、新入生には、等しく応援練習が課せられていると、聞いております。是非、応援歌を覚え、大きな声で歌ってください。応援

歌練習を積み重ね、試合で応援すると、きっと満ち足りた気分が、そして仲間としての一体感が醸しだされ、そこに喜びと笑いにみちた空間に包まれるでしょう。

仙台二高は、お互いがそれぞれの立場を尊重し、多様性を秘めたそれぞれの人格を認め合う場なのです。人と人の会話、コミュニケーションは、微笑み合いながら、共に感じ合い、会話が積み重ねられると仲間としての信頼感が生まれ、この小さな共同体はより活性化するのでしょう。対一高定期戦の応援の伝統もその現れだろうと思います。

仙台二高でのこれから、「ともに」ともに いそしまむ いざいざ怠らず」、勉強研鑽と身体運動がハイブリットに重なり合う、「文武一道」に努め、仲間と一緒に、真摯に励んでください。そのように集中すると、いつもは気づけない、心の奥深くにある本来の「自分自身、自己」の姿を発見してしまふことがあります。そのような心の声を聞くことができないうると、「自分自身」の、氷山の一角に過ぎない、表面に見出される「自意識、自我」に頼ってしまひます。そうなる、短絡的に結果を求め、たとえば偏差値至上主義や、極端な拝金主義も生まれてしまうのです。

純粋無垢な、なにものにも穢されていけない白鳥のような新入生の

みなさん、三年後には飛び立ってしまひます。三年間、本来の真の自己探求に励み、心の奥深くにある「自分自身、自己」に限りない信頼を寄せ、その秘めたる小さな種子を丁寧な育んでください。一人ひとりの文武一道を試行錯誤しながら開拓してください。

近い将来、「ローカルな地域社会」と「グローバルな地球社会」の一員として、なにかを作りたい、厳しさを乗り越えて、その厳しさのおかげで身近な人々にありがとうといえる人間としての成長を祈念いたします。

わたくしは、ビートルズを聴きながら、高校、大学時代を過ごした世代に属しますが、最後に、ジョン・レノンとオノ・ヨーコが共同で作詞作曲した「Imagine」の一節を読んで、祝辞といたします。

You may say I'm a dreamer  
But I'm not the only one  
I hope someday you'll join us  
And the world will live as one

令和六年四月十日

旧仙台二中・仙台二高同窓会会長  
佐藤一郎

寄稿

「正論かひがみか」

旧仙台二中・仙台二高同窓会名誉会長

大井 龍司 (高10回)



以前私は同窓会長在任中、第51号会報に「ノーベル賞と甲子園」と題した巻頭言を寄せた。そこでは仙台二高硬式野球部が我々同窓生に甲子園球場のアルプスタンドで校歌を謳わせてもらいたいということと、「野球強豪校」があまりにも勝ちに拘り過ぎたり、あるいは野球に自校の揚名効果を期待するために素質ある中学生を県外遠くから入学させるいわゆる野球留学(越境入学)への疑問を述べた。その風潮は以前から問題視されてはいるものの、残念ながらそれは今でも続いている。テレビやラジオでは、しばしば甲子園出場校を「名門」と呼ぶことがあるが、私はそれに異議あり、名門ではなく野球強豪校、百歩譲って野球伝統校というべきではないだろうか。

昭和三十一年までに三度の甲子園大会出場を果たしている「名門」仙台二高は、残念ながら今年(二〇二四年)も県大会の予選で早々と姿を消した。そのような中、公立高校で唯一本大会8強入りした島根県代表の大法高校は三十二年ぶりに出場し一〇七年ぶりの二勝、九十三年ぶりの準々決勝進出とその活躍が話題を呼び、酷暑の中われわれ高校野球ファンにとって一幅の清涼剤になった。その大法高校のベンチ入り選手の全員が地元島根県内出身者である(なお金足農高、石橋高、掛川高、南陽工高など公立出場高の殆どが同様)一方、その他のいわゆる野球強豪校ではその半数、極端な場合その大部分が県外出身者で占められていた。

以前、県内出身の選手が一人もいない九州の某高校が甲子園大会で優勝した時、通常見られる地元での大歓迎を受ける風景はなく、選手たちが帰郷時の駅頭には人もまばらとのニュースを耳にしたことがある。今回の準々決勝で、大法高校サイドのアルプスタンドは現役生徒や地元の人たちからなる大応援団で埋め尽くされていた



が、それとは対照的に、県内出身者が二十人中七人と少なかつた鹿児島県私立某学園の応援風景は寂しいものであった。高校野球が単にその学校のみならず如何に地元で愛されているか、愛されるべきかが分かるというものである。

日頃から全国大会でその活躍が目立つ仙台育英高校野球部須江航監督の「東北のみなさん、甲子園にエネルギーを送ってください」とのコメントが、地元の高校野球ファンのところを掴んだことは記憶に新しい。些か「了見が狭くないか？」とお叱りを受けるかもしれないが、高等学校の野球部はやはり地元の出身者で構成されるのが本来の姿ではないかというのが私の持論である。これは「正論」で

あろうか、それとも現状のままでは到底叶わない夢を追う母校一同

窓生の単なる「ひがみ」なのであろうか。



大井龍司名誉会長寄贈の垂れ幕「宮城県仙台第二高等学校同窓会」が、今年も定期戦当日スタンドに設置された。

## 「二高でのチャレンジ」

校長 高橋 賢 (高35回)

校長挨拶



令和六年度も順調に教育活動が行われ、生徒達も学習、学校行事、部活動など全てに一生懸命取り組

み、様々な場面で活躍を見せています。これも二高のことを大事に思っていたらいている同窓生や保護者、関係する方々のご支援、ご協力のおかげだとつくづく感じています。本当にありがとうございます。さて、校長として本校に赴任して三年目となりました。来年度の三月末に役職定年を迎え、二高の校長としては定年退職となります。あつという間の時間でしたが、最

後に自分の母校の校長として勤められたことは、高校教師として最高の幸せだと思います。この後に残された時間は少ないのですが、二高のために、やれることは全てやりきりたいと考えています。最後の一年となった今年度、自分自身にとって大きなチャレンジがありました。それは、二高伝統の登山行事である「岩手山登山」に行き、生徒と一緒に山頂まで登るといふことです。きっかけは歴代の校長先生方の中にも登られた人もいると聞いたことですが、いつも生徒に対し、チャレンジすることが大切なことだと伝え続けて

きましましたが、自分で挑戦しているものがあるかというとは、はっきりとしたものがないと感じ、この最後の年の区切りとして、また、来年度からの再出発に向けて、まだまだやれること、できることを確認したかったことがチャレンジの一つ理由でした。もう一つの理由は、二年間、岩手山登山をする生徒を見て、登山後の姿が本当に素晴らしいと思っていたことや、二年半の間、学校生活の中で生徒を見てきて、二高生が、勉強も部活動も行事も、何事にも頑張る姿にいつも感動していたその姿を見て、自分自身もこの学校で生徒と一緒にいって、何か一つだけでもいいから達成したかったことです。

しかし、六十歳で登山未経験者(二高時代に栗駒山は登りましたが)の私にとって、このチャレンジは無謀だったような気がします。というのも、十五年間までは、私も高校教員として授業や部活動、担任などをしていたのですが、十五年前から全く違う仕事をしていて、この十五年間は運動らしい運動を一切しなかったため、体重も当時から十kg以上も重くなり、筋力は衰えていましたし、三階まで階段を上ると息が切れる状態でした。この状態からも、今回生徒と一緒に岩手山を登るといふのは難しいことだったと思いますし、家族からはケガしたりして先生方や生徒に迷惑をかけるからやめなさいと反対されました。ただ、今回はこのチャレンジを成功したいという気持ちがとても強く、四月中旬からジムに通い始め、トレーニングを行い、本番一か月前には下見にも行きました。(下見の時は五合目で足がつって大変でしたが)その甲斐あって、七月十八日の登山当日は七kg減量した身体で、無事に山頂にたどり着き、最高の経験ができたと思います。人は、何か頑張るときに「頑張る理由」と「頑張れる理由」があることが大切だと思います。今回、自分はまだまだできることを確認し、自信を持ちたいと思ったことが「頑張る理由」でした。そして、二高の生徒と一緒に達成したいという気持ち「頑張れる理由」だったと思います。登山は本当にきつかったのですが、あの日から以前よりも更に前向きな気持ちで生活しているのは確かです。最後にありますが、十月上旬から岩手山の噴火警戒レベルが上がり、入山規制が行われています。来年度の登山に影響があるかもしれません。私が、私は、この二高伝統の登山の素晴らしさを味わい、将来の二高生にも経験してほしいと考えます。実施するまでには、難しい課題も多くありますが、是非、継続していきけるように願っています。

寄稿

# 「今、世界は核戦争の危機に瀕している」

## 元在ウクライナ特命全権大使 天江喜七郎（高14回）

一九九〇年代後半、東西冷戦に終止符が打たれ、ヒト、モノ、カネ、情報国境を越えて自由に移動するグローバル化の時代が到来した。その最大の裨益者は唯一の超大国アメリカであり「バックス・アメリカカーナ」の時代が続いた。しかし満ちた月が欠ける如く、今日世界は再び対立と分断の時代に戻りつつある。

二〇二二年二月、ロシア軍の全面的侵攻が始まったウクライナ戦争は、間もなく三年目に入る。しかしトネルの先にまだ和平の光は見えない。それどころかプーチン大統領は、NATOによる対ウクライナ武器供与に反発して核兵器使用を準備するなど、具体化へのハードルを上げてきた。今年のノーベル平和賞に日本の被爆者団体が選ばれたことは、核兵器使用が現実味を帯びていることに対する国際社会の強い危機感がその背景にある。

プーチン大統領が、抵抗するウクライナに対し戦術核兵器の使用に踏み切ったらどうなるか。  
第一に、ロシアは世界中から非難され外交的に孤立するだろう。

西側による対口制裁が格段に強化され、国交断絶に至るかも知れない。ロシアの核使用を黙認する国と非難する国との間で、国際社会は更に分断を深めるだろう。

第二に、ウクライナは不本意な和平に応じざるを得ないだろう。抵抗を続けられ、ロシアは第二、第三の核攻撃も辞さないからである。ウクライナが強く望んでも、世界大戦を回避したいNATOが核兵器を供与することはあり得ない。戦争はロシア優位の中で終結へ向かうだろうが、NATOとロシアとの緊張関係は一層深まるだろう。

第三に、核非拡散条約（NPT）体制は崩壊し、各国の核開発に歯止めが利かなくなるだろう。北朝鮮は公然と自国の核保有を正当化し、ロシアの支援を得て核による恫喝を強めるだろう。台湾統一を目指す中国も核の使用をほのめかし、一層攻撃的になる恐れがある。韓国や台湾では核武装論が本格化し、日本の安全保障にも影響を及ぼすだろう。

この様なおぞましい事態に陥ることを、日本は率先して阻止せねばならない。

被爆協に対するノーベル平和賞の授与は、核廃絶に対する被爆者の長年の行動に報いるためだけでなく、今を生きる人類すべてが、核兵器の不使用と究極的な廃絶に一致して取り組む必要を訴えている。  
(2024・10・20)

寄稿

# 「母校の更なる発展を願って」

## 高橋 賢（高17回）

八年前の平成二十八年五月二十日に第一回三九学遊会が開かれ、途中コロナのため何度か中止になりましたが、本年九月八日に記念すべき第二十回学遊会が初回の二十九名を上回る三十八名が参加して盛大に開催されました。一年後輩の著名な陶芸家岩井純君も前回に引き続き、特別会員として参加してくれました。この三九学遊会には昭和三十九年度卒業の同期会であり、詳細については同窓会報



56号で幹事の犬飼健郎君が詳しく説明してくれています。

今回佐藤一郎同窓会長の指名で高17回の高橋賢（現校長と同姓同名）が寄稿させていただきましたことになりました。私は一九六二年（昭和三十七年）に栗原郡（現栗原市）若柳中学からあこがれの仙台二高に入学しました。当時も仙台二高をライバルとして競い合っていました。一年の時は入学早々応援団の洗礼を受けて、てのひらは割れ、喉は枯れてしまいました。団長の方は穏やかな方でしたが幹部長の方（既に鬼籍に入られました）は金歯を光らせて今というパワーハラスメントでとても怖い思いをしました。授業はラッキョ、ガマ、パテレン、ホラゾウと呼ばれた個性的な先生方が厳しく優しく指導してくれました。毎日早弁を走って昼休みは校庭でソフトボールに走り廻った楽しい思い出もあります。どうしても理数が克服できず、当初志望の医学部は断念しました。人生最初の挫折を味わいま

した。それでも何とか地元の大学に入りましたが、当時は学生運動が激しくて特に卒業時は七十年安保の真只中、周囲の学生デモや無期限ストライキを目の当たりにして全く自分を見失ってしまい、当然の結果として就職活動にも身が入らず受験した新聞社などはすべて落ちました。人生第二の挫折を味わいました。大卒後二年半だけは所謂大手の印刷会社に席を置きました。その後の大半は中小零細企業で働き、六十歳になって初めて起業して十一年間社長で頑張りましたが、そんな人生を送ってきましたが、何とか喜寿（七十七歳）まで生きてこられたのは、仙台二高の同期や先輩や後輩の方々があらゆる難局で手をさしのべてくれたからだと思います。その意味で私にとって仙台二高は「救いの神」であり「誇り」であり「心の支え」であります。「感謝以外の言葉」は浮かびません。

最後に同窓会の活性化について評議員として若干意見を述べさせていただきます。

私は五十代前半に評議員に選ばれ、北陵会館での評議委員会に出席して初めて同窓会の重要さを認識しました。当時は共学の是非めぐり、激しい意見がかわされました。大勢は共学反対でしたが共存のように二〇〇七年に母校は共学になりました。

同窓会費の納付率が二割を下



回っている現在の数字を上げ、活動を活性化するために、女性の理事をなるべく早く誕生させるべきと思います。女性の応援団長が誕生するなど共学化以降、二十年近くたち最近のOGの活躍は目ざましいものがあります。更には同窓会に関心を持つのは特別な場合を除き四十〜五十代だと思いが、若いOB、OGの世代に同窓

寄稿

### 「人生を決めた瞬間だった」

NY支部副会長 白田 正樹 (高20回)

中学時代まで特に合唱に興味があったわけではなかった。音楽の成績も特によかったわけでもなかった。そんな私が二高に入学して「たまたま」入ったのが合唱団でした。「嫌になったら直ぐ辞めよう」という軽い気持ちでした。

でも私は忽ち男声合唱の重厚なハーモニーの虜になってしまった

のです。当時は勿論共学ではないから男声だけでした。しかも四十人！二年生になると指揮者に祭り上げられ何と指導する立場になりました。東北大に入った時も迷うことなく男声合唱団に入団。こちらは一〇〇人近い大合唱団でした。そこでも指揮者になりました。幅広いジャンルの歌をアカペラで簡単にハモるのが男声合唱の魅力ですが、日本語の詩に独特のハー

会の存在やその重要性を意識してもらう事は極めて大事と考えます。その意味で昨年から始まった「二十歳を祝う会」は画期的だと思います。必ず将来の同窓会の活性化に役立つものと考えます。私も体と金の続く限り、若いOB、OGの将来が輝くよう「仙台二高に栄光あれ」と心から願っております。

モニータつけた男声合唱組曲も人気でした。その分野では通称「タダタケ」で知られる作曲家多田武彦氏は男声合唱の経験者なら誰でも知っている「神様」です。銀行員でもあった氏は、二足の草鞋を履く「サラリーマン作曲家」としても注目されていました。

東北学院大グリークラブとの合同演奏で、氏の代表作を取り上げる事に決めた私は、当時富士銀行新橋支店次長だった多田氏に「教え」を請いに何度も上京しました。そして仙台での本番後の打ち上げ時には自分の進路相談に乗ってもらうまでになったのです。川崎重工や商社など数社から内定をもらっていた私に「そりゃあ白田君、川重だよ」という氏の一言で私は川重に決めたのでした。

入社三年目で川重のニューヨーク駐在となった私はその後独立。もうすぐアメリカ生活は半世紀になります。波乱万丈のアメリカ生活でしたがずっと合唱には縁がありました。既存の男声合唱団だけでなく新たに混声合唱団や子供合唱団も立ち上げました。同時多発テロの後はNPOを立ち上げ、音楽プロデューサーとしても活動の場を広げると同時に合唱を通しての国際交流にも関わってきました。

寄稿

### 「二高の少し南の山から」

星野 誠 (高53回)

今年、伊達政宗が支倉常長を大使として派遣した慶長遣欧使節がスペインに到着して四一〇年です。そこで宮城県で公募して結成した「コロ・はせくら」合唱団を引き連れて、コロナで中断していたハボンさん達（慶長使節でスペインに残った侍たちの末裔）との交流を再開します。「あの時、二高で合唱団に入らなかったら、」まさに自分の人生を決めた瞬間だったのだと思う。

現在、私は仙台二高から直線距離で二キロほどの八木山にある、東北放送に勤めています。気象予報士としてテレビやラジオで天気予報をお伝えさせていただいていることもあり、二〇二三年六月に開催された仙台二高同窓会の若手交流会にゲストとしてお招きいただきました。私は在校時は美術部

で油絵を主に描いていたのですが、この会では美術部の大先輩で油絵の第一人者である佐藤一郎同窓会長にお会いすることができ、大変感銘を受けました。近年は共学化したこともあって美術部員も増えているようで、私が県や仙台市の展覧会に足を運ぶと、後輩た

ちの力作を多く見かけるのは嬉しい限りです。また、理事を務めている私の同級生と名刺交換をしたところ、実は弊社が番組の企画で大変お世話になっている企業で働いていることが分かり大いに刺激を受けました。そして何より、高校を卒業して間もない若手がこれだけの大規模な会を見事に企画・進行している様は、さすが二高生と思われました。改めてこうした貴重な機会に登壇させていただいたことに、ご関係の皆様にお礼申し上げます。

私は子どもの頃から天気や天文に興味があり、二高に入学した時点で、そうした分野を研究できる

ような大学に進みたいという意向を持っていました（ということを書いた記憶があります）。天気や天文は、理科の分野でいうと地学になるのですが、これを学問として理解するとなると物理の知識が必要になります。理系クラスで理科は物理を選択した私でしたが、頭の思考回路はどうにも文系タイプだったようで、大野先生の物理の授業はなかなか苦戦したことを覚えています。一方、当時は、一九九三年に誕生した「気象予報士」という資格がある名にはじめていた頃でした。そうした中、私は当時のテレビ朝日の「ニュースステーション」(現「報道ステーション」)に、現役の横浜国立大学生の気象予報士が出演しているのを目にします。現在はTBSテレビの「THE TIME」などで活躍されている増田雅昭気象予報士です。大学生でも予報士として最前線で活躍している人がいるのかと驚かされた私は、進学したらこの資格を取ろうと決めました。一回の試験での合格率は五%前後と簡単な資格ではありませんが、大学三年時に二回目の試験で合格することができました。「学生で合格するなんてすごい」という声をいただくこともあるのでありますが、個人的には社会人になって仕事をしながら時間もない中で勉強するより、頭も柔らかい学生時代にこういう資格取得

などに力を注ぐ方が良いのではと感じています。

その後、大学院の修士課程まで進んだのち、就職活動で気象予報業務に力を入れていた東北放送に入社した私ですが、最初に配属されたのは報道部でした。いわゆる記者の仕事です。これがなかなか大変で、ニュースの内容・テーマというのとはかく多岐にわたります。人数が少ないローカル局では、事件・事故、行政の動き、災害報道といった固いネタから、巷で話題になっていくゆるい「街ネタ」まで、一人の記者が担当するネタの振り幅も大きくなります。このため様々な世の中の動き・仕組みを「ある程度は」知っていることが求められます。「知らないこと」を取材対象者にあれこれ質問して視聴者の皆さんに伝えることが記者の役目なのですが、何も知らない「何を聞いてよいか分からない」ところからスタートとなります。日々、二高時代以上に？勉強の毎日でした。ちなみにちょうど私の入社した年が二高が共学化された年で、共学化後の初めての運動会も取材で赴きましたが、「女子がいる！」というカルチャーショックを受けてながらの取材だったことを覚えています。数年後からはニュースや情報番組、ラジオの天気予報を担当させてもらうようになりましたが、記者時代に培った「どうすれ

ば限られた尺で適切に分かりやすく、面白く伝えられるか」という視点は、今の天気予報の伝え方にも生かされていると感じます。

近年、地球温暖化に伴い、大雨や台風といった気象災害の激甚化が指摘されています。そんな中で個人的に重要だと感じているのが、「認知バイアス」という心理学のキーワードです。二〇一八年七月に中国地方などを襲った西日本豪雨では、避難勧告が出されているのに「どうせここは大丈夫だろう」と避難せず逃げ遅れた人が多かったことが指摘されました。特に、認知バイアスの一種である、何か異常なことが起きていたとしても「これは大したことじゃない」と感じてしまう「正常性バイアス」はよく知られているかもしれません。自らの先入観、思い込みなどにより非合理的な「偏った」判断をしてしまうこの「認知バイアス」が、災害の時には命取りになってしまふ、という特集を私は二〇一九年の夏に取材し放送しました。今後も県民の命と財産を守るために必要な情報を伝えるべく、様々な方面にアンテナを張っていきたいと思います。拙稿をご覧の皆様も、ぜひ放送で取り上げられる防災・減災にかかわる話題に関心を持っていただき、災害に強い暮らしにつなげていただければ幸いです。

# 支部総会等開催報告

## 支部総会報告

### 在京同窓会

島田 淳(幹事長/高33回)

支部・在京同窓会の年間活動状況  
コロナ禍を挟んでの在京同窓会の活動をまとめて報告いたします。  
二〇一九年十一月には一三三名が総会・懇親会に集まりました。  
二〇一六年から新人歓迎会・若手交流会(五月)の開催を始めたことで、一時は二桁台に参加数を減らした総会も賑わいを取り戻してました。総会は淡々と短く、懇親会は盛大にエンタメ要素も組み入れました。

二〇二〇年は中止。二〇二一年十二月にはオンラインのみで開催しました。画面を使用する利点を生かし、前半は青葉城址から二高校舎まで車で移動するレポーター(高69回太田直希さん・現在



2021年完全オンラインダイジェストYouTube限定公開2分動画



2024年5月19日 若手交流会・新人歓迎会で談笑する在京同窓会上條努会長と若手ら

NHK仙台勤務)、校長、生徒会長、佐藤一郎同窓会会長の事前インタビューを織り交ぜ、見て楽しむ同窓会にしました。後半は一〇〇名の参加者が十一グループに分かれたオンライン飲み会です。通販で購入いただいた女川の水産加工品もおつまみに楽しんでいただきました。二〇二二年五月、大学生は授業もオンライン、集う習慣も無い時期にリアルでの新人歓迎会・若手交流会を実施しました。企業や組織が会合を自粛していた頃です。同窓会なら自己責任でできると判断し、小規模ながら復活させました。それが二〇二二年のリアル復活(九十四名)&オンライン(三十名)の計一二四名参加に繋がりました。企画を沢山入れたの



2024年8月31日 北社会

は飲む時間を少し減らすコロナ対策でもありました。  
二〇二三年の総会・懇親会はリアル参加者が増して一一五名。懇談の前には青葉亭ずんだもつ(高74回・岡本朱里さん)の落語を楽しみ、懇親会は企画を作らず、懇談の時間を十分に設けました。オンライン参加の希望者も多く今後



2024年8月5-6日 未来キャリア創造プロジェクト

も続けていきます。  
また、現役高校一年生が東京に





2023年12月17日 総会・懇親会



来て学習する八月の「未来キャリア創造プロジェクト」。二〇二四年在京同窓会から講師役の社会人

山形北陵会総会  
令和五年九月二十四日に第七回の支部総会が行われました。

### 山形北陵会 阿子島 功 (高14回)

今回も多くの参加を見込み、在京同窓会会長上條努さん(高24回)を中心に大いに盛り上がりです。

一日当たり十四名の参加。前年から倍層しています。副会長菅井明則さん(高30回)がまとめ役・連絡役として尽力しました。いずれは二高卒業生で一日全三十席を埋められる勢いです。

北杜会(一九七五年)は、在京同窓会と並行する卒業生を講師に招いた在京の勉強会です。三四月目の二〇二〇年一月開催から休会していましたが、八月三十一日に久々の開催となりました。兩國慶さん(高49回 クラブ経営者)が新宿歌舞伎町をテーマに講師を務め、副会長練生川淳志さん(高30回)の司会で盛り上がりました。場所を替えた懇親会場は定員いっぱいを集める大盛況となりました。今回を機に北杜会を在京同窓会の行事とし、今後も一年に複数回の開催をして参ります。

いよいよ二〇二四年は十二月十五日(日)十三時から、年次総会を恒例の浅草ビューホテルで開催です。

山形県支部発足は平成二十六年(二〇一四)年で、仙道富士郎会長(現名誉会長)のもと十年が経過しましたが、新型コロナウイルス感染症流行のためしばしお休みとなっていました。山形県の最上川舟唄(昭和十一年頃作曲された)に、「流行り風邪などひかぬよう」とあるのはその十八・十六年ほど前の大正時代のスペイン風邪の記憶でしょうか。地震やらパンデミックやらいろいろ経験できました。

現在二十三人ほどの会員のうち九名の出席でしたが互いに元気を確かめ、近況と仙台の思い出話に楽しい時を過ごしました。このたびは母校校長高橋 賢



様、同窓会長佐藤一郎様をはじめ同窓会の佐藤裕洋様、横山佳司様、齋藤雅樹様の多数のご来賓のご臨席をたまり感謝・恐縮です。県内には新たな多くの同窓生がいるはずですが、若い方々とのように連絡をとるかが課題となっています。

今年も開催しました  
仙台二高同窓会岩沼支部

### 岩沼支部 芳賀 盛 (高18回)

今年も例年通り八月の第一土曜日(八月三日)に岩沼支部の総会を開催しました。岩沼支部は新型コロナウイルスの発生した年も、さらにコロナ禍の続いていた年も感染に注意をしながら総会の開催を継続してきましたが、その間支部長の私は新型コロナウイルスの感染と濃厚接触者ということになり昨年からやっと参加が可能となりました。

ここ数年の支部総会には岩沼支部の四倉政美前支部長(高10)の声かけもあり、佐藤一郎同窓会会長(高17) 高橋賢校長(高35) 佐藤裕洋副会長(高17) 横山圭司事務局長(高33) など多くのご来賓の方々にご臨席をいただき、支部総会の議事終了後にはそれぞれの方々の二高在校時の思い出を加えた自己紹介をしていただき、さらに懇親を深めることができました。

私が仙台二高に入學した昭和三十八年には合格と同時に案内が届き入学祝いの会を開いてもらった記憶があり何らかの形で同窓会らしきものが岩沼にもあったようです。高校を卒業してからは十五年ほど盛岡に住んでおりましたのでその後の経緯はわかりませんが、岩沼に戻ってまもなく昭和六十三年に仙台中・二高同窓会岩沼会というものが改めて発足して私も幹事をひきうけ参加しました。

何度か当時の堀田康哉同窓会会長(中32)をはじめ役員の方々、校長先生にも岩沼へ足を運んでいただきました。現在の岩沼支部という形になっても大井龍司前会長

た。

た。

た。

た。

た。

た。



た。

た。

た。

た。

(高10)や役員・校長先生にも必ず岩沼支部総会に出席して頂いた事は感謝の気持ちで一杯です。

現在の同窓会岩沼支部の会員は六十名を超えておりますが、一九七七年から二〇〇九年までの学区制の影響でこの間の空白を埋めることはできません。また、おりにあります。さらに学区制が廃止になってからの若者達のほとんどが学校や仕事の関係で岩沼には戻って来てはいないようです。何とか連絡をとり続け同窓会に参加してほしいと思っています。地道に転勤や帰郷の若者を探していきます。

### 関西西北陵会

鈴木 武(会長/高20回)

関西西北陵会二〇二三年度(第23回) 総会 報告書

二〇二三年十一月十一日(土)、阪神高速道路がビル内を突き抜けるTKPガーデンシティ大阪梅田を会場として、二〇一九年四月以来四年ぶりとなる関西西北陵会総会を開催しました。

校歌斉唱、物故者へ黙祷、会長挨拶で幕を切り、ご来賓としてご出席いただいた同窓会会長 佐藤一郎様(17回)、同窓会副会長 佐藤裕洋様(高17回)、同窓会事務局長 横山佳司様(高33回)、そして仙台二高校長 高橋 賢様(35

回)皆様から、全国の同窓会の動き、母校仙台二高の後輩達の活躍ぶりなどを紹介いただきました。

総会議案は、①会計年度の変更、②会則の見直し、③新役員の選出、④前年度活動&決算報告、⑤今年度の活動計画&予算など、すべてご承認をいただきました。特に、会計年度は、利便性を考慮し従来(三月↓翌二月)から(十月↓翌九月)へと変更しました。尚、承認された新役員六名は次の通りです。引き続き宜しくお願い致します。

- 会長…鈴木 武(高20回)
- 渉外…田中 聡(高30回)
- 企画…二瓶 聡(高30回)
- 広報…中島義裕(高38回)
- 会計…三浦 誠(高60回)
- 監事…小松寛明(高33回)

同窓会の在り方について、もっと若い会員が参加しやすい状況を生み出すべきとの提案を受けて、従来の懇親会形式に加えて、人生経験豊富な諸先輩方と若い会員との交流重視の方向性へと舵をきり、如何に運営すべきか関西西北陵会として今後考えて参ります。

協議事項として、本会の銀行口座開設についてもご承認をいただきました。これは本会の財政的な安定を図り三十歳未満の同窓会員

が参加しやすい状況をつくるため、寄付の受け皿にしたいという思いがあります。

総会後、「生成と国際教育」と題して大阪公立大学 経済学部 教授 中島義裕氏(高38回)よりご講演をいただきました。懇親会では全員の自己紹介を含めて大いに親睦を図り、そして締めは赤堀



#### 前列(左より、敬称略)

田中 聡(高30)→田川康吾(高2) 麻喜宏雄(高9)・佐藤一郎(高17) 高橋 賢(高35)・鈴木 武(高20) 加藤英臣(高6)

#### 後列(左より)

三浦 誠(高60)→小松寛明(高33) 渡辺敏雄(高20)・横山佳司(高33) 佐藤裕洋(高17)・菅原俊秀(高10) 二瓶 聡(高30)・中島義裕(高38) 千葉 猛(高38)・石岡圭一(高38)

次郎氏(高38回・元応援団副団長)の凱歌で幕を閉じました。

後段ながら二〇二三年一年への感謝と、来る二〇二四年、皆様のご健勝とご活躍を心より祈念致します。

#### 新大学生歓迎会開催

二〇二四年五月十八日(土)京都市で新大学生歓迎会を開催しました。参加者は新大学生二名を含め十七名です。二人が参加のきっかけは、二月二十九日に開催された同窓会人会式で配布した関西西北陵会会員大学生制作の案内チラシであり、作成努力が報われました。

歓迎会の構成は次の通りです。

1. 特別企画は「二高OBが感じた『関西弁と関西人』のツボ」と題して、MBS毎日放送に勤務の千葉猛氏(高38回)による講演でした。アナウンサー経験豊富で軽妙なお話しぶりを一同笑いも交えてお聞きしました。

2. 次に「法律家の思考様式」と題して、京大法学部の佐藤悠広氏(高66回)により裁判事例を用いて分かりやすくクイズ仕立てでお話しいただきました。普段耳にすることのない裁判用語でしたが、皆さん熱心そのもので活発な質疑応答が展開されました。

3. 学生企画は「関西へようこそ」と題して神田隆介氏(高73回)により関西の文化、分かりにくい地名などクイズ形式で紹介されました。

4. 締めは元応援団長赤堀次郎氏(高38回)の応援団旗の動きに合わせて凱歌で幕を閉じました。

その後、京大ご用達の風情を醸し出す老舗で懇親会を開催、時代を感じさせる写真の数々が掲示され、その中に湯川秀樹博士、福井謙一博士など複数のノーベル賞受賞者の宴会模様が写し出されました。それらを見て、かつて大井名誉会長のメッセージ「仙台二高からノーベル賞受賞者が出て欲





しい」を思い出しました。いずれは叶うであろう、と心地よい酔いの中でほのかな期待を寄せて写真を見つめ直しました。

関西北陵会は東北から関西に進学した後輩たちのカルチャーショックを和らげたいと思い企画しましたが、来年からは開催を4月の第一土曜日に行うことで決定しています。

## 九州北陵会

最上 修(高20回)

九州北陵会総会(第三回)  
令和六年九月十四日(土) 十三時  
石蔵酒造(福岡市博多区博多百年蔵灯明殿)

ご来賓  
同窓会副会長 佐藤裕洋(高17)  
仙台二高等学校長 高橋賢(高35)  
同窓会事務局長 横山佳司(高33)



九州北陵会  
菅原俊秀(会長 高10)  
今野忠彦(高10) 最上修(高20)  
高橋透(高30) 黒田均(高36)  
斎藤一俊(高40) 山下修平(高43)  
青木祐介(高58)

三年間のブランクを経ての開催でした。今回は若手の参加者があり、今後の取り組みに勢いがつくと確信します。会員の高齢化と若手の会員拡大は重点項目と認識しています。

同窓会・学校の現状を副会長・

### クラブ・回期報告等

#### 北陵ドクター倶楽部

菊地 徹(高35回)

#### 「第10回総会」

令和五年八月二十六日(土)  
ホテルメトロポリタン仙台

四年ぶりとなる対面での開催に、二十六名の会員が出席した。午後五時開会。開会のご挨拶に立たれた本郷道夫会長(高19回)は、母校の医学部進学者数に言及し、当倶楽部の将来が輝かしいものであることを強調された。

星 和彦副会長(高17回)が議長に、本多 博幹事(高34回)が副議長に選出され議事に入った。議事に先立ち、休会中にご逝去された佐藤勝朗先生(高10回)、植

校長よりお聞きし、進学校としてのポテンシャルを頼もしくお聞きしました。(私事 帰省した時OBの叔父より今の二高へは入学は難しいぞと聞いている。)

(参考)九州北陵会発会式二〇一八年六月三十日大井会長鈴木事務局長会員十三名参加(北九州市大谷会館)九州北陵会(第二回)二〇一九年五月二十五日山田副会長久保校長会員九名参加(長崎市サンプリエール)以後、コロナ感染拡大にて3年間開催できず。今回の開催へ。

田俊之先生(高16回)、湊 敬一先生(高18回)、姉齒秀平先生(高26回)に黙祷が捧げられた。

まず、筆者より、事務局の変更、役員ならびに運営に係る会則の変更、そして二年前の書面決議で退任が承認された今井克忠前監事(高15回)の顧問就任が提案され満場一致で了承された。

続けて、筆者が庶務報告を、休会の間に書面決議により新たに就任した野口謙治幹事(高39回)が会計報告を、同じくご就任の大方俊樹監事(高22回)が会計監査報告をそれぞれ行い、いずれも異論なく了承された。

徳村弘実副会長(高22回)の閉会のご挨拶で総会は善く終了しました。引き続き、特別講演が行われた。今回は、令和五年四月国立療養所

多磨全生園へ異動となり園長にご就任された鶴飼克明幹事(高28回)より、『多磨全生園に異動となつて、柵の垣根越しに見えたもの』の演題名でのご講演いただいた。

園の紹介にはじまり、我が国のハインセン病を巡る暗部とも言える歴史から現状まで、微に入り細を穿つ素晴らしいご講演でとても勉強になった。講演をご依頼した際、先生より「暗い話になりますよ」とのお言葉を頂戴したが、その意味がづくづく理解できる内容でもあった。座長は今井新顧問が務めた。

相田重光先生(高38回)による写真撮影の後、いよいよ懇親会である。司会進行は例年通り結城道広幹事(高33回)が担当した。

校歌斉唱に続いて、本多幹事の開会のご挨拶の後、来賓の高橋賢校長(高35回)より母高の近況についてお話しいただいた。共学になった当時5対3ほどだった男女比が、近年はほぼ1対1。新入生に進路を問うと、およそ一〇〇名の生徒が医学部志望と答えるそうである。

大井龍司顧問(高10回)の乾杯のご挨拶で一同再会を祝し懇親を深め合った。

懇親会も半ばを迎える頃、東京でのご講演を終え駆け付けられた佐藤一郎同窓会長(高17回)より同窓会の近況を拝聴した。やがて華やいだ雰囲気の中に

懇親会もお開きの時刻となった。かつての応援団長佐藤同窓会長にエールをお願いし、鶴飼幹事の閉会のご挨拶で、午後八時二十分散会となった。

現在、案内状は住所の把握できる県内の先生方を中心に送付しておりますが、案内状をご希望の先生は事務局にご一報いただけますようご案内申し上げます。

事務局  
〒980-0821  
仙台市青葉区春日町 10-30  
菊地胃腸科内科医院  
電話 022-261-3344  
FAX 022-261-5203





「第11回総会」

令和六年八月二十四日(土)  
ホテルメトロポリタン仙台

午後五時開会。開会のご挨拶に  
立たれた本郷道夫会長(高19回)  
は、遠路北海道より特別講演のた  
めに来仙された押味和夫先生(高  
15回)に謝意を評した。

星 和彦副会長(高17回)が議  
長に、本多 博幹事(高34回)が  
副議長に選出され議事に入った。  
議事に先立ち、館田 拓先生(高  
18回)、黒澤昌也(高11回)に黙  
祷が捧げられた。

まず、筆者より、昨今の物価の  
高騰に鑑み、倶楽部創設以来十一

年に渡り据え置かれていた年会費  
の増額が提案され全会一致で了承  
された。これを受けて次年度より  
年会費は一、〇〇〇円増額の四、  
〇〇〇円となる。続いて、庶務幹  
事の増員に関して、相田重光先生  
(高38回)と佐治賢哉先生(高41回)  
の就任が、特別講演の講師の選定  
や懇親会の進行に関して、今後は  
母校の同窓会を参考に当番学年を  
設定して対応いただくことが、そ  
れぞれ全会一致で了承された。

続けて、筆者が庶務報告を、野  
口謙治幹事(高39回)が会計報告  
を、大方俊樹監事(高22回)が会  
計監査報告をそれぞれ行い、いず  
れも異論なく了承された。

徳村弘実副会長(高22回)の閉  
会のご挨拶で総会は恙なく終了し  
た。

引き続き、特別講演が行われた。

今回は、つるい養生邑病院内科の  
押味和夫先生(高15回)に、『ア  
メリカで見た日本人の足跡』の演  
題名でご講演いただいた。戊辰の  
役で辛酸を嘗めた会津藩の悲劇を  
後に陸軍大将となる柴 五郎の生  
涯を通じて解説し、明治になって

海を渡り彼の地で学問を修めた郷  
土の偉人山川健次郎・捨松兄妹、  
朝河貫一の足跡を辿った。その中  
で先の大戦で日系人を強制収容  
し、後にカリフォルニア州が公式  
に謝罪することになるマンザナー  
強制収容所についても言及され  
た。座長は和泉 透先生(高34回)

が務めた。  
相田重光新幹事(高38回)によ  
る写真撮影の後は、いよいよ懇親  
会である。司会進行は筆者と野口  
幹事が担当した。

校歌斉唱に続いて、本多幹事の  
開会のご挨拶の後、来賓の高橋  
賢校長(高35回)より母校の近況  
についてお話しいただいた。生徒  
の多くが勉学のみならず部活動に  
も積極的に全国大会へ出場する生  
徒も多い。そして母校の医学部人  
気はまだまだ健在であるとのこと  
である。佐藤一郎同窓会長(高17  
回)から同窓会の近況を拝聴した。  
同窓生からの寄付金集めに苦慮し  
ているとのことであった。

山崎匡顧問(高12回)の乾杯の  
ご挨拶で一同再会を祝し懇親を深  
め合った。

そして、かつての応援団長押味  
先生の音頭で「凱歌」を高らかに  
歌い、鶴飼克明幹事(高28回)の  
閉会のご挨拶で、午後八時三分  
散会となった。

尚、今回の総会には三十名が参  
加した。

### 化学部OB会

鈴木総一郎(高22回)

四年ぶり！化学部有志OB会

(21・22・23期合同)開催！

令和五年十一月五日六日、化学  
部の有志OB会が、秋保温泉「佐

勘」で開催されました。この会は、  
当初22期生だけで開いていたもの  
を拡大し、平成二十五年より、21  
期22期23期合同の形で、二年に一  
度行うようになったものです。

二年前の令和三年に行われるは  
ずだった回がコロナ禍で中止とな  
り、今回ようやく四年ぶりの実施  
が叶いました。ただ残念なことに  
今回は21期生の方々は不参加とな  
り、22期生六名、23期生八名、計  
十四名が、紅葉を迎えた晩秋の温  
泉峡で、四年ぶりの再会を果たし  
ました。

今回の幹事23期鈴木和彦さんの  
段取りも完璧に、記念撮影(23期  
橋浦さんいつも感謝)のあと宴会  
に突入、一言近況報告となりまし  
たが、この四年の間にみなさん古  
希を迎え、仕事、リタイア生活、

社会活動、家族、健康と語るべき  
ことは多くて一言では収まらず、  
ほかの宴会場がお開きになっても  
話は続いて、中居さんをやきもき  
させたのでした。

その後部屋での二次会に移り  
(23期猪岡さん、22期桔梗さん、  
豪華なお酒・おつまみありがと  
う！)、そのなかで幹事より、県  
外勢も多いなかこれまで通り仙台  
でやっていいのか、との議案が出  
されましたが、やはり母校のある  
仙台だから意義があるのではない  
か、ということでも次回も仙台での  
開催予定となりました。また、集  
まって旧交を温めるだけではな  
く、例えば在校生に「エールを送  
る」などの働きかけができない  
ものか、という建設的な意見が  
あったり(具体的な形にはなら  
ず)、一方では、会の連絡  
用に「LINEグループ」を  
作るうと、七十過ぎのおっ  
さんたちが浴衣姿で車座に  
なりジョシコーセのように  
ライン交換したりして(22  
期生)、四年ぶりのOB会  
は盛会のうちに終了したの  
でした。

近況報告で22期のひとり  
から「今回「献杯」ではな  
く笑顔で「乾杯」ができた  
のがなによりだった」とい  
う挨拶があった通り、次回  
も、全員無事に再会を果た  
しましょう！

左より 前列22期、鈴木宏一、大室章夫、庄司恒一、桔梗敏郎、  
菅原元、鈴木総一郎、  
後列23期、麻田正治、新発田修治、伊達睦夫、猪岡元、  
佐藤洋一、皆川正明、鈴木和彦、橋浦礼二郎





### 仙台三三会

岡崎 忠(高10回)

#### 第45回仙台三三会開催報告

二〇二三年十月七日、江陽グラ  
ンドホテルに於いて第45回仙台  
三三会が開催された。本会はコロ  
ナ禍の影響もあって四年ぶりの開  
催であったが、同期生評議員の佐  
野伸義君、四倉政美君をはじめ地  
元宮城のみならず九州、愛知、東  
京などからの同級生二十一名が出  
席した。以前は必ず恩師の方々を  
お招きしていたが、最近はそれが  
叶わずまことに残念ではある。し  
かし昭和三十二年、甲子園大会出  
場を果たした同級生六人の内、秋  
の国体の御前試合で見事ヒット  
打った菅野孝彦君が唯一人出席し  
た(上段左端)。会では齡傘寿を  
有に超えた会員諸氏全員からの近



況報告があり、その内容は案の定  
己の健康状態を憂うるものであ  
ったが、会そのものは和氣藹々、大  
変意義深いものであった。同窓会  
名誉会長の大井龍司氏が、会長時  
代に同窓会入会式で「必ず同期会  
を作るように」と卒業生諸君に訓  
示したことももっともと頷ける。  
おわりに全員で恒例の校歌、凱歌  
を高らかに謳い上げ散会した。な  
お立派な資料を作成してくれた刈  
敷廣紀君に感謝したい。

### 辰巳会

千田 耕一(幹事/高23回)

#### 高23回辰巳会活動報告

令和六年辰巳会は三月三十日  
(土)に新年会(二十三名参加)を、  
九月十四日(土)に納涼会(十六  
名参加)を行いました。三月三十  
日は恩師今野敏先生の一周忌にあ  
たるため、新年会に先立ち有志で  
新寺小路の阿弥陀寺にある敏ちや  
んのお墓に墓参りをしました。古  
希を過ぎ、毎年同期の計報を聞く  
ことが多くなってきたてはいます  
が、同期会の時は二高時代に戻れ  
る大切な時間なので、これからも  
年に二回の開催は続けていきたい  
と思います。会報をご覧の同期の  
皆様からのメッセージ並びに連  
絡をお待ちしています。  
メールアドレス:  
chida\_kouichi@zenrakuren.or.jp



後列 谷田達男(5組)、長井淳(3組)、山口信也(8組)、草刈治夫(7組)  
庄司好己(4組)、和泉宇一郎(8組)、鷺尾幸雄(7組)、山家英視(8組)  
中列 倉中達彦(2組)、工藤順一郎(5組)、玉川公(7組)、武田秀伸(6組)  
盛 豊・遠藤進(5組)、浅野浩一郎(4組)、今野勝範(2組)  
前列 佐藤寛・小野寺満明・大友史祥(6組)、大山匡・千田耕一(5組)  
鈴木英頭(1組)、吉田孝(2組)

### 応援団OBORG会

赤堀 次郎(高38回)

#### 第39回 応援団幹部OBORG会

総会のご報告

二〇二四年五月十一日(土)、  
楽天モバイルパーク宮城におい  
て、仙台二高一高硬式野球定期戦  
が開催されました。本試合におい  
ては、過年度には行使を保留して  
いた、安打を打つ機会、および得  
点を入れる機会、を敢然と行使し、  
わが二高は準優勝の栄誉に浴する  
ことができました。なお、優勝の  
機会に限っては来年度に持ち越す  
ことになったことを蛇足ながら報  
告申し上げます。  
同日十七時より、江陽ランド  
ホテルにて、応援団幹部OBORG  
会総会を開催いたしました。  
昨年度に比して、一人当たりの  
スピーチの時間が長くなり、来賓  
の佐藤一郎同窓会長(高17回、応  
援団副団長でもありました)を交  
えて、二高応援団の思い出、現在、  
そしてOBORG会の今後の展望に  
ついて、闊達な議論が交わされま  
した。特に、過去の応援風景の写  
真、フィルム、ビデオテープ、動  
画ファイル、あるいは関連する資  
料などを収集してアーカイブ化し  
ようということになりました。本  
報告を読まれた方で、このような  
資料・ファイルをお持ちの方がい  
らっしゃいましたら、ご一報いた



後列 工藤順一郎(5組)  
庄司好己(4組)、吉田 孝(2組)  
盛 豊(5組)、浅野浩一郎(4組)  
和泉宇一郎(6組)、今野勝範(2組)  
鈴木英頭(1組)、柴田道夫(5組)  
高橋昭夫(1組)、谷田達男(5組)  
山口信也(8組)、大友史祥(6組)  
鷺尾幸雄(7組)、倉中達彦(2組)



だけますと幸いです。  
一昨年度から、SNSを活用し  
た名簿の整備と若い世代との連絡  
網の構築に取り組んでいます。ま  
た、来年の定期戦までに、様々な  
活動をおこなっていきたくと考  
えております。同窓生諸氏の一層の  
ご協力とご支援をどうかよろしく  
お願いいたします。  
\*もし元応援団幹部の方で、ま  
だメンバーリスト未登録とい  
う方がいらっしゃいましたら  
sendainiko\_ouendan\_ORB@  
googleroups.com にご氏名、回  
期をご記入したメールをくださ  
い。またfacebookでも仙台二高  
応援団幹部OBORGというグル  
ープで情報を共有しています。検  
索して参加申請を出してください。

## 養賢会

二上 智行（高52回）

## 宮城県庁仙台二高養賢会

## 令和五年度総会・懇親会

令和六年二月七日、仙台市のホテル白萩において宮城県庁仙台二高養賢会 令和五年度総会を開催しました。

コロナ禍のため五年ぶりの開催となった今回、同窓会からは佐藤会長、千田副会長、横山事務局長の三名、高校からは高橋校長にご参加いただき、総勢五十五名の総会・懇親会となりました。

佐藤会長をはじめとするご来賓のみなさまからは高校時代の大変貴重なお話をいただきました、歓談の時間を経て、最後は恒例の元心



援団長による旗振りと共に参加者全員で雨か嵐か、校歌を斉唱し、盛会のうちに終了しました。

若手参加者からは「仕事でやり取りしていたあの人が同窓だったとは知らなかった」「なかなか話す機会がないベテラン職員とお話することができた」といった感想をいただいたように、有意義な会になったものと思います。

## ◆北陵会・北社会の記録

## 【北陵会】

令和六年五月九日（木）

講師：佐藤一郎氏（高17回）

東北生活文化大学学長

演題「絵画、この道」

令和六年九月十八日（水）

講師：今野克二氏（高24回）

お茶の井ヶ田(株)会長

演題「創業百周年を越えて」

## 【北社会】

第三四七回 総会

令和六年二月十日（土）

世話人：堀内豊太郎（高12回）、

島田 淳（高33回）

第三四八回

令和六年八月三十一日（土）

講師：兩國 慶氏（49回）

(株)アールプランニング代表取締役

演題「新宿歌舞伎町・今昔物語」

## 仙台二中・二高 同窓会新年懇親会(兼 高75 二十歳を祝う会)のご案内

- 日時：2025年1月11日（土） 午前11時30分～午後2時（受付開始 11時00分）
- 会場：江陽グランドホテル（青葉区本町2丁目3-1 TEL 267-5111）  
受付1F ロビー（会場3F 孔雀の間 その他）
- 内容
  - 第一部：記念講演 高24 上條 努 11:30～12:00  
演題：『CIVIC PRIDE』
  - 第二部：懇親会（会費制）：立食ビュッフェ形式 12:10～14:00  
（\*高75回生以下の皆様には、ノンアルコールでのお飲み物をご提供いたします。ご了承ください。）
    - 若手同窓生ゲストによるトークショー  
ゲスト：高63 秩父英里、高64 伊澤優花、高69 塩入未央
    - 新年開運福引（豪華景品あり！）  
（\*会場には食品などの販売ブースがあります。おみやげにお買い求めください。）
- 対象：全ての仙台二中・二高の同窓生の皆様 仙台二高教職員の皆様
- 会費：8,000円（学生2,000円） 当日お支払いください。  
（\*講演のみ参加の場合でも会費は同額となります。）
- 申込締切：12月23日（月）  
★出席申込は、下記宛まで直接FAXまたはお電話、Eメールでご連絡ください。
- 申込先：〒980-8631 仙台市青葉区川内澱橋通1  
仙台二高同窓会事務局（月・水・金 10:00～15:00）  
TEL 022-221-5651 FAX 022-221-5686 Eメール info@sendainiko-dousoukai.com
- 当番回期：高36・37・48・49・60・61回  
上記回期の方々は、評議員・常任委員を中心にご協力をお願いいたします。

※講師、ゲストの皆さまの略歴は同封のご案内をご覧ください。



### 2024年度 年間行事予定

<同窓会公式行事>

日 時	行 事	会 場
4 / 8 (月)	入学式	二高講堂
4 / 24 (水)	大運動会 (活動助成)	二高校庭
5 / 1 (水)	創立記念 講演会	二高講堂
5 / 11 (土)	硬式野球定期戦	楽天モバイルパーク宮城
5 / 19 (日)	対一高同窓会ゴルフ対抗戦	富谷カントリークラブ
5 / 25 (土)	定例評議員会	江陽グランドホテル
6 / 1 (土)	ニューズレター第11号発行	
6 / 19 (水)	当番回期打ち合わせ会 (高35・36・47・48・59・60)	二高会議室
7 / 6 (土)	校内ツアー	二高
7 / 6 (土)	同窓会総会・講演会・懇親会	江陽グランドホテル
8 / 31 (土) ~ 9 / 1 (日)	北陵祭 (同窓会ブース開設予定)	二高
12 / 1 (日)	同窓会報第57号発行	
12 / 18 (水)	当番回期・PTA合同打ち合わせ会 (高36・37・48・49・60・61)	二高会議室
1 / 11 (土)	同窓会新年懇親会 (高75回二十歳を祝う会) (クラブ活動後援会への寄付)	江陽グランドホテル
2 / 28 (金)	同窓会入会式	二高講堂
3 / 1 (土)	77回卒業式	二高講堂
3 / 28 (金)	若手会員交流会	江陽グランドホテル

(注) 若手会員交流会は、北陵NL11号では令和6年6月15日開催と記載致しましたが、令和7年3月28日に延期となりました。

<理事会> ※原則として第3水曜日に開催 (12回)  
4/17 5/8 6/19 7/24 8/21 9/20 10/17 11/20 12/18 1/15 2/19 3/19

<支部会/OB会/同期会>  
※開催決まればHPに掲載いたしますので事務局までお知らせください。

## 理事会からの お知らせ

### 評議員推薦のお願い

評議員会は同窓会の最終議決機関として、極めて重要な役割を果たしており、評議員各位のご尽力は同窓会活動上欠かせないものです。現在は各回期の評議員が二名体制になっております。評議員の選出については、同窓会会則第八条五項に「評議員は常任委員の互選により選出」とありますが、現実的な対応として「同回期生複数の推薦により選出」とさせて頂いております。

定員を満たしていない回期の会員の皆様におかれましては、是非とも評議員の推薦をお願い申し上げます。

### 第76回北陵祭「沸湧 (ふつよう、わくわく)」

八月三十一日(土)九月一日(日)の両日に「沸湧(ふつよう、わくわく)」をテーマに開催された北陵祭は、昨年に引き続き今年も一般公開での開催となり、各ブースなどには、在校生のみならず、保護者や弟妹、他校生、そして同窓生など多くの人が訪れ、とても活

気のある賑やかな雰囲気での北陵祭ならではと感じました。

同窓会でも、教室の1室をお借りし今年もブース展示を行ない、佐藤一郎同窓会会長(高17回生)の若き学生時代に描いた『石膏デッサン』をはじめ、他にも三名の同窓生の写真等も展示したほか、様々な分野で活躍している同窓生をご紹介するなど、とても良い機会となりました。

再来年度からは現校舎の大改修が始まります。現校舎で学ばれた同窓生の皆様は、思い出の校舎を見る最後のチャンスかもしれませんので、来年の北陵祭にはぜひ同級生の方などを誘って、ご来場してみたいかがでしょうか。

### 総会報告

宮城県仙台第二高等学校同窓会総会が令和六年七月六日(土)十七時から江陽グランドホテルで開催された。今回は例年と異なり、

総会に先立ち講演会が行われ、佐藤一郎同窓会会長(高17回)の講師紹介に続いて、講師の元在ウクライナ特命全権大使の天江喜七郎氏(高14回)が「日本は異質な周辺国とどう付き合うべきか」と題して、身近で興味深い講演が行われた。講演終了後の質疑応答も予定時間を超えて活発に行われ、最後に半澤みどりさん(高75回)から花束が渡され、講演会は盛会裡

に終了した。引き続き総会が行われ、佐藤会長、高橋賢校長(高35回)の挨拶の後、恒例により佐藤会長が議長となって下記議案の審議が行われ、全議案可決承認された。尚、第六号議案の慶弔規約では、評議員会で議論となり、理事会に一任された「第四条にあった学校関係者への餞別金」については、記念品を贈ることとし、規約から削除されて上程された。

第一号議案 二〇二三年度 事業報告

第二号議案 二〇二四年度 事業計画案

第三号議案 二〇二三年度 収支決算報告

第四号議案 二〇二四年度 収支予算案

第五号議案 役員改選について

第六号議案 宮城県仙台第二高等学校同窓会慶弔規約(案)

総会終了後は隣に会場を移し、

当番回期の菊池氏が(高35回)が司会を務め、叙勲された高16回和田 健 氏への表彰・学校への活動補助目録贈呈などの後、各支部報告を行い、懇親を深めた。  
\* 決算・予算表は別ページ参照

# 評議員会 報告

二〇二四年度定例評議員会  
・二〇二四年五月二十五日（土）  
十四時）

会長挨拶 佐藤一郎会長  
議長選出 永見 幸久氏

第一号議案

二〇二三年度 事業報告

第二号議案

二〇二三年度 収支決算報告

第三号議案

二〇二四年度 事業計画案

第四号議案

二〇二四年度 収支予算案

第五号議案 役員改選について  
第六号議案

宮後県仙台第二高等学校同窓会  
慶弔規約（案）  
報告・連絡

同窓会活性化事業について  
（三高・高同窓会ゴルフ対抗戦  
若手交流会 同窓会新年懇親会  
閉会挨拶 佐藤裕洋副会長

# 理事会等 記録

二〇二三年五月十日（水）

- ・令和五年度予算
- ・評議員会の最終確認
- ・役員改選及び新理事の推薦
- ・会報及びニュースレターの発行  
時期の検討
- ・若手交流会の進捗状況

- ・同窓会報の進捗状況
- ・定期戦及び学校の近況報告
- 二〇二三年六月二十一日（水）
- ・評議員会総括及び議事録の承認
- ・定期総会の議案、進行及び資料  
等の確認
- ・役員改選及び新理事の推薦
- ・若手交流会の総括
- ・北陵祭の出展
- ・学校の近況

二〇二三年七月二十六日（水）

- ・定期総会の総括及び同総会議事  
録の承認
- ・奨学会の理事推薦、  
遠藤康浩（高41回）
- ・理事の会務分担
- ・北陵祭の出展
- ・学校の近況
- ・同窓会報の発行状況

二〇二三年八月二十三日（水）

- ・北陵祭の出展
- ・北陵ニュースレターの企画及び  
原稿担当
- ・学校の近況
- ・会費及び寄付金の納入状況

二〇二三年九月二十日（水）

- ・北陵祭の総括
- ・新年懇親会の開催方法
- ・学校の近況

二〇二三年十月十八日（水）

- ・新年懇親会（兼 高74 二十歳を  
祝う会）実施案の検討
- ・各支部総会への出席者確認
- ・ホームページやメーリングリス  
トの改善

- ・北陵ゴルフ大会開催報告
- ・北陵ニュースレターの進捗状況
- ・クラブ活動助成金の進捗状況
- ・学校の近況

二〇二三年十一月十五日（水）

- ・同窓会入会式の日程、式次第及  
び資料等の確認
- ・次年度評議員会の日程
- ・北陵ニュースレターの進捗状況
- ・学校の近況
- ・会費・寄付金の納入報告

二〇二三年十二月二十日（水）

- ・卒業生への贈呈旗及び記念品  
祝う会
- ・次年度の定期総会
- ・同窓会入会式の出席者及び資料  
検討
- ・支部・OB会の名称、代表者、  
連絡先一覧
- ・評議員の交代
- ・北陵ニュースレターの発送状況
- ・学校の近況

二〇二四年一月十七日（水）

- ・新年懇親会（兼 高74 二十歳を  
祝う会）の総括
- ・令和六年度事業計画
- ・新入生への贈呈品
- ・任期満了の役員及び改選役員  
事務局員の待遇
- ・学校の近況
- ・会費・寄付金の納入状況
- ・校内活動助成金の状況

二〇二四年二月二十一日（水）

- ・同窓会入会式
- ・卒業式

- ・令和六年度事業計画
- ・事務局員との契約更新
- ・大井名誉会長寄贈の横断幕の名  
入れ
- ・学校の近況
- ・会費・寄付金の納入状況

二〇二四年三月二十一日（木）

- ・定期戦に関する各企画説明
- ・同窓会入会式及び卒業式の総括
- ・北陵ニュースレターの企画及び  
原稿担当
- ・入学式

令和五年度会計決算見込み及び  
令和六年度予算

令和六年度予算

令和六年度予算

令和六年度予算

令和六年度予算

令和六年度予算

令和六年度予算

令和六年度予算

令和六年度予算

令和六年度予算

令和六年度予算

令和六年度予算

令和六年度予算

令和六年度予算

- 二〇二四年七月二十四日（水）
- ・評議員会議事録の承認
- ・定期総会の総括及び議事録の承  
認
- ・評議員会の開催場所
- ・貢献者に関する内規及び学校関  
係者への餞別
- ・北陵祭の出展
- ・会員からの出版書籍寄贈
- ・学校の近況

二〇二四年八月二十一日（水）

- ・北陵祭への出展
- ・同窓会報の企画及び原稿担当
- ・奨学会の監事推薦、  
利大作（高41回）
- ・慶弔規約における内規追加
- ・学校の近況（インターハイの結  
果等）
- ・会費・寄付金の納入状況

二〇二四年九月二十日（金）

- ・北陵祭の総括
- ・新年懇親会（兼 高75 二十歳を  
祝う会）
- ・会員からの記念品寄贈への対応
- ・同窓会報の進捗状況
- ・学校の近況

二〇二四年十月十七日（木）

- ・新年懇親会（兼 高75 二十歳を  
祝う会）実施案の検討
- ・各支部総会への出席者確認
- ・北陵ゴルフ大会の進捗状況
- ・同窓会報の進捗状況
- ・各回期・支部における活動状況  
への対応
- ・学校の近況
- ・会費・寄付金の納入状況

二〇二四年十月十七日（木）

- ・各支部総会への出席者確認
- ・北陵ゴルフ大会の進捗状況
- ・同窓会報の進捗状況
- ・各回期・支部における活動状況  
への対応
- ・学校の近況
- ・会費・寄付金の納入状況

以上



一般会計 2023年度収支決算報告

(2023年 4 月 1 日～2024年 3 月 31 日)

(単位：円)

区 分	項 目	予算額 (A)	実績額 (B)	(B) - (A)	次年度予算額	
経常収入 (イ)	年 会 費	9,500,000	7,696,300	△ 1,803,700	9,500,000	
	( 納 入 者 数 )	(3,167 人)	(2,581 人)	(△ 586 人)	(3,167 人)	
	(イ÷ロ)					
	年 会 費 納 入 率	21.8%	18.3%		21.8%	
	入 会 金	1,100,000	1,123,200	23,200	1,100,000	
	( 納 入 者 数 )	(306 人)	(312 人)	(6 人)	(306 人)	
	受 取 利 息	0	33	33	0	
	寄 付	3,000,000	4,356,723	1,356,723	3,000,000	
そ の 他 収 入	0	0	0	0		
	【経常収入 小計】	13,600,000	13,176,256	△ 423,744	13,600,000	
繰越金収入	前 年 度 繰 越 金	19,772,966	19,772,966	0	20,034,968	
収入合計 (C)		33,372,966	32,949,222	△ 423,744	33,634,969	
経常支出 (ロ)	同窓会報発行費	4,200,000	3,017,373	△ 1,182,627	3,700,000	
	( 発 送 通 数 )	(14,500 通)	(14,105 通)	(△ 395 通)	(14,500 通)	
	ニュースレター発行費	1,900,000	2,016,759	116,759	2,370,000	
	( 発 送 通 数 )	(14,500 通)	(13,947 通)	(△ 553 通)	(14,500 通)	
	校内活動助成費	1,350,000	1,200,000	△ 150,000	1,350,000	
	卒業記念品	550,000	578,704	28,704	550,000	
	総会旅費補助	150,000	145,880	△ 4,120	150,000	
	総会補填	650,000	432,670	△ 217,330	450,000	
	( 出 席 者 数 )	-	(98 人)	-	(100 人)	
	P 同 懇 補 填	1,600,000	886,207	△ 713,793	-	
	新年会兼二十歳を祝う会	-	-	-	900,000	
	( 出 席 者 数 )	(130 人)	(279 人)	-	(280 人)	
	支部総会等旅費	500,000	661,450	161,450	650,000	
	支部総会等祝儀	350,000	450,000	100,000	450,000	
	会議費	250,000	250,506	506	250,000	
	慶弔費	200,000	219,500	19,500	200,000	
	人件費	900,000	879,485	△ 20,515	900,000	
	事務消耗品費	120,000	88,250	△ 31,750	120,000	
	切手葉書送料	200,000	12,000	△ 188,000	50,000	
	電話料	200,000	202,504	2,504	200,000	
	振込手数料	650,000	531,164	△ 118,836	650,000	
	設備費	250,000	178,848	△ 71,152	250,000	
	雑費	60,000	40,380	△ 19,620	60,000	
	同窓会活性化対策費	1,250,000	1,122,574	△ 127,426	1,250,000	
		【経常支出 小計】	15,330,000	12,914,254	△ 2,415,746	14,500,000
	予備費支出	予 備 費	18,042,966	0	△ 18,042,966	19,134,969
	支出合計 (D)		33,372,966	12,914,254	△ 20,458,712	33,634,969
繰越金	( C ) - ( D )	0	20,034,968	20,034,968	0	
残 高 (2023.3.31)	現金(事務局)		33,457			
	現金(事務所)		134,009			
	現金(会計)		141,213			
	普通預金(七十七)		551,889			
	郵便振込(13168)		9,045,214			
	郵便振込(123386)		10,129,186			
			20,034,968			
		差 引 合 計		20,034,968		

特別会計 2023年度収支決算報告

(2023年 4 月 1 日～2024年 3 月 31 日)

(単位：円)

区 分	項 目	実績額 (B)
収 入	前 年 度 繰 越 金	12,507,806
	預 金 利 息	106
	収 入 合 計 ( E )	12,507,912
支 出		
	支 出 合 計 ( F )	0
次年度繰越金	( E ) - ( F )	12,507,912
預金等残高 (2024.3.31)		
	普 通 預 金 ( 七 十 七 銀 行 )	12,507,912
	差 引 合 計	12,507,912



昨年度の会費納入額は約七六九万円と目標額九五〇万円に届きませんでした。前年比一三万円の減少、納入者数は前年比八十九人の減少でした。同窓会の活動費を会費収入で賄えていない危機的状況です。同窓会活動の趣旨のご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

同窓会は『会員相互の親睦を図る』と共に『母校の発展に寄与する』ことを目的として、同窓会報・北陵ニュースレターの発行、同窓会総会・同窓会新年懇親会の開催、全国各支部との交流、北陵祭でのブースの開設、ホームページの充実などに取り組み同窓会の一層の活性化を図っております。また、入学祝い品・卒業記念品の贈呈、大運動会開催やクラブ活動に対する助成を行い、在校生が母校に誇りを持ち、文武一道を目指すことを支援します。

### 2023年度 同窓会費納入状況

回期	会報 発送数	口数	入金額
中 40	3	1	3,000
41	8	1	3,000
42	6	0	0
43	7	1	3,000
44	13	2	6,000
45	16	1	3,000
46	18	3	9,000
47	24	8	24,000
高 1	31	6	18,000
2	47	15	45,000
3	64	19	57,000
4	85	35	105,000
5	83	28	84,000
6	108	42	126,000
7	92	37	111,000
8	128	34	102,000
9	137	33	99,000
10	154	60	180,000
11	155	56	168,000
12	179	52	156,000
13	177	48	144,000
14	171	73	219,000
15	170	68	204,000
16	182	61	183,000
17	192	74	222,000
18	199	86	258,000
19	238	71	213,000
20	169	62	186,000

回期	会報 発送数	口数	入金額
21	217	78	234,000
22	241	93	279,000
23	178	62	186,000
24	161	53	159,000
25	192	66	198,000
26	205	62	186,000
27	180	52	156,000
28	185	63	189,000
29	162	32	96,000
30	168	49	147,000
31	164	33	99,000
32	172	45	135,000
33	180	36	108,000
34	171	38	114,000
35	177	36	108,000
36	163	34	102,000
37	164	27	81,000
38	163	28	84,000
39	171	33	99,000
40	201	37	111,000
41	201	20	60,000
42	190	13	39,000
43	168	21	63,000
44	157	16	48,000
45	194	18	54,000
46	186	31	93,000
47	195	16	48,000
48	189	15	45,000

回期	会報 発送数	口数	入金額
49	182	15	45,000
50	167	13	39,000
51	173	9	27,000
52	159	7	21,000
53	173	13	39,000
54	185	11	33,000
55	171	10	30,000
56	175	10	30,000
57	185	4	12,000
58	178	9	27,000
59	190	12	36,000
60	194	13	39,000
61	195	13	39,000
62	190	14	42,000
63	196	10	30,000
64	201	8	24,000
65	231	17	51,000
66	208	18	54,000
67	218	13	39,000
68	244	24	72,000
69	233	15	45,000
70	238	29	87,000
71	269	25	75,000
72	286	30	90,000
73	286	47	141,000
74	292	42	126,000
75	298	55	165,000
76	296	-	-



**今年度会費未納の方にのみ振込用紙を同封しております。  
納入済の方へのご案内ではありませんので、重複して納入なさないよう、  
ご注意ください。**

2024 年 12 月 吉 日

宮城県仙台第二高等学校同窓会  
会員の皆様

宮城県仙台第二高等学校同窓会  
会 長 佐 藤 一 郎

## 2024 年度 同窓会費納入についてのお願い

会員の皆様におかれましては、平素より同窓会活動に格別のご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

当会は『会員相互の親睦を図る』と共に『母校の発展に寄与する』ことを目的として、今年度も各種事業に取り組んでおります。

本活動の原資となるのが皆様から納入いただいている同窓会費です。

会員の皆様におかれましては、本活動の趣旨をご理解いただいたうえ、会費納入にご協力くださいますようお願い申し上げます。

会費納入に際しましては、ゆうちょ銀行ご利用の場合、同封の払込取扱票をご利用いただき、他銀行振り込みの場合は**振込人名義に氏名及び会員番号（当用紙に記載）をご記入いただきますようお願いいたします。**

〈七十七銀行 芭蕉の辻支店 普通預金 0097845  
宮城県仙台第二高等学校同窓会 会長 佐藤一郎〉

**必ずご記入  
ください！**

## 寄付納入のお願い

昨年度におきましても多くの会員の皆様からご寄付のご理解・ご協力を賜りましたこと、厚く御礼申し上げます。

本年も同窓会の活性化と母校支援をさらに充実化させるため、同窓会活動にご賛同いただける会員の皆様には、謹んでご寄付の協力をいただきますようお願い申し上げます。

尚、同窓会報に寄付者一覧を同封いたします。氏名の掲載を希望されない方は、払込取扱票の通信欄にチェックを入れていただくか、その旨を事務局にご連絡ください。

令和五年度

同窓会入会式

寒さも一段落した二月の末、二月二十九日に本校内講義室にて、二〇二三年卒業生の同窓会入会式が執り行われました。

翌日の卒業式を目前に控えた三年生たちが集まる中、佐藤一郎同窓会会長より、開式のご挨拶をいただき、続いて卒業記念品が76回生評議員の杉田さん・嵯峨井さんに贈呈されました。小野寺満明同窓会副会長より、同窓会の活動についてスライド

ショーの資料を上映しながら同窓会の歴史や活動内容のご説明をいただきました。その中で、前年度から開催された新規の同窓生を交えた交流会や、その他の行事や同窓会の歴史など、同窓会に関する様々な内容に、三年生は真剣に聞いておりました。



いただきました。委嘱状の授与後、新たに評議員となった杉田さんから、76回生を代表してこれからの同窓会員として積極的に活動に関わって行きたいという決意が述べられました。式の最後に壇上では、新たに作られた76回生の旗（同期会の旗）が披露され、整列した評議員と常任委員への大きな激励の拍手が送られました。入会式が終了し、同窓会の皆さまが退席されたのち、サプライズで担任の先生等による三年生への応援動画が上映されました。

令和五年度

第76回卒業式

た。先生方の皆様の思いが詰まったその動画に三年生の皆さんも驚きつつも見入っておりました。入会式終了後は校長室で佐藤会長を始めとした同窓会の皆様と校長先生、76回生の評議員を交え記念撮影をし、本年度の同窓会入会式は無事に終了いたしました。

齋藤 雅樹（高44回）

二〇二四年三月一日 朝から生憎の雨模様の中、76回卒業式が挙行されました。今年度の卒業式も前回同様、コロナ禍の制限もなく

保護者や佐藤一郎会長をはじめとするご来賓、そして教職員の参加という形式になりました。保護者や教職員が見守る中、スーツ姿や晴れ着などに思い思いの華やかな服装に身を包んだ卒業生たちが入場し卒業式は始まりました。開会の辞、国歌斉唱の後、卒業生がクラス毎に一人一人呼名され、クラス代表に卒業証書が授与されました。担任の先生がそれぞれの名前を呼び元気よく返事をする卒業生の顔は晴れ晴れとした凛々しい顔つきになっていました。

その後の高橋 賢校長から、「卒業生の皆さんは、コロナ禍という過酷な環境の中入学し先の見えない中、見失わず、学業などに志を高く挑戦してきた姿に心動かされました。卒業する皆様にはこれからの多くのことも学び知恵をつけ、全てに愛情を注ぎ、目標を達成するために情熱をもって正しく行動する人になってほしい。」という、式辞が述べられました。

佐藤一郎会長からは、「新型コロナウイルスが落ち着き、例年通りの卒業式を迎えられ、卒業生の皆さんの校歌斉唱を直に聞けることが嬉しく、政治、経済、法律、生活、文化のあらゆる領域が、互いに密接につながる「グローバルな地球社会」の構造的変容に対応しうるのは卒業生の皆様一人ひとりの若人の、多様性に満ちた生きるエネルギーの集積である。」と祝辞をいただきました。

その後在校生代表、卒業生代表の挨拶、校歌の斉唱の後、閉式の辞をもって無事に卒業式は終了いたしました。卒業式が終了した後、卒業生の退場前に保護者代表からの学校側への感謝の言葉とお世話になった教職員の皆様へ、卒業生から花束と記念品の贈呈が行われ、受け取っていた教職員の笑顔の中の少し淋しい表情が印象的でした。



卒業生退場の前、最後に応援団長が壇上に立ち、卒業生とともに学校にエールと「雨か嵐か」を送るといふサプライズが行われ、卒業生は別れを惜しみながらもどこか晴れ晴れとした表情で会場を後にしました。卒業生の皆様の新たな門出に際し、更なる飛躍と今後のご活躍をお祈り致します。

齋藤 雅樹（高44回）



### 令和六年度 入学式

二〇二四年四月八日、春の空気を  
感じさせる好天の中、令和六年  
度入学式が執り行われました。  
本年度の入学者総数は三二〇名  
となりました。今年度からは保護  
者も制限なしで講堂に入場可能と  
なり、今年も多くの人が集まった  
入学式となりました。同窓会から  
は佐藤一郎会長、佐藤裕洋副会  
長、千田耕一副会長、小野寺満明  
副会長が参列しました。来賓の皆  
様や多くの父兄が  
見守り、吹奏楽部  
のみなさんの演奏  
の中、新入生の皆  
さんが緊張した面  
持ちで入場されま  
した。全員が入場  
し、開式の辞によ  
り式が始まり、国  
歌演奏、そして、  
各クラス担任によ  
り新入生の呼名が  
行われ、一人ひと  
り元気な声で返事  
をし、起立する様  
子を参列した来賓  
の方や父兄の皆様  
も優しい眼差しで  
見守っております  
た。高橋賢校長の  
式辞には、「高校  
生活の中で沢山の



楽しみを持ち、喜びを感じてほし  
いと思います。」という新入生に  
向けたメッセージがありました。  
続けての新入生代表生徒の宣誓で  
は、これから二高生として過ごす  
ことへの期待と不安、その中で一  
生懸命に学校生活を送るための誓  
いが元氣よく述べられました。佐  
藤一郎同窓会会長による祝辞で  
は、「三年間、本来の心の奥深く  
にある秘めた小さな種子を育んで  
いってください。一人ひとりの文  
武一道、を試行錯誤しながら改革  
してください。」というメッセー

在籍生徒数 2024年 4月 1日 現在  
普通科 1 学年 8 クラス (定員320名)

	男子	女子	計
1 学 年	184	139	322
2 学 年	178	140	318
3 学 年	169	146	315
計	531	425	955

ジをいただきました。  
佐藤会長の祝辞ののち、PTA  
会長菅原様よりお言葉をいただ  
き、最後に、校歌披露として、合  
唱部のみなさんがステージにあ  
がり、吹奏楽の演奏の中、校歌の  
合唱が行われました。新入生のみ  
なさんも初めて聞く校歌を真剣な  
表情で聞いておりました。中学生  
時代には新型コロナウイルスによ  
る影響で大変な思いをして過ごし  
てきた入学生が、これから楽しく  
勉学に励み、心豊かな高校生活を  
送ってもらえるような、そんな期  
待も込めた入学式となりました。  
新入生の皆様、入学おめでと  
うございます。

齋藤 雅樹 (高44回)

### 卒業記念品 贈呈への感謝

出版社を経営されている喜多雅  
文さん(高34)には、そのご経験  
を生かして毎年、二高卒業生のた  
めに「喜多さんオリジナルの記念  
品」を贈呈していただいております。  
昨年は、SENDAI NIKO  
NOTEキット(生徒が自分で組  
み立てられるノートキット)を贈  
呈していただきました。同窓会と  
しても在校生に対する喜多様のご  
厚意に感謝申し上げます。  
ノートは完成すると写真のよう  
になります。生徒からは大好評で  
した。喜多様ありがとうございます。



### 大運動会

体育委員長 加藤 晃成

今年の運動会は四月二十四日に  
開催されました。今年のテーマは  
「我武者羅(がむしゃら)北陵健  
二」。このテーマに重ねて、二高  
生一人一人ががむしゃらに取り組  
む姿が印象的でした。残念ながら、  
天候に恵まれず、各種目の時間や  
回数を短縮したり、部活リレーを



中止にするなどの対応を行いました  
たが、どの競技も例年通り非常に  
盛り上がりました。  
特に目玉種目であるミスター二  
高の決勝では、三年生だけでなく、  
一年生や二年生も活躍し、熱い戦  
いが繰り広げられました。今年の  
優勝は二年六組が勝ち取り、準優  
勝は二年四組となりました。三年  
生は惜しくも優勝を逃しました  
が、どのクラスも良い思い出を作  
ることができたと思います。  
この運動会の開催にあたり、体  
育委員会やLHR委員会をはじめ  
とした委員会の皆さん、審判を引  
き受けてくれた陸上部、二高の先  
生方、そしてその他多くの方々の  
協力があったからこそ実現しました。  
本当にありがとうございました。

囲碁部

仲間を信じ

意気高く競う我らに

誇りあり

三年二組 千葉 和真

今夏に行われた全国高等学校囲碁選手権大会で私たち仙台二高囲碁部が男子団体戦で三連覇を達成しました。

今年の大会も強敵ぞろい、私たちは非常に苦しい戦いを強いられました。特に、準々決勝以降は主将から三将まで強い選手が揃う学校との戦いが続き、全て二対一の勝利で、ひやりとする場面がいくつもありました。準々決勝では圧勝ムードの主将戦を落とし、嫌な流れになりつつあった中で、副・三将戦を取り返しての勝利。準決勝と決勝では、ともに副・三将戦で一対一となり、命運がかかる主将戦を制して勝ち上がりました。こうして振り返ってみると、今年の戦いは今まで以上に総力戦だったと感じます。それでも、これまでの互いの努力と仲間の力をよく知っているからこそ、それぞれが仲間の勝利を信じ、「自分もチームに貢献したい」という思いを持って戦い抜くことができた、それが優勝という結果をもたらしたのだと思います。また、難しい戦いが続いた中で

も、一人一人の、そしてチームの強みや個性を十分に発揮できたことも勝因になりました。「目標は優勝です」と力強く語った副将の意気込み、六戦全勝という結果を残した三将の頼もしさ、びりついた雰囲気は何度も変えた補欠の言葉。私が全力を出し切れたのは、間違いなく仲間たちのおかげです。また、戦況を見守り、一緒に喜んでくれた女子団体のメンバーや先生、これまでともに高め合ってきた部員たちにも、感謝してもしきれません。この大会を通して、これが私たちが大切にしてきた日本一のチームワークであり、支え合いの精神なのだと改めて思いました。

現在は私たち三年生が引退し、後輩たちが新たな目標のもとで新生二高囲碁部を動かしています。新チームではこれまでの良さを引き継ぎつつ、彼らしさを発揮してほしいと思っています。同窓会の皆様にも、今後の囲碁部を温かく見守っていただきたいです。



同窓生からの寄贈本の紹介

- 国際交通論 阿部 孝一氏・伊藤 豊氏(高26回)
- 美しい生物学講義 ほか計26冊 寺嶋 一夫氏(高12回)
- 殿 困窮する莫れ、時に素拙なきにしも非ずー佐藤素拙伝ー 菅原政治郎氏(高19回)
- 失はれゆく宮城の文化財 道標、道しるべ石などの記録 笹野 義博氏(高20回)
- 司馬江漢と亜欧堂田善 ほか計12冊 寺嶋 一夫氏(高12回)
- 過去と未来をつなぐ旅 眞山 誠樹氏(高24回)
- 製パンに於ける穀物 瀬口 正晴氏(高17回)
- グルテンフリー穀物による食品と飲料 瀬口 正晴氏(高17回)
- グルテンフリーによる製菓製パンについて 瀬口 正晴氏(高17回)
- セリアック病とグルテン 瀬口 正晴氏(高17回)
- グルテンを含まない古代穀物 瀬口 正晴氏(高17回)
- 決定版 南京事件はなかった 阿羅 健一氏(高14回)
- 決定版「南京事件」日本人50人の証言 阿羅 健一氏(高14回)
- 『坂英力伝』を通じた奥羽越戊辰戦争(上) 菅原政治郎氏(高19回)
- グダイ、ミッチー！ 芳賀 徹氏(高21回)
- ヒッコリ・ロードの殺人 眞壁 春雄氏(高17回)
- 七〇歳の息子より九十七歳の母親への俳句だより 桐沢 洋氏(高24回)
- 私の研究と教育 西方 守氏(高25回)
- 塩竈の歴史 三浦 一奏氏(高21回)

図書館への書籍等のご寄贈についてのお知らせ

校舎の大規模改修工事計画に伴う引越準備のため、図書館でも蔵書の整理を実施しております。

つきましては、同窓生の皆様からのご寄贈等につきましては、次のような取り扱いとさせていただきます。

- (一) 同窓生ご自身の著作については、ご本人からの申し出によるもの限り、一冊のみ寄贈を受け入れて、北陵文庫として保存する。
- (二) 個人の蔵書のご寄贈については、受け入れをお断りする。
- (三) ご寄贈いただいた図書を取り扱いについては、学側に一任していただく。

期間は、令和七年一月より校舎改築・引越等が終了するまでとなります。

同窓生の皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



過去 3 年間の大学入試合格状況

( ) 内は現役内数

大学	年度別			大学	年度別			大学	年度別			
	R6年3月 合格者数	R5年3月 合格者数	R4年3月 合格者数		R6年3月 合格者数	R5年3月 合格者数	R4年3月 合格者数		R6年3月 合格者数	R5年3月 合格者数	R4年3月 合格者数	
国立大学	237 (155)	216 (146)	232 (155)	熊本大	1 (1)			玉川大	3			
公立大学	18 (10)	19 (12)	25 (17)	国立大学合計	237 (155)	216 (146)	232 (155)	中央大	37 (27)	48 (20)	36 (22)	
私立大学	492 (258)	456 (199)	414 (209)	はこだて未来大			2 (2)	津田塾大	1 (1)	2	2 (2)	
大学校・専修・その他の学校	6 (2)	5 (3)	10 (5)	宮城大	2 (2)	2 (2)	5 (2)	帝京大		1 (1)		
総計	753 (425)	696 (360)	681 (386)	国際教養大			1 (1)	東海大	2		3	
旭川医大		2	1	秋田県立大		1 (1)		東京医大	1			
	帯広畜産大	1 (1)	1 (1)	会津大		1 (1)		東京家政大			1 (1)	
	北海道大	13 (11)	7 (5)	福島県医科大	4 (2)	3 (1)	5 (2)	東京経済大				
	弘前大	4 (1)	1	高崎経済大	3 (1)		3 (3)	東京工科大			1 (1)	
	岩手大	9 (5)	8 (7)	埼玉県立大			1 (1)	東京慈恵会医大	1		1 (1)	
	文	5 (4)	6 (6)	7 (7)	前橋工科大		1	1 (1)	東京女子大	1 (1)	1 (1)	1
		法	6 (5)	6 (5)	5 (4)	3 (3)	3 (3)	東京女子医科大	1 (1)		1	
	経 済 教 育	6 (4)	7 (6)	14 (12)	東京都立大	4 (3)	5 (4)	3 (3)	東京学芸大		1	
	理	3 (3)	1 (1)	1 (1)	横浜市立大	2 (1)	1	1 (1)	東京電機大		2	
	工	9 (7)	4 (1)	8 (5)	新潟県立大		1 (1)	1 (1)	東京都市大	10 (1)	10 (1)	
医 保	12 (11)	14 (9)	10 (7)	都留文科大	1 (1)			東京農業大	12 (11)	2	3 (2)	
	歯	7 (6)	5 (4)	8 (8)	諏訪東京理大		1 (1)	1 (1)	東京薬科大	1 (1)		
薬	5 (5)	2 (2)	6 (2)	静岡県立大			1	東京理科大	66 (27)	44 (9)	47 (15)	
農	4 (3)	3 (1)	7 (4)	大阪公立大		1	2 (1)	東 邦 大			2 (1)	
東北大小計	93 (68)	76 (55)	99 (73)	京都府立大	1			東 洋 大	5 (2)	8 (6)	4 (3)	
宮城教育大	1	1	6 (4)	兵庫県立大	1	1 (1)		日 本 大	1	17 (7)	5 (3)	
秋 田 大	8 (5)	7 (4)	6 (2)	九州歯大		1		日本医科大	1	1		
山 形 大	30 (17)	41 (24)	25 (12)	公立大学合計	18 (10)	19 (12)	25 (17)	日本歯科大	1	1 (1)		
福 島 大	1 (1)	4 (4)		国公立大学合計	255 (165)	235 (158)	257 (172)	日本女子大	1 (1)	1 (1)	3 (1)	
茨 城 大	1	3 (3)	1 (1)	北海道医療大			1 (1)	日赤看護大		1 (1)		
筑 波 大	4 (2)	4 (4)	6 (6)	酪農学園大	1	3 (2)	3 (1)	法 政 大	25 (10)	36 (15)	26 (12)	
宇 都 宮 大	2		1	岩手医科大	5	3	6	星 薬 大	1 (1)		1	
群 馬 大	1 (1)		1	東北学院大	24 (19)	5 (3)	8 (7)	武 蔵 大			2 (2)	
埼 玉 大	8 (5)	4 (2)	3	東北工業大	1 (1)	696 (360)	6 (5)	武 蔵 野 大		5 (5)	1	
千 葉 大	4 (3)	3 (3)	4 (4)	東北福祉大	8 (1)	9	2	武蔵野美術大	4 (4)			
東京海洋大	1	1	1	東北医科薬科大	36 (21)	26 (10)	24 (10)	明 治 大	56 (33)	32 (12)	39 (25)	
お茶の水女子大	2 (2)		1 (1)	宮城学院女子大		2 (2)	1	明治学院大	1 (1)	2 (1)	2 (2)	
電気通信大	1 (1)	2 (2)	1	東北芸術工科大	1 (1)	2 (1)	2 (1)	明治薬大	1 (1)	1	1	
文 I	1 (1)		3 (3)	奥 羽 大		1	2 (1)	立 教 大	13 (9)	9 (4)	11 (4)	
	文 II	1	2 (2)	国際医療福祉大	1 (1)	4 (3)	3 (1)	立 正 大		3 (3)		
	文 III	3 (3)	2 (1)	自治医科大	2 (2)	2 (1)		早 稲 田 大	37 (22)	18 (14)	27 (21)	
理 I	6 (3)	3 (3)	5 (4)	獨協医科大	3	3	1	東京医療学院大			1 (1)	
理 II	6 (4)	2	2 (2)	明 海 大			1 (1)	麻 布 大			1	
理 III				埼玉医大	1	2 (1)		神 奈 川 大		3 (1)	2 (1)	
東京大小計	17 (11)	7 (4)	12 (11)	文教大	1	1		昭 和 音 大			1	
東京医歯大	2 (1)	1 (1)	1 (1)	神田外語大			1 (1)	聖マリアンナ医大	1			
東京外語大	2 (2)	3 (2)	1 (1)	千葉工大	1		3 (1)	松 本 歯 大			1 (1)	
東京学芸大	3 (1)	5 (5)	1 (1)	千葉科学大		1		愛 知 医 大		1		
東京工業大	3 (2)	5 (2)	3 (2)	帝京平成大			2 (2)	豊 田 工 大	1 (1)		2 (1)	
東京農工大	2	1 (1)	6 (4)	青山学院大	13 (11)	13 (8)	6 (4)	藤 田 医 大		1		
一 橋 大		4 (4)	5 (4)	桜 美 林 大		2 (2)		名 城 大	3 (2)			
横浜国立大	2 (2)	1	4 (3)	学習院大	5 (2)		1 (1)	京 都 外 大		1		
新 潟 大	5 (3)	5 (2)	8 (6)	北 里 大	5 (4)	5 (2)	4 (1)	同 志 社 大	6 (1)	1	8 (4)	
富 山 大	1 (1)	1 (1)		共立女子大	1 (1)			立 命 館 大	9 (6)	7 (2)	14 (6)	
金 沢 大	1	1 (1)	1	杏 林 大	1		1	龍 谷 大			2 (2)	
福 井 大	1			慶應義塾大	19 (12)	16 (9)	13 (8)	関 西 外 語 大			2 (1)	
信 州 大	1	2	1 (1)	工 学 院 大	4		2	関 西 大	1 (1)	1 (1)	3 (1)	
静 岡 大	1 (1)	1 (1)	1	國 學 院 大	1 (1)	2 (2)		関西学院大		3	2 (1)	
名 古 屋 大		1	1	国際基督教大	2 (2)			近 畿 大	4 (4)	4 (4)	3	
三 重 大		1		駒 澤 大		8	5 (2)	産 業 医 大		1 (1)		
京 都 大	4 (2)	6 (4)	8 (3)	芝 浦 工 大	32 (5)	23 (8)	23 (1)	私立大学合計	492 (258)	456 (199)	414 (209)	
京都工芸繊維大			1 (1)	順 天 堂 大		2 (1)	3 (1)	防衛大学校	3 (1)	3 (2)		
大 阪 大	3 (2)	4 (4)	1	上 智 大	5 (2)	9 (2)	14 (14)	防衛医科大	1		5 (2)	
神 戸 大	1 (1)		1	昭 和 大	2		3	航空保安大学校			1	
広 島 大	1	1		昭 和 女 子 大		1 (1)	1	水産大学校		1		
香 川 大	1 (1)			白百合女子大			2 (2)	気象大学校	1		1	
九 州 大	1 (1)	1	2 (2)	成 蹊 大	2 (1)	3 (3)	6 (5)	国立看護大学校	1 (1)			
長 崎 大			1 (1)	聖 心 女 子 大		1	1	大学校合計	6 (2)	4 (2)	7 (2)	
大 分 大			1	専 修 大	1	3		大学・短大・専門		1 (1)	3 (3)	
				大東文化大			2	その他合計	0 (0)	1 (1)	3 (3)	
				大 正 大		1 (1)						

部活動の記録／運動部成績

部 名	活動実績 (大会名・実績・選手名)
陸上競技部	令和 5 年度宮城県高等学校総合体育大会陸上競技 (5/20～5/23) 女子 100m 第 2 位 白鳥名花③ 女子 200m 第 3 位 白鳥名花③ 女子 4 × 100mR 第 4 位 金森美紀③加藤乃愛③墨谷友美③ 白鳥名花③ 女子 3000m 第 5 位 東海林雪乃② 女子 1500m 第 6 位 東海林雪乃② 男子 400mH 第 6 位 香川幹央③ 女子 4 × 400mR 第 7 位 白鳥名花③加藤乃愛③ 穂積寛子②安藤ななみ③ 女子三段跳 第 8 位 坂本彩紗② 女子総合 第 6 位 28 点
	令和 5 年度東北高等学校陸上競技選手権大会 (6/15～6/18) 女子 200m 第 7 位 白鳥名花③ 女子 100m 第 8 位 白鳥名花③ 女子 3000m 第 19 位 東海林雪乃② 男子 400mH 準決勝進出 香川幹央③ 女子 4 × 100mR 準決勝進出 金森美紀③加藤乃愛③ 墨谷友美③白鳥名花③ 女子 1500m 出場 東海林雪乃②
	令和 5 年度宮城県陸上競技選手権大会 (7/9～7/11) 少年女子 A300m 第 2 位 白鳥名花③ 一般女子 200m 第 2 位 白鳥名花③ 一般女子 5000m 第 2 位 東海林雪乃② 少年男子 B100m 第 3 位 玉木大誠① 一般女子 400m 第 6 位 加藤乃愛③ 一般女子 800m 第 6 位 安藤ななみ③ 一般女子 4 × 400mR 第 7 位 虎岩あかり②穂積寛子② 加藤心那①渡邊華②
	第 54 回東北陸上競技選手権大会 (8/26～8/27) 女子 4 × 100mR 第 2 位 宮城選抜チーム (2 走白鳥名花③) 女子 5000m 第 3 位 東海林雪乃② 女子 200m 第 4 位 白鳥名花③
	令和 5 年度宮城県高等学校新人陸上競技大会 (9/7～9/10) 男子 200m 第 2 位 玉木大誠① 女子 3000m 第 2 位 東海林雪乃② 男子 100m 第 3 位 玉木大誠① 女子 4 × 100m 第 5 位 坂本彩紗②穂積寛子② 藤本心花①大久保早紀② 女子 800m 第 6 位 渡邊華② 女子走幅跳 第 7 位 大久保早紀② 女子三段跳 第 8 位 大久保早紀② 女子 1500m 第 8 位 東海林雪乃②
	第 55 回宮城県ロードレース選手権 (9/18) 一般大学高校女子 5km 第 6 位 東海林雪乃②
	第 28 回東北高等学校新人陸上競技選手権大会 (9/28～9/30) 女子 3000m 第 3 位 東海林雪乃② 男子 100m 第 5 位 玉木大誠① 男子 200m 出場 玉木大誠①
	令和 5 年度宮城県高等学校駅伝競走大会 (10/28) 女子 7 位 男子 13 位
	令和 6 年度宮城県春季陸上競技選手権大会兼国体予選 (2024/4/20～4/21) 女子 3000m 第 1 位 東海林雪乃③ 男子走幅跳 第 3 位 川又宏③ 男子 100m 第 4 位 玉木大誠②
	令和 6 年度宮城県高等学校総合体育大会陸上競技 (2024/5/24～5/27) 男子 100m 第 1 位 玉木大誠② 男子 200m 第 1 位 玉木大誠② 男子走幅跳 第 4 位 川又宏③ 男子 1600mR 第 4 位 田中誠太郎③川又宏③ 佐藤優樹③玉木大誠② 以上東北大会進出
	女子三段跳 第 6 位 坂本彩紗③ 女子 400m 第 7 位 加藤心那② 男子棒高跳 第 7 位 三浦遥介① 女子三段跳 第 8 位 大久保早紀③

部 名	活動実績 (大会名・実績・選手名)
硬式野球部	令和 5 年度第 17 回春季宮城県高等学校野球中部地区大会 (4/23～5/9) リンク方式 1 試合目 仙台二 5 - 8 県工業 2 試合目 仙台二 10 - 7 広瀬 (延長 10 回タイブレーク) 県大会出場決定戦 1 回戦 仙台二 7 - 5 県工業 2 回戦 仙台二 4 - 3 市工業 (県大会出場) 第 78 回仙台一高・仙台二高硬式野球定期戦 (5/13) 仙台二 0 - 1 仙台一 第 70 回春季東北地区高等学校野球宮城県大会 (5/19～5/25) 1 回戦 仙台二 1 - 9 仙台商業 (7 回コールド) 第 105 回全国高等学校野球選手権大会宮城大会 (7/7～7/23) 1 回戦 仙台二 7 - 6 泉松陵 2 回戦 仙台二 9 - 2 石巻西 (7 回コールド) 準決勝 仙台二 1 - 8 古川学園 (7 回コールド) (ベスト 16) 第 17 回秋季宮城県高等学校野球中部地区大会 (8/19～9/3) 1 回戦 仙台二 2 - 5 県工業 敗者復活戦 1 回戦 仙台二 0 - 10 東北学院 (6 回コールド) 中部地区 1 年生大会 (10/15～11/17) 1 回戦 仙台二 1 - 1 仙台 (延長引き分け, 大会規定により仙台二勝ち上がり) 2 回戦 仙台二 15 - 7 東北学院 (7 回コールド) 準決勝 仙台二 4 - 1 聖和学園 決勝 仙台二 0 - 10 仙台育英 (5 回コールド) (準優勝)
	令和 5 年度仙台一高・仙台二高軟式野球定期戦 (5/6～) 仙台二 2 - 10 仙台一 第 18 回春季東北地区高等学校軟式野球宮城県大会 (5/20～5/30) 1 回戦 仙台二 0 - 4 仙台育英 第 68 回全国高等学校軟式野球選手権宮城県大会 (6/30～7/5) 1 回戦 仙台二 1 - 10 尚絅学院 (7 回コールド) 第 64 回秋季東北地区高等学校軟式野球宮城県大会 (10/3～10/8) 2 回戦 仙台二 0 - 9 東北学院 (7 回コールド)
	宮城県高等学校新人大会サッカー競技 (11/9～11/12) 1 回戦 仙台二 7 - 1 迫桜 2 回戦仙台二 3 - 5 仙台南 宮城県高等学校総合体育大会サッカー競技 (5/20～5/27) 1 回戦 仙台二 2 - 1 石巻西・石巻商業合同チーム 2 回戦 仙台二 0 - 2 東北 全国高校サッカー選手権大会宮城県大会決勝トーナメント (7/13～) 宮城県 1 次予選 仙台二 2 - 3 尚絅学院 第 103 回全国高等学校学校選手権宮城県大会 (2024/10/9～10/20) 1 回戦 仙台二 vs 古川学園 2 - 0 2 回戦 仙台二 vs 気仙沼 5 - 0 3 回戦 仙台二 vs 古川黎明 2 - 1 4 回戦 仙台二 vs 日本ウェルネス宮城 0 - 5 ベスト 16 敗退
	令和 6 年度第 73 回宮城県高等学校総合体育大会サッカー競技 (2024/5/19～5/25) 1 回戦 仙台二 vs 仙台 1 - 0 2 回戦 仙台二 vs 仙台育英 0 - 5 ベスト 32 敗退
ラグビー部	第 72 回宮城県高等学校総合体育大会ラグビー競技 7 人制大会 (4/22～4/23) 予選トーナメント 合同② (仙台二・仙台工・仙台東) 7 - 24 白石工 合同② (仙台二・仙台工・仙台東) 10 - 26 合同① (仙台一・多賀城) ※予選敗退 第 72 回宮城県高等学校総合体育大会ラグビー競技 15 人制大会 (5/25～6/5) 2 回戦 合同① (仙台二・仙台一・仙台工・仙台東・多賀城・高専広瀬) 0 - 59 佐沼
	令和 5 年度宮城県春季陸上競技選手権大会兼国体予選 (4/22～4/23) 女子 3000m 第 1 位 東海林雪乃② 女子 100m 第 3 位 白鳥名花③ 女子 400m 第 3 位 加藤乃愛③



部 名	活動実績 (大会名・実績・選手名)	部 名	活動実績 (大会名・実績・選手名)
ハ ン ド ボ ー ル 部	<p>第 73 回宮城県高等学校総合体育大会ハンドボール競技 (2024/6/1～6/3)</p> <p>1 回戦 仙台二 15 - 14 古川工業 2 回戦 仙台二 27 - 23 仙台西 3 回戦 仙台二 28 - 21 仙台南 準決勝 仙台二 9 - 33 利府 【第 3 位】</p> <p>第79回国民スポーツ大会ハンドボール競技宮城県第一次予選 (2024/7/18～7/20)</p> <p>2 回戦 仙台二 17 - 14 富谷 3 回戦 仙台二 16 - 23 仙台南</p>		<p>女子 400mR 第 8 位 虎岩あかり③大久保早紀③ 藤本心花②坂本彩紗③</p> <p>女子七種競技 第 8 位 上野アンジェリク②</p> <p>令和 6 年度東北高等学校陸上競技選手権大会 (2024/6/14～6/17)</p> <p>男子 100m 第 3 位 玉木大誠② 男子 200m 第 3 位 玉木大誠② 以上インターハイ進出</p> <p>男子走幅跳 第 7 位 川又宏③ 男子 1600mR 出場 田中誠太郎③川又宏③ 佐藤優樹③玉木大誠②</p>
バ ス ケ ッ ト ボ ー ル 部	<p>第72回宮城県高校総体バスケットボール競技 仙塩地区予選会 (5/6～5/9)</p> <p>〔男子〕 予選リーグ 仙台二 95 - 53 仙塩二華 仙台二 59 - 45 泉松陵 県総合体育大会出場</p> <p>〔女子〕 予選リーグ 仙台二 46 - 74 仙台 代表決定トーナメント 仙台二 55 - 67 仙塩育英 仙台二 54 - 38 泉松陵 県総合体育大会出場</p> <p>第 72 回宮城県高等学校総合体育大会バスケットボール競技 (6/2～6/5)</p> <p>〔男子〕 1 回戦 仙台二 68 - 34 気仙沼向洋 2 回戦 仙台二 62 - 54 黒川 3 回戦 仙台二 61 - 87 白石工業 ベスト 16 2 回戦 仙台二 47 - 57 登米</p> <p>宮城県高等学校バスケットボール選手権大会兼全国高等学校 バスケットボール選手権大会宮城県予選一次大会 (8/28～8/31)</p> <p>〔男子〕 1 回戦 仙台二 85 - 83 登米 2 回戦 仙台二 65 - 70 仙台南</p> <p>〔女子〕 1 回戦 仙台二 37 - 74 佐沼</p> <p>令和 5 年度 宮城県高等学校新人バスケットボール大会 仙塩地区予選会 (10/28～11/4)</p> <p>〔男子〕 予選リーグ 仙台二 75 - 60 松島 仙台二 63 - 61 仙塩工業 県新人大会出場 順位決定一次トーナメント 仙台二 47 - 75 仙塩城南</p> <p>〔女子〕 予選リーグ 仙台二 22 - 116 尚綱 仙台二 49 - 40 仙塩二華 代表一次トーナメント 仙台二 41 - 36 仙塩三 仙台二 49 - 42 東北生文大 県新人大会出場</p> <p>令和 5 年度 宮城県高等学校新人バスケットボール大会 (1/18～1/21)</p> <p>〔男子〕 1 回戦 仙台二 76 - 64 気仙沼向洋 2 回戦 仙台二 40 - 120 東北</p> <p>〔女子〕 1 回戦 仙台二 61 - 36 角田 2 回戦 仙台二 10 - 150 仙台大学附属明成</p> <p>第 60 回仙台市民総合体育大会バスケットボール競技高校の 部 兼第 46 回仙台市高等学校バスケットボール選手権大会 (1/27～1/28)</p> <p>〔男子〕 1 回戦 仙台二 20 - 0 仙台一 2 回戦 仙台二 47 - 73 仙台三</p> <p>第 73 回宮城県高校総体バスケットボール競技 仙塩地区予選会 (2024/5/4～5/7)</p> <p>〔男子〕 予選リーグ 仙台二 71 - 54 仙塩工業 県総合体育大会出場</p> <p>第 73 回宮城県高等学校総合体育大会バスケットボール競技 (2024/6/1～6/3)</p> <p>〔男子〕 2 回戦 仙台二 73 - 63 白石 3 回戦 仙台二 52 - 106 利府 ベスト 16</p> <p>宮城県高等学校バスケットボール選手権大会兼全国高等学校 バスケットボール選手権大会宮城県予選一次大会 (2024/8/20～8/21)</p> <p>〔男子〕 2 回戦 仙台二 81 - 51 小牛田農林 3 回戦 仙台二 42 - 68 仙塩二華(学院榴ヶ岡) 本大会出場決定</p> <p>宮城県高等学校バスケットボール選手権大会兼全国高等学校 バスケットボール選手権大会宮城県予選本大会 (2024/10/19～10/20)</p> <p>〔男子〕 予選リーグ 県新人大会出場 順位決定一次トーナメント</p> <p>令和 6 年度 宮城県高等学校新人バスケットボール大会 仙塩地区予選会 (2024/11/2～11/10)</p> <p>〔男子〕 予選リーグ 県新人大会出場 順位決定一次トーナメント</p>	<p>令和 6 年度宮城県陸上競技選手権大会 (2024/7/5～7/7)</p> <p>女子 400m 第 6 位 加藤心那② 少年 B 男子走幅跳 第 6 位 岸昂樹① 少年 A 男子 300m 第 7 位 玉木大誠② 女子 400mR 第 8 位 上野アンジェリク②藤本心花② 志村佳音②北村結①</p> <p>令和 6 年度全国高等学校陸上競技選手権大会 (2024/7/28～8/1)</p> <p>男子 100m 準決勝進出 玉木大誠② 男子 200m 準決勝進出 玉木大誠②</p> <p>令和 6 年度国体最終予選 (2024/8/25)</p> <p>少年 B 男子 3000m 第 3 位 田中悠太①</p> <p>令和 6 年度宮城県高等学校新人陸上競技大会 (2024/9/6～9/9)</p> <p>男子 200m 第 1 位 玉木大誠② 男子 100m 第 2 位 玉木大誠② 女子 400mH 第 3 位 加藤心那② 男子 5000m 第 5 位 川嶋悠② 男子 5000mW 第 5 位 川田智也② 女子棒高跳 第 5 位 菅原綾音① 男子 1500m 第 6 位 田中悠太① 男子 300mSC 第 6 位 中館才門② 男子 5000mw 第 7 位 中島直人① 男子棒高跳 第 7 位 三浦遥介① 男子走幅跳 第 8 位 岸昂樹① 女子 200m 第 8 位 藤本心花② 女子 400mH 第 8 位 宇部愛海② 女子 3000m 第 8 位 松原知世② 女子 4 × 100mR 第 8 位 上野アンジェリク②藤本心花② 北村結①加藤心那② 女子 4 × 400mR 第 8 位 上野アンジェリク②大崎ひなた① 藤本心花②宇部愛海②</p> <p>令和 6 年度東北高等学校新人陸上競技大会 (2024/9/27～9/29)</p> <p>男子 200m 第 1 位 玉木大誠② 男子 100m 第 3 位 玉木大誠② 女子 400mH 出場 加藤心那② 男子 5000m 出場 川嶋悠② 男子 1500m 出場 田中悠太①</p> <p>令和 6 年度国民スポーツ大会陸上競技 (2024/10/11～10/15)</p> <p>少年 A 男子 100m 準決勝進出 玉木大誠② 青年少年男子共通 4 × 100mR 出場 玉木大誠②</p> <p>令和 5 年度宮城県春季ハンドボール選手権大会 (4/21～4/23)</p> <p>2 回戦 仙台二 21 - 12 仙塩育英 3 回戦 仙台二 15 - 14 仙台西 準決勝 仙台二 10 - 24 聖和学園 3 位決定戦 仙台二 19 - 15 仙台一 【第 3 位】</p> <p>第 72 回宮城県高等学校総合体育大会ハンドボール競技 (6/3～6/5)</p> <p>2 回戦 仙台二 30 - 15 古川 3 回戦 仙台二 25 - 20 仙台南 準決勝 仙台二 16 - 21 聖和学園 【第 3 位】</p> <p>第78回国民スポーツ大会ハンドボール競技宮城県第一次予選 (7/21～7/23)</p> <p>2 回戦 仙台二 22 - 11 仙台一 3 回戦 仙台二 34 - 5 富谷 準決勝 仙台二 24 - 16 仙台三 決勝 仙台二 11 - 24 聖和学園 【第 2 位】</p> <p>令和 5 年度宮城県高等学校ハンドボール競技新人大会 (11/4～11/6)</p> <p>2 回戦 仙台二 19 - 16 仙台西 3 回戦 仙台二 18 - 21 県工業</p> <p>令和 6 年度宮城県春季ハンドボール選手権大会 (2024/4/25～4/27)</p> <p>2 回戦 仙台二 22 - 21 仙台一 3 回戦 仙台二 12 - 35 聖和学園</p>	

部 名	活動実績 (大会名・実績・選手名)	部 名	活動実績 (大会名・実績・選手名)
バドミントン部	<p>第 73 回宮城県高等学校総合体育大会バドミントン競技学校対抗戦 (2024/6/1～6/3)</p> <p>男子 1 回戦 仙台二 3 - 1 名取 2 回戦 仙台二 1 - 3 仙台三 女子 1 回戦 仙台二 0 - 3 仙台一</p> <p>令和 6 年度ジュニアバドミントン選手権大会 (2024/8/7～8/11)</p> <p>男子ダブルス 森・斧田組 ベスト 64 男子シングルス 澤田 ベスト 64</p> <p>令和 6 年度宮城県高等学校新人大会バドミントン競技個人対抗戦 (2024/10/29～10/30)</p> <p>男子ダブルス 斧田・森組 ベスト 64 草刈・小野組 初戦敗退 男子シングルス 澤田 2 回戦敗退 女子ダブルス 鳥本・木地組 ベスト 64 鈴木・井上組 初戦敗退 女子シングルス 鳥本 初戦敗退</p>	バレーボール部	<p>第 72 回宮城県高等学校総合体育大会バレーボール競技 (6/3～6/5)</p> <p>〔男子〕 1 回戦 仙台二 2 - 0 小牛田農林 2 回戦 仙台二 2 - 0 角田 3 回戦 仙台二 0 - 2 東陵 ベスト 16 〔女子〕 1 回戦 仙台二 2 - 0 亙理 2 回戦 仙台二 0 - 2 尚絅学院</p> <p>第 76 回全日本バレーボール高等学校選手権大会 宮城県大会 兼 第 46 回仙台放送杯争奪宮城県大会 一次予選会 (9/9～9/10)</p> <p>〔男子〕 2 回戦 仙台二 2 - 0 名取 3 回戦 仙台二 0 - 2 学院榴ヶ岡 〔女子〕 1 回戦 仙台二 2 - 0 名取 2 回戦 仙台二 0 - 2 富谷</p> <p>令和 5 年度 (第 44 回) 仙台市民総体バレーボール競技高等学校の部 (11/11～11/12)</p> <p>〔男子〕 予選ブロック戦 仙台二 2 - 0 塩釜 仙台二 2 - 0 多賀城 仙台二 0 - 2 仙台商 決勝トーナメント戦 仙台二 0 - 2 明成 〔女子〕 予選リーグ 仙台二 0 - 2 富谷 仙台二 1 - 2 仙台三</p> <p>令和 5 年度宮城県高等学校バレーボール競技新人大会 (1/20～1/22)</p> <p>〔男子〕 1 回戦 仙台二 2 - 0 加美農・小牛田農林 2 回戦 仙台二 2 - 0 仙台南 3 回戦 仙台二 0 - 2 宮城農 ベスト 16 〔女子〕 1 回戦 仙台二 2 - 0 涌谷・石巻北 2 回戦 仙台二 1 - 2 登米総合</p>
テニス部	<p>春季ジュニアテニス大会 (4/29～5/7)</p> <p>女子シングルス (18歳以下) 第 4 位 小堀歩乃佳 (東北大会出場)</p> <p>女子シングルス (16歳以下) 第 5 位 雪谷麻紗 (東北大会出場)</p> <p>女子ダブルス (18歳以下) 準優勝 小堀歩乃佳 (東北大会出場)</p> <p>男子シングルス (16歳以下) 第 6 位 飯田陽也 (東北大会出場)</p> <p>男子シングルス (18歳以下) ベスト 32 久保聡太 桜井清星</p> <p>男子ダブルス (18歳以下) ベスト 16 星野崇史・久保聡太 大江遙士・桜井清星</p> <p>高総体テニス競技 (5/19～5/29)</p> <p>女子団体 第 3 位 東北大会出場 (佐々木麗・佐藤風花・小堀歩乃佳・二戸杏花・雪谷麻紗)</p> <p>女子シングルス 第 7 位 小堀歩乃佳 女子ダブルス 第 3 位 小堀歩乃佳・雪谷麻紗 男子団体ベスト 16 (大江遙士・星野崇史・久保聡太・桜井清星・飯田陽也)</p> <p>東北高校テニス選手権大会 (6/17～6/19)</p> <p>女子団体 1 回戦 対聖霊女子 0 - 3 敗退</p> <p>全日本ジュニアテニス選手権東北大会 (7/14～7/18)</p> <p>女子シングルス (18歳以下) ベスト 16 小堀歩乃佳 女子ダブルス (18歳以下) ベスト 8 小堀歩乃佳 女子シングルス (16歳以下) ベスト 32 雪谷麻紗 男子シングルス (16歳以下) ベスト 32 飯田陽也</p> <p>県民体育大会テニス競技 (7/27～7/30)</p> <p>女子シングルス 優勝 雪谷麻紗 準優勝 小堀歩乃佳</p> <p>男子シングルス ベスト 16 桜井清星 飯田陽也 ベスト 32 阿部悠太郎</p> <p>夏季ジュニアテニス選手権大会 (8/9～8/12)</p> <p>女子シングルス 準優勝 小堀歩乃佳 第 3 位 雪谷麻紗 ベスト 16 神野山羽 男子シングルス ベスト 16 飯田陽也 ベスト 32 野呂理月 桜井清星</p> <p>県新人戦 (9/8～10/5)</p> <p>男子団体 第 3 位 桜井清星・遠藤瑛大・野呂理月・繁田滉生・川名湊・阿部悠太郎・飯田陽也・川田奏太郎・佐藤慶汰</p> <p>男子シングルス ベスト 16 桜井清星 ベスト 32 阿部悠太郎 飯田陽也</p> <p>男子ダブルス ベスト 16 桜井清星・飯田陽也</p> <p>女子団体 第 3 位 小堀歩乃佳・二戸杏花・花房華穂・神野山羽・雪谷麻紗・藤本柚乃・湯浅天結</p> <p>女子シングルス 第 3 位 小堀歩乃佳 第 4 位 雪谷麻紗</p> <p>女子ダブルス 準優勝 小堀歩乃佳・雪谷麻紗</p> <p>冬季ジュニアテニス大会 (12/2～12/17)</p> <p>女子シングルス (18歳以下) 第 3 位 雪谷麻紗 第 4 位 小堀歩乃佳 ベスト 32 二戸杏花 花房華穂</p> <p>女子ダブルス (18歳以下) 第 4 位 小堀歩乃佳 第 8 位 雪谷麻紗</p> <p>男子シングルス (16歳以下) 第 6 位 飯田陽也</p>	バドミントン部	<p>第 72 回高校総体 1 次予選会 兼 宮城県バドミントン選手権大会 (4/27～5/1)</p> <p>男子ダブルス 富永・笹森組 小寺・坂田組 ベスト 64 女子ダブルス 遠藤・井上組 ベスト 64</p> <p>第 72 回宮城県高等学校総合体育大会バドミントン競技個人対抗戦 (5/18～5/21)</p> <p>男子ダブルス 小寺・坂田組 ベスト 64 富永・笹森組 石井・山家組 2 回戦敗退 佐藤・山口組 初戦敗退</p> <p>男子シングルス 小寺 ベスト 32</p> <p>女子ダブルス 富永 坂田 佐藤 2 回戦敗退 大橋・鈴木組 遠藤・井上組 坂本・柿田組 ベスト 64 金・村野組 初戦敗退</p> <p>女子シングルス 村野 2 回戦敗退 鈴木 大橋 金 初戦敗退</p> <p>第 72 回宮城県高等学校総合体育大会バドミントン競技学校対抗戦 (6/3～6/5)</p> <p>男子 1 回戦 仙台二 2 - 3 仙台西 女子 1 回戦 仙台二 0 - 3 宮城一</p> <p>令和 5 年度国体予選バドミントン競技 (7/8～7/9)</p> <p>男子シングルス 小寺 ベスト 32</p> <p>令和 5 年度ジュニアバドミントン選手権大会 (8/7～8/9)</p> <p>男子ダブルス 森・山家組 ベスト 64 女子ダブルス 鈴木里・木地組 鈴木千・鳥本組 ベスト 64</p> <p>令和 5 年度宮城県高等学校新人大会バドミントン競技個人対抗戦 (10/23～10/24)</p> <p>男子ダブルス 笹森・澤田組 ベスト 64 男子シングルス 山家 初戦敗退 女子ダブルス 鈴木里・木地組 村野・金組 ベスト 64 鈴木千・鳥本組 野崎・井上組 初戦敗退</p> <p>女子シングルス 鈴木里 ベスト 64 金 初戦敗退</p> <p>令和 5 年度宮城県高等学校新人大会バドミントン競技学校対抗戦 (11/1～11/3)</p> <p>男子 1 回戦 仙台二 0 - 3 東北学院 女子 1 回戦 仙台二 3 - 0 仙台向山 2 回戦 仙台二 3 - 2 宮城農 3 回戦 仙台二 0 - 3 尚絅学院 ベスト 16</p> <p>第 73 回宮城県高等学校総合体育大会バドミントン競技個人対抗戦 (2024/5/22～5/25)</p> <p>男子ダブルス 山家・斧田組 石井・森組 ベスト 64 笹森・澤田組 高坂・佐々木組 初戦敗退</p> <p>男子シングルス 山家 2 回戦敗退 石井 澤田 初戦敗退</p> <p>女子ダブルス 鈴木・木地組 ベスト 64 金・鳥本組 村野・野崎組 高畑・佐藤組 2 回戦敗退</p> <p>女子シングルス 鳥本 2 回戦敗退 鈴木 金 村野 初戦敗退</p>



部 名	活動実績 (大会名・実績・選手名)	部 名	活動実績 (大会名・実績・選手名)
ソフトテニス部	<p>2勝 対能代 (秋田), 対磐城桜ヶ丘 (福島) 1敗 対羽黒 (山形)</p> <p>特別国民体育大会ソフトテニス競技少年男女第1次選考会兼 第69回宮城県高等学校ソフトテニス春季大会 (4/26 ~ 4/27) 熊谷・本田ペア 3回戦敗退, 金・藤田ペア 3回戦敗退, 谷口・菊地ペア 2回戦敗退, 小野寺・武田ペア 初戦敗退 ベスト32 遠藤・打矢</p> <p>ソフトテニス 令和5年度 一ニ三高定期戦 団体女 (4/30) 2-3 (一高) 2-3 (三高)</p> <p>第28回 高校女子選抜ソフトテニス大会 (5/3 ~ 5/5) 団体3位 仙台第二Aチーム 予選リーグ 3-0 対一関第一 (岩手) 対釜石 (岩手) 対山形商業 (山形) 決勝トーナメント 2-1 対八戸光星 (青森) 準決勝 1-2 高田 (岩手)</p> <p>第72回 宮城県高等学校総合体育大会ソフトテニス競技 (6/3 ~ 6/5)</p> <p>男子個人 熊谷・本田ペア 2回戦敗退, 小野寺・武田ペア 2回戦敗退, 金・藤田ペア 初戦敗退, 鈴木・菊地ペア 初戦敗退</p> <p>男子団体 1回戦 仙台二③-0 柴農川崎 2回戦 仙台二0-②聖ウルスラ</p> <p>第72回 宮城県高等学校総合体育大会ソフトテニス競技 (6/3 ~ 6/5)</p> <p>女子個人 遠藤理生・打矢ひかり 2回戦 ④-0 仙台商 3回戦 ④-1 白石工 4回戦 ④-1 東北 準々決勝 ④-1 東北 準決勝 1-④東北 第3位 (東北大会及びインターハイ出場)</p> <p>寺嶋・辻本 1回戦 ④-3 仙台二華 2回戦 0-④東北</p> <p>相原・柏谷 2回戦 3-④佐沼 福澤・山崎 1回戦 2-④佐沼</p> <p>女子団体 (遠藤・打矢・相原・柏谷・福澤・山崎・寺嶋・曾根) 1回戦 ②-1 岩ヶ崎・登米連合 2回戦 ②-0 小牛田農 3回戦 ②-0 仙台三桜 準々決勝 0-②東北 ベスト8</p> <p>令和5年度 第66回 東北高等学校ソフトテニス選手権大会 (6/24 ~ 6/25) 女子個人戦 遠藤・打矢 1回戦敗退 対山形城北 (山形)</p> <p>令和5年度全国高等学校総合体育大会ソフトテニス競技大会 (7/26 ~ 7/29)</p> <p>女子個人戦 2回戦 ④-1 中村 (高知) 3回戦 1-④四天王寺 (大阪)</p> <p>第72回 宮城県高等学校ソフトテニス夏季大会 (8/7 ~ 8/9)</p> <p>男子個人 加納・佐々木, 阿部・松元, 結城・平井, 三島・清水, 山田・鹿戸 以上初戦敗退, 菊地・五十嵐, 田茂・紺野 以上2回戦敗退, 鈴木・本田, 吉田・武田 以上3回戦敗退, 千葉・三浦 4回戦敗退 ベスト64</p> <p>女子個人 菅井・渡邊 1回戦 ④-1 多賀城 2回戦 ④-2 仙台南 3回戦 0-④東北 曾根・辻本 1回戦 0-④古川</p> <p>令和5年度宮城県高等学校ソフトテニス新人大会仙台地区予 選会 (10/17 ~ 10/18)</p> <p>女子個人 菅井・渡邊 1回戦 ④-0 仙台東 2回戦 ④-2 仙台 3回戦 1-④聖ウルスラ 曾根・辻本 1回戦 3-④仙台一</p> <p>令和5年度宮城県高等学校ソフトテニス新人大会 (11/2 ~ 11/4)</p> <p>男子個人 吉田・本田, 菊地・五十嵐 以上初戦敗退, 加納・佐々木 2回戦敗退, 千葉・三浦 3回戦敗退 ベスト32</p> <p>男子団体 1回戦 仙台二1-②古川工業</p> <p>女子個人 菅井・渡邊 1回戦 3-④東北学院</p> <p>女子団体 (曾根・玉田, 菅井・辻本, 渡邊・二戸) 1回戦 ③-0 塩釜 2回戦 ②-0 仙台東 3回戦 0-②聖ウルスラ ベスト16</p> <p>県インドア代表決定戦 0-②仙台北</p> <p>第3回宮城県公立高等学校ソフトテニス学校対抗戦 (12/2) 女子団体 (曾根・玉田, 菅井・伊藤, 渡邊・辻本) 予選リーグ2勝 (②-1 白石 ③-0 仙台南) 1位通過 トーナメント1回戦 0-②佐沼 ベスト8</p>	<p>男子シングルス (18歳以下) ベスト16 桜井清星 川名湊 ベスト32 阿部悠太郎</p> <p>男子ダブルス (18歳以下) ベスト16 飯田陽也・阿部悠太郎</p> <p>第39回東北インドアテニスジュニア選手権大会 女子ダブルス ベスト8 小堀歩乃佳 春季ジュニアテニス大会 (2024/4/27 ~ 5/5) 女子シングルス (18歳以下) 優勝 小堀歩乃佳 東北大会出場 準優勝 雪谷麻紗 東北大会出場 ベスト32 神野由羽</p> <p>女子ダブルス (18歳以下) 優勝 小堀歩乃佳・雪谷麻紗 東北大会出場</p> <p>男子シングルス (18歳以下) ベスト16 桜井清星 飯田陽也 ベスト32 野呂理月 川名湊 阿部悠太郎</p> <p>男子ダブルス (18歳以下) ベスト16 桜井清星・川名湊 阿部悠太郎 飯田陽也・川田奏太郎</p> <p>高校総体 (2024/5/31 ~ 6/2) 女子団体戦 準優勝 (小堀歩乃佳 二戸杏花 花房華穂 神野由羽 雪谷麻紗) 東北大会出場</p> <p>女子シングルス 第3位 小堀歩乃佳 第8位 雪谷麻紗 ベスト32 花房華穂</p> <p>女子ダブルス 第3位 小堀歩乃佳・雪谷麻紗</p> <p>男子団体戦 ベスト8 桜井清星 野呂理月 飯田陽也 川名湊 阿部悠太郎</p> <p>男子シングルス ベスト16 飯田陽也 ベスト32 桜井清星 川名湊 阿部悠太郎</p> <p>男子ダブルス ベスト16 桜井清星・川名湊 野呂理月・阿部悠太郎 飯田陽也・川田奏太郎</p> <p>第65回東北高等学校テニス選手権大会 (2024/6/15 ~ 6/17) 女子団体戦 ベスト8 (小堀歩乃佳 二戸杏花 花房華穂 神野由羽 雪谷麻紗) 仙台二2-0 山形東 (山形) 仙台二0-2 聖霊学園 (秋田)</p> <p>国体予選 (2024/7/5 ~ 7/7) 男子シングルス ベスト32 飯田陽也 川名湊 阿部悠太郎 安田 礼</p> <p>女子シングルス ベスト16 雪谷麻紗</p> <p>全日本ジュニアテニス選手権大会東北地区予選大会 (2024/7/19 ~ 7/23)</p> <p>女子シングルス (18歳以下) ベスト32 小堀歩乃佳 雪谷麻紗</p> <p>女子ダブルス (18歳以下) ベスト16 小堀歩乃佳・雪谷麻紗</p> <p>県民大会 (2024/7/27 ~ 7/30) 女子シングルス 準優勝 雪谷麻紗 男子シングルス ベスト8 飯田陽也 ベスト16 川名湊</p> <p>県新人大会 (2024/10/4 ~ 10/6) 男子団体戦 準優勝 (飯田陽也 川名湊 阿部悠太郎 川田奏太郎 安田 礼 佐藤慶汰 佐々木充 長田蒼佑) 東北大会出場</p> <p>男子シングルス 第3位 飯田陽也 第5位 川名湊 第7位 阿部悠太郎 ベスト32 安田 礼 佐藤慶汰 男子ダブルス 準優勝 飯田陽也・川田奏太郎 ベスト8 川名湊・阿部悠太郎</p> <p>女子団体戦 ベスト16 (雪谷麻紗 湯浅天結 藤本柚乃 白井杏 米田萌香 笠原碧衣 佐藤結愛 佐藤愛莉)</p> <p>女子シングルス 第3位 雪谷麻紗 女子ダブルス ベスト8 雪谷麻紗・湯浅天結</p> <p>第45回東北選抜高校テニス選手権大会 (2024/10/25 ~ 10/27) 男子団体戦 ベスト8 (飯田陽也 川名湊 阿部悠太郎 川田奏太郎 安田 礼 佐藤慶汰 佐々木充 長田蒼佑) 仙台二4-1 秋田 仙台二0-5 日大山形 仙台二4-1 山形東 仙台二2-3 青森工業</p> <p>ソフトテニス部</p> <p>第16回東北春季高等学校ソフトテニス選手権大会 団体戦 (4/2) 女子団体 (遠藤・打矢・相原・柏谷・山崎・福澤・寺嶋・曾根) 1次リーグ戦敗退</p>	

部 名	活動実績 (大会名・実績・選手名)	部 名	活動実績 (大会名・実績・選手名)
ソフトテニス部	<p>鈴木・武田ペア、加納・佐々木ペア、鹿戸・菊地ペア、福澤・鎌田ペア 2 回戦敗退 田茂・五十嵐ペア 1 回戦敗退</p> <p><b>第 67 回東北高等学校ソフトテニス選手権大会 (2024/6/15)</b> 【男子】 団体戦 予選リーグ 仙台二 0-③ 羽黒 (山形県) 仙台二 0-③ 一関学院 (岩手県) 仙台二 0-③ 弘前実業 (青森県) 予選リーグ敗退</p> <p><b>第 28 回宮城県高等学校ソフトテニス夏季大会 (2024/8/8 ~ 8/9)</b> 【男子】 千葉・三浦ペア 6 回戦敗退 ベスト 16 枠外獲得 吉田・福澤ペア 4 回戦敗退 ベスト 64 紺野・松元ペア 3 回戦敗退 田茂・五十嵐ペア、結城・平井ペア、松平・鈴木ペア、高橋・菊池ペア 2 回戦敗退</p> <p><b>令和 6 年度三県選抜 齊藤旗杯ソフトテニス団体対抗戦 (2024/8/10)</b> 【男子】 予選リーグ 仙台二 ③-0 安積 A 仙台二 0-③ 学報石川 A リーグ敗退</p>	ソフトテニス部	<p><b>ゴーセン杯高校選抜ソフトテニス大会 (12/3)</b> 男子団体 仙台二 A A チーム リーグ 1, 2 位 トーナメント第 1 位 仙台二 B B チーム リーグ 1, 2 位 トーナメント第 1 位</p> <p>女子団体 (曾根・玉田、菅井・伊藤、渡邊・辻本) 予選リーグ 2 勝 (③-0 館山・三桜・育英連合 ②-1 名取) 1 位通過 トーナメント 1 回戦 0-② 泉館山 ベスト 8</p> <p><b>第 34 回仙塩地区公立高等学校ソフトテニス大会 (個人戦) (2024/4/13 ~ 4/14)</b> 【女子】 曾根・玉田ペア 予選リーグ 1 位, 決勝トーナメント 1 回戦敗退 菅井・遠藤ペア、渡邊・辻本ペア 予選リーグ敗退</p> <p><b>第 70 回宮城県高等学校ソフトテニス春季大会 (2024/4/25)</b> 【女子】 曾根・玉田ペア 1 回戦④-3 仙台育英, 2 回戦 2-④ 仙台三 菅井・遠藤ペア 1 回戦④-0 石巻商業, 2 回戦 2-④ 佐沼 渡邊・辻本ペア 1 回戦 1-④ 聖ウルスラ 東海林・高橋ペア 1 回戦 3-④ 多賀城</p> <p><b>令和 6 年度宮城県総体ソフトテニス仙塩地区予選会 (2024/5/11 ~ 5/13)</b> 【女子】 曾根・玉田ペア 1 回戦④-0 泉松陵, 2 回戦④-0 仙台東, 3 回戦 3-④ 仙台三 菅井・遠藤ペア 1 回戦 渡邊・辻本ペア 1 回戦 東海林・高橋ペア 1 回戦</p> <p><b>第 73 回宮城県高等学校総合体育大会ソフトテニス競技 (2024/5/25 ~ 5/26)</b> 【女子】 団体戦 (曾根・玉田、渡邊・辻本、菅井・遠藤、東海林) 1 回戦②-1 石巻桜坂, 2 回戦 0-③ 石巻西 ベスト 16 個人戦 曾根・玉田ペア 1 回戦④-1 泉, 2 回戦 2-④ 仙台西 菅井・遠藤ペア 1 回戦 0-④ 常磐木</p> <p><b>第 65 回仙塩地区高等学校ソフトテニス大会 (団体戦) (2024/7/15)</b> 【女子】 団体戦 (菅井・渡邊、東海林・遠藤、高橋・青柳) 1 回戦 1-②</p> <p><b>第 28 回宮城県高等学校ソフトテニス夏季大会 (2024/8/8 ~ 8/9)</b> 【女子】 菅井・渡邊ペア 1 回戦④-0 塩釜, 2 回戦 3-④ 宮城工 東海林・遠藤ペア 1 回戦 1-④ 仙台青陵校 高橋・青柳ペア 1 回戦 3-④ 東北学院</p> <p><b>第 25 回青葉区ソフトテニス協会長杯高校生大会 (2024/8/19)</b> 【女子】 東海林・遠藤ペア 予選リーグ 3 戦全勝, 決勝トーナメント 1 回戦 0-④ 宮城学院 高橋・青柳ペア 予選リーグ 3 戦 0 勝敗退</p> <p><b>第 70 回宮城県高等学校ソフトテニス春季大会 (2024/4/25)</b> 【男子】 千葉・三浦ペア 4 回戦敗退 ベスト 32 吉田・本田ペア 3 回戦敗退 ベスト 64 鈴木・武田ペア 2 回戦敗退 加納・佐々木ペア 1 回戦敗退</p> <p><b>第 73 回宮城県高等学校総合体育大会ソフトテニス競技 (2024/5/25 ~ 5/26)</b> 【男子】 団体戦 2 回戦 ③-0 仙台三桜 3 回戦 ②-1 東北生文大高 4 回戦 ②-1 仙台大明成 5 回戦 ②-0 学院櫛ヶ岡 準決勝 0-② 東北 3 位決定戦 ②-0 仙台三 第 3 位 東北大会出場</p> <p><b>第 73 回宮城県高等学校総合体育大会ソフトテニス競技 (2024/6/1 ~ 6/3)</b> 【男子】 個人戦 吉田・本田ペア、千葉・三浦ペア 3 回戦敗退 ベスト 64</p>
水 泳 部	<p><b>第 72 回宮城県高等学校総合体育大会水泳競技大会 (6/23 ~ 6/25)</b> 女子 200m バタフライ 杉田陽菜① タイム決勝第 5 位 東北大会出場 男子 200m バタフライ 左館貴大① 決勝第 3 位 東北大会出場 男子 200m 自由形 高橋俊太郎② 決勝第 2 位 東北大会出場 女子 200m 背泳ぎ 杉田陽菜① 決勝第 8 位 東北大会出場 男子 100m バタフライ 左館貴大① 決勝第 5 位 東北大会出場 男子 100m 自由形 高橋俊太郎② 決勝第 2 位 東北大会出場 女子 4 × 100m フリーリレー 古山夢梨② 遠藤亜南② 宮地和月③ 杉田陽菜① タイム決勝第 8 位 東北大会出場 男子 4 × 100m フリーリレー 加藤晃成② 中嶋睦海③ 左館貴大① 高橋俊太郎② タイム決勝第 7 位 東北大会出場 女子 4 × 100m メドレーリレー 宮地和月③ 成瀬 紡② 杉田陽菜① 古山夢梨② タイム決勝第 10 位 男子 4 × 100m メドレーリレー 中嶋睦海③ 加藤晃成② 左館貴大① 高橋俊太郎② タイム決勝第 4 位 東北大会出場 女子 4 × 200m フリーリレー 古山夢梨② 遠藤亜南② 宮地和月③ 杉田陽菜① タイム決勝第 8 位 男子 4 × 200m フリーリレー 加藤晃成② 中嶋睦海③ 左館貴大① 高橋俊太郎② タイム決勝第 6 位 東北大会出場</p> <p><b>第 71 回東北高等学校選手権水泳競技大会 (7/21 ~ 7/23)</b> 女子 200m バタフライ 杉田陽菜① 予選 24 位 男子 200m バタフライ 左館貴大① 予選 18 位 男子 200m 自由形 高橋俊太郎② 決勝第 5 位 女子 200m 背泳ぎ 杉田陽菜① 予選 34 位 男子 100m バタフライ 左館貴大① 予選 24 位 男子 100m 自由形 高橋俊太郎② 決勝第 2 位 インターハイ出場 女子 4 × 100m フリーリレー 古山夢梨② 遠藤亜南② 宮地和月③ 杉田陽菜① 予選 28 位 男子 4 × 100m フリーリレー 高橋俊太郎② 中嶋睦海③ 加藤晃成② 左館貴大① 予選 20 位 男子 4 × 100m メドレーリレー 中嶋睦海③ 加藤晃成② 左館貴大① 高橋俊太郎② 予選 22 位 男子 4 × 200m フリーリレー 中嶋睦海③ 高橋俊太郎② 加藤晃成② 左館貴大① 予選 23 位</p> <p><b>鹿兒島特別国民体育大会水泳競技大会宮城県最終予選 (7/29)</b> 少年男子 A50m 自由形 高橋俊太郎② 第 2 位 少年男子 A100m 自由形 高橋俊太郎② 第 3 位</p>	ソフトテニス部	



部 名	活動実績 (大会名・実績・選手名)	部 名	活動実績 (大会名・実績・選手名)
水 泳 部	<p><b>第 72 回東北高等学校選手権水泳競技大会</b> (2024/7/19 ~ 7/21)</p> <p>男子 50m 自由形 高橋 俊太郎③ 決勝第 1 位 インターハイ出場</p> <p>女子 200m バタフライ 杉田 陽菜② 予選第 22 位</p> <p>男子 200m バタフライ 左館 貴大② 予選第 14 位</p> <p>女子 100m バタフライ 杉田 陽菜② 予選第 40 位</p> <p>男子 100m バタフライ 左館 貴大② 決勝第 10 位</p> <p>男子 100m 自由形 高橋 俊太郎③ 決勝第 1 位 インターハイ出場 (東北高校新記録)</p> <p>女子 4 × 100m フリーリレー 菊地 希③遠藤亜南③古山夢梨③杉田陽菜② 予選第 30 位</p> <p>男子 4 × 100m フリーリレー 高橋俊太郎③左館貴大②堀内彰悟①片倉慎太郎② 予選第 14 位</p> <p>女子 4 × 100m メドレーリレー 杉田陽菜②成瀬 紡③古山夢梨③遠藤亜南③ 予選第 31 位</p> <p>男子 4 × 100m メドレーリレー 堀内彰悟①加藤晃成③左館貴大②高橋俊太郎③ 予選第 11 位</p> <p>男子最優秀選手賞 高橋 俊太郎</p> <p><b>第 78 回国民スポーツ大会水泳競技大会宮城県最終予選会</b> (2024/7/27)</p> <p>少女女子 A 200m バタフライ 杉田 陽菜② 第 4 位</p> <p>少年男子 A 200m バタフライ 左館 貴大② 第 2 位</p> <p><b>令和 6 年度全国高等学校総合体育大会水泳競技大会</b> (2024/8/17 ~ 8/20)</p> <p>男子 50m 自由形 高橋俊太郎③ 決勝第 3 位</p> <p>男子 100m 自由形 高橋俊太郎③ 決勝第 3 位</p> <p><b>2024 年度宮城県高等学校新人水泳競技大会</b> (2024/8/30 ~ 9/1)</p> <p>女子 200m バタフライ 杉田 陽菜② タイム決勝第 2 位 東北新人大会出場</p> <p>男子 100m バタフライ 左館 貴大② 決勝第 3 位 東北新人大会出場</p> <p>男子 200m バタフライ 左館 貴大② 決勝第 2 位 東北新人大会出場</p> <p>学校対抗 男子第 8 位</p> <p><b>第32回東北高等学校新人水泳競技大会(2024/10/25~10/26)</b></p> <p>女子 200m バタフライ 杉田陽菜② 予選第 18 位</p> <p>男子 200m バタフライ 左館貴大② 決勝第 7 位</p> <p>男子 100m バタフライ 左館貴大① 決勝第 6 位</p>	水 泳 部	<p>少年男子 B100m バタフライ 左館貴大① 第 2 位</p> <p>少女女子 A200m バタフライ 杉田陽菜① 第 2 位</p> <p><b>令和 5 年度全国高等学校総合体育大会水泳競技大会 (8/20)</b></p> <p>男子 100m 自由形 予選第 46 位</p> <p><b>2023 年度宮城県高等学校新人水泳競技大会 (9/7 ~ 9/9)</b></p> <p>女子 100m 自由形 遠藤亜南② 決勝第 7 位</p> <p>男子 100m 自由形 高橋俊太郎② 決勝第 1 位</p> <p>東北新人大会出場</p> <p>女子 200m バタフライ 杉田陽菜① タイム決勝第 5 位 菊地 希② タイム決勝第 6 位</p> <p>男子 200m バタフライ 左館貴大① 決勝第 2 位 東北新人大会出場</p> <p>女子 200m 背泳ぎ 杉田陽菜① 決勝第 7 位</p> <p>男子 200m 平泳ぎ 加藤晃成② 決勝第 8 位</p> <p>女子 50m 自由形 古山夢梨② 決勝第 8 位</p> <p>女子 100m バタフライ 菊地 希② タイム決勝第 8 位</p> <p>男子 100m バタフライ 左館貴大① 決勝第 3 位 東北新人大会出場</p> <p>男子 200m 自由形 高橋俊太郎② 決勝第 2 位 東北新人大会出場</p> <p>男子 100m 平泳ぎ 加藤晃成② 決勝第 8 位</p> <p>女子 4 × 200m フリーリレー 菊地 希②遠藤亜南②成瀬 紡②鈴木見弥② タイム決勝第 5 位</p> <p>女子 4 × 100m メドレーリレー 鈴木見弥②成瀬 紡②遠藤亜南②古山夢梨② タイム決勝第 6 位</p> <p>男子 4 × 100m メドレーリレー 高橋俊太郎②加藤晃成②左館貴大①大畑慧馬① タイム決勝第 4 位 東北新人大会出場</p> <p>女子 4 × 100m フリーリレー 菊地 希②古山夢梨②鈴木見弥②遠藤亜南② タイム決勝第 6 位</p> <p>男子 4 × 100m フリーリレー 加藤晃成②大畑慧馬①高橋俊太郎②左館貴大① タイム決勝第 6 位</p> <p>学校対抗 女子第 6 位 男子第 5 位</p> <p><b>第 31 回東北高等学校新人水泳競技大会 (10/20 ~ 10/21)</b></p> <p>男子 100m 自由形 高橋俊太郎② 決勝第 1 位</p> <p>男子 200m バタフライ 左館貴大① 決勝第 7 位</p> <p>男子 200m 自由形 高橋俊太郎② 決勝第 5 位</p> <p>男子 100m バタフライ 左館貴大① 予選第 15 位</p> <p>男子 4 × 100m メドレーリレー 高橋俊太郎②加藤晃成②左館貴大①大畑慧馬① 予選第 14 位</p>
水 球 部	<p><b>第72回宮城県高等学校総合体育大会水泳大会(水球競技) (6/18)</b> 第 2 位 仙台二 8 - 13 柴田</p> <p><b>第71回東北高等学校選手権水泳(水球)競技大会 (7/8~7/9)</b> 第 5 位</p> <p><b>令和 5 年度宮城県高等学校新人水泳競技大会(水球競技) (9/10)</b> 優勝 仙台二 9 - 7 柴田</p> <p><b>第 30 回東北高等学校春季水球競技大会 (2024/5/25)</b> 黒沢尻工業高 10 - 12 仙台二高 福島水球クラブ 2 - 19 仙台二高 柴田高 3 - 8 仙台二高</p> <p><b>第73回宮城県高等学校総合体育大会水球競技大会(2024/6/23)</b> 柴田高 3 - 12 仙台二高 第 2 位</p> <p><b>第 72 回東北高等学校選手権水球大会 (2024/7/13 ~ 7/14)</b> 青森連合 19 - 5 仙台二高 柴田高 5 - 14 仙台二高 黒沢尻工業高 10 - 9 仙台二高 山形工業高 19 - 9 仙台二高 第 4 位</p> <p><b>令和 6 年度宮城県高等学校新人水球競技大会 (2024/10/14)</b> 柴田高校 7 - 7 仙台二高 PSO戦 4 - 1 第 2 位</p>	水 球 部	<p><b>第 73 回宮城県高等学校総合体育大会水泳競技大会</b> (2024/6/21 ~ 6/23)</p> <p>男子 50m 自由形 高橋俊太郎③ 決勝第 1 位 東北大会出場</p> <p>女子 200m バタフライ 杉田 陽菜② タイム決勝第 7 位 東北大会出場</p> <p>男子 200m バタフライ 左館 貴大② 決勝第 3 位 東北大会出場</p> <p>女子 200m 自由形 遠藤 亜南③ 決勝第 10 位</p> <p>女子 100m バタフライ 杉田 陽菜② 決勝第 8 位 東北大会出場</p> <p>男子 100m バタフライ 左館 貴大② 決勝第 3 位 東北大会出場</p> <p>女子 100m 自由形 古山 夢梨③ 決勝第 10 位</p> <p>男子 100m 自由形 高橋俊太郎③ 決勝第 1 位 東北大会出場</p> <p>女子 4 × 100m フリーリレー 菊地 希③遠藤亜南③古山夢梨③杉田陽菜② 決勝第 7 位 東北大会出場</p> <p>男子 4 × 100m フリーリレー 堀内彰悟①片倉慎太郎②高橋俊太郎③左館貴大② 決勝第 4 位 東北大会出場</p> <p>女子 4 × 100m メドレーリレー 杉田陽菜②成瀬 紡③古山夢梨③遠藤亜南③ 決勝第 7 位 東北大会出場</p> <p>男子 4 × 100m メドレーリレー 堀内彰悟①加藤晃成③左館貴大②高橋俊太郎③ 決勝第 4 位 東北大会出場</p> <p>女子 4 × 200m フリーリレー 菊地 希③鈴木見弥③遠藤亜南③杉田陽菜② タイム決勝第 7 位</p>
卓 球 部	<p><b>令和 5 年度宮城県高等学校総合体育大会卓球競技仙塩地区予選会 (5/10 ~ 5/13)</b></p> <p>男子学校対抗 予選トーナメント 1 回戦 3 - 0 仙台青陵 2 回戦 3 - 0 仙台東</p> <p>決勝トーナメント 2 回戦 0 - 3 仙台育英</p> <p>女子学校対抗 予選トーナメント 2 回戦 3 - 0 仙台一</p> <p>決勝トーナメント 1 回戦 3 - 1 富谷 2 回戦 2 - 3 聖ウルスラ</p> <p>男子ダブルス 鈴木亮真③・川村壮太③ 県総体出場</p> <p>女子ダブルス 鈴木悠花③・上杉望乃① 県総体出場</p> <p>男子シングルス 鈴木亮真③, 保坂恵佑②, 相原漣人① 県総体出場 (川村壮太③は予選免除)</p> <p>女子シングルス 鈴木悠花③ (第 2 位), 工藤春佳③, 上杉望乃① 県総体出場</p>	卓 球 部	<p>男子 4 × 100m フリーリレー 高橋俊太郎②加藤晃成②左館貴大①大畑慧馬① 予選第 14 位</p>

部 名	活動実績 (大会名・実績・選手名)	部 名	活動実績 (大会名・実績・選手名)
卓 球 部	<p>女子学校対抗 県総体進出 予選トーナメント 1回戦 3-1 広瀬 2回戦 3-2 仙台 決勝トーナメント 1回戦 3-2 仙台三桜 2回戦 0-3 聖和学園</p> <p>男子シングルス 相原漣人②、大森泰地② 県総体進出 女子シングルス 上杉望乃② 県総体進出 女子ダブルス 上杉望乃②・今在家梨緒② 県総体進出</p> <p><b>第73回宮城県高等学校総合体育大会卓球競技</b> (2024/5/25～6/3)</p> <p>男子学校対抗 2回戦 2-3 宮城工 女子学校対抗 1回戦 2-3 塩釜 男子シングルス 相原漣人② 2回戦敗退 (1回戦BYE) 大森泰地② 2回戦敗退 (1回戦BYE)</p> <p>女子シングルス 上杉望乃② ベスト16 (5回戦敗退、東北大会代表決定戦敗退) 女子ダブルス 上杉望乃②・今在家梨緒② ベスト16 (2回戦敗退)</p> <p><b>第78回国民スポーツ大会卓球競技宮城県予選会</b>(2024/7/13)</p> <p>少年男子シングルス 1次予選トーナメント 相原漣人② 3回戦敗退、 大森泰地② 3回戦敗退、 阿部秀一① 2回戦敗退、 小野寺孝太① 2回戦敗退 (1回戦BYE)、 佐藤 響① 1回戦敗退</p> <p>少年女子シングルス 1次予選トーナメント 上杉望乃② 4回戦敗退</p> <p><b>令和6年度全日本卓球選手権大会ジュニアの部仙塩地区予選会</b> (2024/8/11)</p> <p>男子 相原漣人② 県予選進出 女子 寺崎 茜①・小畑彩純①・齋藤望結① 県予選進出 (上杉望乃② 地区予選免除)</p> <p><b>2025全日本卓球選手権ジュニアの部宮城県予選会</b> (2024/8/31～9/1)</p> <p>男子 相原漣人② ベスト32 女子 寺崎 茜① ベスト32 上杉望乃② 2回戦敗退 (1回戦BYE) 齋藤望結① 2回戦敗退 (1回戦BYE) 小畑彩純① 1回戦敗退</p> <p><b>令和6年度宮城県高等学校新人卓球大会仙塩地区予選会</b> (2024/10/17～10/21)</p> <p>男子学校対抗 県新人大会進出 予選トーナメント 1回戦 0-3 仙台 2次敗者復活戦 2回戦 3-1 泉館山 3回戦 3-1 学院榴ヶ岡</p> <p>女子学校対抗 県総体進出 予選トーナメント 2回戦 3-0 仙台青陵 決勝トーナメント 1回戦 3-0 富谷 準々決勝 1-3 聖ウルスラ</p> <p>男子シングルス 相原漣人②、大森泰地②、佐川瑛士 県新人大会進出 女子シングルス 上杉望乃②、高橋 優① 県新人大会進出 女子ダブルス 上杉望乃②・今在家梨緒② 県新人大会進出</p> <p><b>令和6年度宮城県高等学校新人卓球大会仙塩地区予選会</b> (2024/11/2～11/8)</p> <p>男子学校対抗 2回戦 富谷 女子学校対抗 2回戦 塩釜 男子シングルス 相原漣人② 大森泰地② 佐川瑛士② 女子シングルス 上杉望乃② 高橋 優① 女子ダブルス 上杉望乃②・今在家梨緒② ベスト8</p>	卓 球 部	<p><b>第72回宮城県高等学校総合体育大会卓球競技</b> (5/27～6/4)</p> <p>男子学校対抗 第3位 (鈴木亮・川村壮・小杉・半田・ 飯田・今本・野田③・保坂②) 2回戦 3-1 佐沼 3回戦 3-1 宮城農 4回戦 3-1 東北学院 準決勝 1-3 古川学園</p> <p>女子学校対抗 第3位 (木下・鈴木悠・工藤・伊藤・岩間・ 川村真・羽柴③・上杉①) 2回戦 3-2 仙台高専名取 3回戦 3-1 涌谷 4回戦 3-0 白石 準決勝 0-3 聖和学園</p> <p>男子ダブルス 鈴木亮真③・川村壮太③ 2回戦敗退 女子ダブルス 鈴木悠花③・上杉望乃① 1回戦敗退 男子シングルス 川村壮太③ 第1位 (インターハイ・東北大会出場) 鈴木亮真③ 2回戦敗退 (1回戦BYE) 保坂恵佑② 1回戦敗退 相原漣人① 1回戦敗退</p> <p>女子シングルス 鈴木悠花③ 5回戦敗退 (ベスト16 代表決定戦により東北大会出場) 工藤春佳③ 4回戦敗退 (ベスト32) 上杉望乃① 2回戦敗退 (1回戦BYE)</p> <p><b>第77回東北高等学校卓球選手権大会</b> (6/23～6/24)</p> <p>男子シングルス 川村壮太③ 2回戦 3-1 田口皓規 (秋田) 3回戦 1-3 船生岳冬 (福島東陵)</p> <p>女子シングルス 鈴木悠花③ 1回戦 1-3 野々宮好芭 (郡山女大附)</p> <p><b>特別国民体育大会卓球競技宮城県予選会</b> (7/8)</p> <p>少年女子 上杉望乃① 予選トーナメント3回戦敗退</p> <p><b>全日本卓球選手権大会ジュニアの部仙塩地区予選会</b> (8/3～8/4)</p> <p>男子シングルス 県予選会出場者なし 女子シングルス 上杉望乃①, 寺崎梓② 県予選会出場</p> <p><b>令和5年度全国高等学校総合体育大会卓球競技</b> <b>第92回全国高等学校卓球選手権大会</b> (8/8～8/13)</p> <p>男子シングルス 川村壮太③ 1回戦 1-3 八色遥斗 (鎮西学院/長崎)</p> <p><b>2024全日本卓球選手権ジュニアの部宮城県予選会</b> (9/10)</p> <p>女子シングルス 上杉望乃① 4回戦敗退 (ベスト32)</p> <p><b>令和5年度 宮城県高等学校新人卓球大会仙塩地区予選会</b> (10/12～10/14)</p> <p>男子学校対抗 予選トーナメント1回戦 3-0 聖ウルスラ 2回戦 0-3 聖和学園</p> <p>第1次敗者復活戦 1-3 富谷 第2次敗者復活戦 2-3 東北生文大 第3次敗者復活戦 3-0 仙台 (県新人大会出場)</p> <p>女子学校対抗 予選トーナメント2回戦 3-1 東北 決勝トーナメント1回戦 3-0 仙台商 2回戦 0-3 聖和学園</p> <p>順位トーナメント1回戦 3-1 富谷 2回戦 3-1 仙台育英 (第5位 県新人大会出場)</p> <p>女子ダブルス 上杉望乃①・今在家梨緒① 県新人大会出場 男子シングルス 相原漣人①, 大森泰地① 県新人大会出場 女子シングルス 上杉望乃①, 寺崎 梓② 県新人大会出場</p> <p><b>令和5年度宮城県高等学校新人卓球大会</b> (11/3～11/11)</p> <p>男子学校対抗 1回戦 0-3 石巻 女子学校対抗 2回戦 2-3 常盤木学園 女子ダブルス 上杉望乃①・今在家梨緒① 2回戦敗退 男子シングルス 大森泰地① 2回戦敗退 相原漣人① 1回戦敗退</p> <p>女子シングルス 上杉望乃① 4回戦敗退 (ベスト32) 寺崎 梓② 2回戦敗退 (1回戦BYE)</p> <p><b>令和5年度全国高等学校選抜卓球大会個人の部宮城県予選会</b> (12/17)</p> <p>上杉望乃① 2回戦敗退 (1回戦BYE)</p> <p><b>第73回宮城県高等学校総合体育大会卓球競技仙塩地区予選会</b> (2024/5/8～5/10)</p> <p>男子学校対抗 県総体進出 予選トーナメント 1回戦 3-1 仙台東 2回戦 0-3 仙台一</p> <p>1次敗者復活戦 2-3 松島 2次敗者復活戦 3-2 仙台二華</p>
フェンシング部	<p><b>第21回SPRINGCUPINKESENUMA (気仙沼フェンシング選手権大会)</b> (4/1～4/2)</p> <p>女子フルール団体 準優勝 仙台二高A (佐藤・大川口・高橋)</p> <p><b>令和5年度第72回宮城県高等学校総合体育大会フェンシング競技</b> (6/2～6/5)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>女子個人対抗フルール 第3位 佐藤撫子 (東北大会出場権獲得)</li> <li>女子個人対抗エペ 優勝 高橋 葵 (全国大会・東北大会出場権獲得), 同 準優勝 岩崎優衣 (全国大会・東北大会出場権獲得)</li> </ul>		



部 名	活動実績 (大会名・実績・選手名)	部 名	活動実績 (大会名・実績・選手名)
フェンシング部	<p>準決勝 V42 - 30 札幌大谷, 決勝 36 - V42 米沢興譲館</p> <p>仙台市フェンシング選手権 (2/3 ~ 2/4) 女子エペ 第3位 岩崎優衣 第8位 糟谷奈緒実 女子サーブル 第5位 片倉愛里彩</p> <p>令和6年度宮城県高等学校総合体育大会フェンシング競技 (2024/5/31 ~ 6/3) 女子個人フルール 第3位 片倉愛里彩、 第6位 岩崎優衣 女子個人エペ 優勝 岩崎優衣、第2位 中田悠里 女子個人サーブル 優勝 菅原成美、第5位 奥山溪花 女子団体 仙台二対気仙沼 2-5 一回戦敗退</p> <p>第62回東北高等学校フェンシング選手権大会 (2024/6/21 ~ 6/24) 女子個人フルール 第7位 片倉愛里彩 女子個人エペ 第5位 岩崎優衣、第8位 中田悠里 女子個人サーブル 第3位 菅原成美</p> <p>令和6年度全国高等学校総合体育大会フェンシング競技 (2024/7/23 ~ 7/27) 女子個人エペ 岩崎 優衣 ベスト32、 中田 悠里 予選敗退 女子個人サーブル 菅原 成美 予選敗退</p> <p>第22回気仙沼フェンシング選手権大会 (2024/4/6 ~ 4/7) 女子団体ベスト8 仙台二A (岩崎、片倉、菅原)、 仙台二B (船橋、奥山、中田)</p> <p>第8回仙台・東北絆練習会 (絆大会) (2024/7/20 ~ 7/21) 女子個人エペ 中田 悠里 第6位 女子個人サーブル 菅原 成美 第3位</p> <p>フェンシング部 県民体育大会引率 (2024/8/10 ~ 8/11) ジュニア男子フルール個人 谷川 慈武 第2位 シニア女子フルール個人 中田 悠里 第3位</p> <p>フェンシング部 仙台市民総体フェンシング (2024/10/5 ~ 10/6) 男子ジュニアフルール個人 第3位 谷川 慈武 女子ジュニアフルール個人 第5位 村上 和楓、 第7位 中川 結衣 女子シニアフルール個人 第3位 中田 悠里、 第6位 本田 英理、 第7位 高橋 七海、 第8位 瀧井 陽彩 女子団体 B チーム 第2位 高橋七海、三浦純、 村上和楓、都築芽依</p>	フェンシング部	<ul style="list-style-type: none"> <li>女子個人対抗サーブル 第5位 佐藤撫子、同 第6位 片倉愛里彩</li> <li>女子学校対抗フルール 準優勝 (佐藤、大川口、高橋、岩崎、菅原) (東北大会出場権獲得)</li> </ul> <p>準決勝 V5 - 0 仙台, 決勝 0 - V5 気仙沼</p> <p>第61回東北高等学校フェンシング選手権大会 (6/23 ~ 6/26) 女子個人対抗エペ 第3位 岩崎優衣 予選プール3勝1敗, 決勝トーナメント1回戦 V15 - 7 茂泉 (仙台一), 決勝トーナメント2回戦 V15 - 9 山水 (興譲館・山形), 決勝トーナメント準決勝 11 - V15 高橋 (興譲館・山形)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>同 高橋葵 予選プール3勝1敗, 決勝トーナメント1回戦 11 - V15 小野寺 (一関二・岩手)</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>女子個人対抗フルール 佐藤撫子 予選プール 4勝1敗, 決勝トーナメント1回戦 11 - V15 高橋 (興譲館・山形)</li> <li>女子学校対抗フルール (佐藤、大川口、高橋、岩崎、菅原) トーナメント1回戦 V5 - 1 北上翔南 (岩手), トーナメント2回戦 2 - V5 田名部 (青森)</li> </ul> <p>第78回国民体育大会フェンシング競技宮城県代表選手選考会 (7/9) 少年女子 第2位 片倉愛里彩 (宮城県代表選手選出), 同 第3位 岩崎優衣 (宮城県代表選手選出)</p> <p>令和5年度全国高等学校総合体育大会フェンシング競技大会 第69回全国高等学校フェンシング選手権大会 (8/2 ~ 8/3) 女子個人対抗エペ 高橋葵 予選プール 2勝2敗, 予選トーナメント1回戦 V15 - 12 重藤 (東亜学園・東京), 予選トーナメント2回戦 7 - V15 佐藤 (埼玉栄)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>同 岩崎優衣 予選プール 0勝5敗</li> </ul> <p>令和5年度宮城県民体育大会フェンシング競技 (8/12 ~ 8/13) 少年の部 女子シニア 準優勝 菅原成美, 同 第3位 片倉愛里彩</p> <p>令和5年度特別国民体育大会東北ブロック大会兼第50回東北総合体育大会フェンシング競技 (8/19 ~ 8/20) 少年女子 第5位 宮城県チーム (片倉愛里彩、岩崎優衣 出場)</p> <p>令和5年度仙台市民総合体育大会フェンシング競技 (9/30) 女子シニア 優勝 片倉愛里彩、第2位 奥山溪花、 第6位 岩崎優衣 女子ジュニア 第7位 中田悠里</p> <p>令和5年度宮城県高等学校新人大会フェンシング競技 (10/26 ~ 10/28)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>個人対抗女子フルール 優勝 片倉愛里彩、第7位 菅原成美、 第8位 岩崎優衣</li> <li>個人対抗女子エペ 優勝 岩崎優衣、第2位 中田悠里、 第3位 高橋七海</li> <li>個人対抗女子サーブル 優勝 菅原成美、第2位 奥山溪花、 第3位 船橋美結、第8位 片倉愛里彩</li> <li>学校対抗女子フルール 優勝 仙台二高 (岩崎、奥山、片倉、吉川、菅原) 準決勝 V5 - 2 仙台一, 決勝 V5 - 2 仙台三</li> </ul> <p>令和5年度宮城県フェンシング選抜選手権大会 (団体戦) (12/22 ~ 12/23) 団体女子エペ 優勝 (岩崎、糟谷、齋藤、高橋、中田) 準決勝 V45 - 28 仙台一、 決勝 V45 - 30 仙台南 団体女子サーブル 準優勝 (奥山、片倉、菅原、船橋、三浦) 準決勝 V45 - 7 仙台南、 決勝 40 - V45 仙台一 団体女子フルール 第3位 (岩崎、奥山、片倉、菅原、船橋) 準決勝 40 - V44 仙台一</p> <p>第31回 JOC ジュニア・オリンピック・カップ・フェンシング大会 (1/4 ~ 1/6) ジュニア女子サーブル出場 (片倉、菅原) カデ女子エペ出場 (岩崎)</p> <p>第48回全国高等学校選抜フェンシング大会 北海道・東北予選会 (1/19 ~ 1/21) 団体女子エペ 準優勝 (岩崎、糟谷、齋藤、高橋、中田) 予選プール V45 - 33 黒石、 V45 - 39 北上翔南 (1位通過)</p>
剣 道 部	<p>令和5年度宮城県高体連剣道専門部仙塩支部剣道大会 (5/13 ~ 5/14) 男子団体 予選リーグ 仙台二5-0 利府 仙台二3-0 仙台向山 予選リーグ1位 決勝トーナメント1回戦 仙台二1-3 仙台三 敗退 女子団体 予選リーグ 仙台二3-1 宮城広瀬 仙台二1-1 仙台東 予選リーグ1位 決勝トーナメント1回戦 仙台二0-4 敗退 男子個人戦 工藤周大 第3位 女子個人戦 加藤風香 ベスト8</p> <p>第72回宮城県高等学校総合体育大会剣道競技 (6/3 ~ 6/5) 男子団体 予選リーグ 仙台二4-0 仙台三桜 仙台二3-1 仙台二華 予選リーグ1位 決勝トーナメント1回戦 仙台二2-1 石巻 決勝トーナメント2回戦 仙台二1-1 仙台南 代表戦負け ベスト16 女子団体 予選リーグ 仙台二5-0 泉館山 仙台二0-2 古川黎明 予選リーグ2位敗退 男子個人戦 日山遙希 ベスト8 (東北大会出場) 工藤周大 2回戦敗退 女子個人戦 加藤風香 ベスト16 奥野美桜 3回戦敗退</p> <p>第69回東北高等学校剣道選手権大会 (6/24 ~ 6/25) 男子個人戦 日山遙希 1回戦敗退</p> <p>第78回国民体育大会宮城県予選会 (7/5) 男子個人戦 野村治郎 1回戦敗退 工藤陽音 2回戦敗退 女子個人戦 加藤風香 4回戦敗退 (ベスト16) 鳥羽梓里 2回戦敗退</p> <p>宮城高体連剣道専門部仙塩支部新人大会 (8/19) 男子団体戦 1回戦 仙台二3-1 県工業</p>	フェンシング部	<p>令和5年度宮城県高体連剣道専門部仙塩支部剣道大会 (5/13 ~ 5/14) 男子団体 予選リーグ 仙台二5-0 利府 仙台二3-0 仙台向山 予選リーグ1位 決勝トーナメント1回戦 仙台二1-3 仙台三 敗退 女子団体 予選リーグ 仙台二3-1 宮城広瀬 仙台二1-1 仙台東 予選リーグ1位 決勝トーナメント1回戦 仙台二0-4 敗退 男子個人戦 工藤周大 第3位 女子個人戦 加藤風香 ベスト8</p> <p>第72回宮城県高等学校総合体育大会剣道競技 (6/3 ~ 6/5) 男子団体 予選リーグ 仙台二4-0 仙台三桜 仙台二3-1 仙台二華 予選リーグ1位 決勝トーナメント1回戦 仙台二2-1 石巻 決勝トーナメント2回戦 仙台二1-1 仙台南 代表戦負け ベスト16 女子団体 予選リーグ 仙台二5-0 泉館山 仙台二0-2 古川黎明 予選リーグ2位敗退 男子個人戦 日山遙希 ベスト8 (東北大会出場) 工藤周大 2回戦敗退 女子個人戦 加藤風香 ベスト16 奥野美桜 3回戦敗退</p> <p>第69回東北高等学校剣道選手権大会 (6/24 ~ 6/25) 男子個人戦 日山遙希 1回戦敗退</p> <p>第78回国民体育大会宮城県予選会 (7/5) 男子個人戦 野村治郎 1回戦敗退 工藤陽音 2回戦敗退 女子個人戦 加藤風香 4回戦敗退 (ベスト16) 鳥羽梓里 2回戦敗退</p> <p>宮城高体連剣道専門部仙塩支部新人大会 (8/19) 男子団体戦 1回戦 仙台二3-1 県工業</p>

部 名	活動実績 (大会名・実績・選手名)	部 名	活動実績 (大会名・実績・選手名)
柔 道 部	<p>第 78 回国民体育大会柔道競技少年男子・女子宮城県第 2 次選考会 (7/15) 男子個人 90kg 級 深見 仁 2 回戦敗退, ベスト 16 第 36 回大久康杯宮城県公立高等学校柔道大会 (10/1) 2 年男子 無差別級 第 3 位 深見 仁 第 73 回宮城県高等学校柔道新人大会 兼第 46 回全国高等学校柔道選手権大会宮城県一次予選大会 (11/3 ~ 11/5) 男子個人戦 90kg 級 深見 仁 ベスト 8 地区対抗団体戦 仙塩地区チーム 第 2 位 第 137 回仙塩地区高等学校柔道大会 (2024/4/27) 男子個人戦 90kg 級 深見仁 第 2 位 第 73 回宮城県高等学校総合体育大会柔道競技 (2024/6/1 ~ 6/2) 男子個人 90kg 級 深見 仁 第 2 位 第 74 回東北高等学校柔道大会 (2024/6/24 ~ 6/25) 男子個人 90kg 級 深見 仁 ベスト 8</p>		<p>2 回戦 仙台二 4 - 1 仙台東 3 回戦 仙台二 0 - 1 仙台一 女子団体戦 1 回戦 仙台二 4 - 0 尚絅学院 2 回戦 仙台二 0 - 1 仙台育英 宮城県高等学校剣道新人大会 (11/10 ~ 11/12) 男子団体 予選リーグ 仙台二 5 - 0 東北 仙台二 4 - 0 富谷 予選リーグ 1 位 決勝トーナメント 1 回戦 仙台二 0 - 1 仙台 ベスト 16 女子団体 予選リーグ 仙台二 1 - 1 柴田 仙台二 5 - 0 仙台南 予選リーグ 1 位 決勝トーナメント 準々決勝 仙台二 0 - 1 仙台育英 ベスト 8 男子個人戦 野村治郎 2 回戦敗退 渡部瑛士 3 回戦敗退 女子個人戦 加藤風香 第 2 位 鳥羽梓里 ベスト 8 宮城県高等学校剣道選手権大会 (2/4) 女子団体 第 3 位 (加藤風香・奥野美桜・佐藤歩果・鳥羽梓里・阿南綾香) 令和 6 年度宮城県高体連剣道専門部仙塩支部剣道大会 (2024/5/9 ~ 5/10) 男子団体 予選リーグ 仙台二 2 - 1 学院榴ヶ岡 仙台二 3 - 2 多賀城 予選リーグ 1 位 決勝トーナメント 1 回戦 仙台二 2 - 3 仙台三 敗退 女子団体 予選リーグ 仙台二 4 - 0 宮城学院 仙台二 2 - 0 仙台二華 予選リーグ 1 位 決勝トーナメント 1 回戦 仙台二 2 - 2 生活文化大学高 代表戦勝 代表戦勝 準決勝 仙台二 1 - 1 仙台三桜 代表戦勝 決 勝 仙台二 1 - 2 仙台 敗退 準優勝 男子個人戦 渡部瑛士 ベスト 8 女子個人戦 加藤風香 優勝 第 73 回宮城県高等学校総合体育大会剣道競技 (2024/6/1 ~ 6/3) 男子団体 予選リーグ 仙台二 3 - 1 尚絅学院 仙台二 2 - 1 柴田 予選リーグ 1 位 決勝トーナメント 1 回戦 仙台二 0 - 1 利府 敗退 女子団体 予選リーグ 仙台二 5 - 0 石巻北 仙台二 0 - 1 柴田 予選リーグ 2 位敗退 男子個人戦 野村治郎 4 回戦敗退 (ベスト 16) 渡部瑛士 2 回戦敗退 女子個人戦 加藤風香 ベスト 8 (東北大会出場) 鳥羽梓里 ベスト 8 (東北大会出場) 第 70 回東北高等学校剣道選手権大会 (2024/6/22 ~ 6/23) 女子個人戦 加藤風香 1 回戦敗退 鳥羽梓里 1 回戦敗退 第 79 回国民スポーツ大会宮城県予選 (2024/7/5) 男子個人戦 加藤峻雅 4 回戦敗退 (ベスト 16) 土田貴一郎 3 回戦敗退 女子個人戦 鳥羽梓里 2 回戦敗退 (ベスト 16) 阿南綾香 3 回戦敗退 宮城高体連剣道専門部仙塩支部新人大会 (2024/8/18) 男子団体戦 1 回戦 仙台二 4 - 1 高専名取 2 回戦 仙台二 0 - 3 東北学院 敗退 女子団体戦 2 回戦 仙台二 2 - 1 仙台育英 3 回戦 仙台二 0 - 3 生活文化大学高 敗退 宮城県高等学校剣道新人大会 (2024/11/8 ~ 11/10) 男子団体 予選リーグ 仙台二 0 - 3 仙台育英 仙台二 1 - 4 築館 予選リーグ敗退 女子団体 予選リーグ 仙台二 4 - 1 富谷 仙台二 0 - 3 仙台 予選リーグ 2 位敗退 男子個人戦 加藤峻雅 3 回戦敗退 土田貴一郎 3 回戦敗退 女子個人戦 阿南綾香 3 回戦敗退 鳥羽梓里 4 回戦敗退 (ベスト 16)</p>
弓 道 部	<p>令和 5 年度仙塩釜地区高等学校春季弓道大会兼宮城県高校総体弓道競技大会仙塩釜地区予選会 (5/12 ~ 5/13) 男子団体 仙台第二 A 第 3 位 男子個人 鳥羽遥太 第 2 位 鳥羽遥太, 菅野太貴, 吉田知史 県大会出場権獲得 女子個人 茄子川花香, 矢作美陽 県大会出場権獲得 第 78 回宮城県高等学校総合体育大会弓道競技 (6/3 ~ 6/5) 男子団体 準決勝敗退 ベスト 8 女子団体 2 次予選敗退 男子個人 鳥羽遥太, 菅野太貴, 吉田知史 1 次予選敗退 女子個人 茄子川花香 2 次予選敗退, 矢作美陽 1 次予選敗退 第 60 回仙台市民総合体育大会弓道競技 (8/20) 女子団体 (稲村・村上・鹿戸・矢作果・佐藤) 優勝 女子個人 矢作果蓮 第 3 位, 鹿戸うらら 第 5 位 令和 5 年度仙塩釜地区高等学校秋季弓道大会兼宮城県高等学校新人大会弓道競技地区予選会 (10/13 ~ 10/14) 男子団体 仙台第二 A 第 3 位 男子個人 杭全海晴 第 4 位 木村太成, 星野航世, 杭全海晴, 鈴木陽日 県大会出場権獲得 女子個人 村上雪妃 第 6 位 稲村朱莉, 鹿戸うらら, 村上雪妃 県大会出場権獲得 令和 5 年度宮城県高等学校新人大会弓道競技 (11/2 ~ 11/4) 男子団体 予選敗退 女子団体 予選敗退 男子個人 杭全海晴 2 次予選敗退 木村太成, 星野航世, 鈴木陽日 1 次予選敗退 女子個人 鹿戸うらら 準々決勝敗退 村上雪妃 2 次予選敗退 稲村朱莉 欠場 第 61 回仙台市民総合体育大会弓道競技 (2024/8/18) 女子団体 優勝 女子個人 第 2 位 森井那々子 令和 6 年度宮城県高等学校新人大会弓道競技 (2024/11/2 ~ 11/3) 男子団体 準決勝進出 (ベスト 8) 女子団体 準々決勝進出 (ベスト 16) 男子個人 齋藤優真 決勝進出 佐藤由規・佐々木良瑛 1 次予選敗退 女子個人 森井那々子・山下董 1 次予選敗退</p>	剣 道 部	
山 岳 部	<p>2023 年度第 72 回宮城県高等学校総合体育大会登山大会 (6/3 ~ 6/5) 団体男子 7 位, 団体女子 4 位 2023 年度第 53 回宮城県高等学校体育連盟登山専門部新人大会 (10/6 ~ 10/8) 団体男子 3 位, 団体女子 1 位</p>		
ヨ ッ ト 部	<p>令和 5 年度宮城県高等学校総合体育大会ヨット競技 (6/3 ~ 6/4) 男子コンバインド 第 6 位 男子レーザーラジアル級 (中鉢賢剛) 第 6 位 女子コンバインド 第 3 位 女子 420 級 (松尾日和, 中田美玲) 第 5 位 女子 420 級 (遠藤はる香, 宇都あかね) 第 6 位 令和 5 年度第 63 回東北高等学校ヨット選手権大会 (6/16 ~ 6/18) 男子コンバインド 第 8 位 男子レーザーラジアル級 (中鉢賢剛) 第 7 位 男子レーザーラジアル級 (福岡日向) 第 10 位 女子コンバインド 第 6 位</p>	柔 道 部	<p>第 135 回仙塩地区高等学校柔道大会 (4/24 ~ 4/24) 男子個人戦 81kg 級 深見仁 第 3 位 女子個人戦 渡邊那美 初戦敗退 第 72 回宮城県高等学校総合体育大会柔道競技 (6/2 ~ 6/4) 男子個人 81kg 級 深見 仁 ベスト 8 女子個人 52kg 級 渡邊那美 初戦敗退</p>



部 名	活動実績 (大会名・実績・選手名)	部 名	活動実績 (大会名・実績・選手名)
ヨ ッ ト 部	女子コンバインド 優勝 女子 420 級(松尾・中田) 第 2 位(インターハイ出場権獲得) 女子 420 級(遠藤・宇都) 第 6 位(インターハイ出場権獲得) 令和 6 年度全国高等学校総合体育大会ヨット競技 (2024/8/12 ~ 8/16) 女子コンバインド 第 29 位 女子 420 級(松尾・中田) 第 24 位 女子 420 級(遠藤・宇都) 第 31 位 2024 年第 37 回全日本 420 級ヨット選手権大会 (2024/10/11 ~ 10/14) 第 48 位 宇都あかね・長谷川慶而 令和 6 年度宮城県高等学校新人大会ヨット競技 (2024/10/19 ~ 10/20) 第 6 位 宇都あかね・長谷川慶而	ヨ ッ ト 部	女子 420 級(松尾日和, 中田美玲) 第 9 位 女子 420 級(遠藤はる香, 宇都あかね) 第 11 位 2023 年度北海道東北 420 級ヨット選手権大会 (10/14 ~ 10/15) 松尾日和, 中田美玲 第 5 位 遠藤はる香, 宇都あかね 第 13 位 ILCA6 部門 中鉢賢剛 第 2 位 令和 5 年度宮城県高等学校ヨット新人大会 (10/21 ~ 10/22) 男子レーザーラジアル級(中鉢賢剛) 第 4 位 男子レーザーラジアル級(福嶋日向) 第 10 位 女子 420 級(松尾日和, 中田美玲) 第 2 位 女子 420 級(遠藤はる香, 宇都あかね) 第 4 位 令和 6 年度宮城県高等学校総合体育大会ヨット競技 (2024/6/1 ~ 6/2) 男子コンバインド 第 5 位 男子 420 級(福嶋・長谷川) 第 13 位 男子 ILCA 6 級(中鉢) 第 4 位 女子コンバインド 第 2 位 女子 420 級(松尾・中田) 第 2 位 女子 420 級(遠藤・宇都) 第 5 位 令和 6 年度東北高等学校ヨット選手権大会 (2024/6/14 ~ 6/16) 男子コンバインド 第 11 位 男子 420 級(福嶋・長谷川) 第 17 位 男子 ILCA 6 級(中鉢) 第 6 位
	ス キ ー 部		第 73 回宮城県高等学校総合体育大会スキー競技会 (1/12 ~ 1/14) 中西美結 種目: アルペン 女子ジャイアントスラローム 2 位 インターハイ出場 女子 団体総合優勝 第 78 回国民スポーツ大会冬季大会スキー競技会宮城県予選 会 (1/19 ~ 1/20) 青山太陽 種目: アルペン 男子ジャイアントスラローム 5 位 国民スポーツ大会出場

部活動の記録 / 学芸部成績

部 名	成 績
放 送 部	第 70 回 NHK 杯全国高校放送コンテスト宮城県大会 (6/10 ~ 6/16) アナウンス部門 優秀賞 角道吾子 朗読部門 優秀賞 鈴木優香 アナウンス部門 優良賞 小山奈々 朗読部門 優良賞 浅海 大 第 70 回 NHK 杯全国高校放送コンテスト全国大会 (7/25 ~ 7/27) アナウンス部門 入選 角道吾子 朗読部門 準々決勝進出 鈴木優香 第 47 回全国高等学校総合文化祭(かごしま総文) 放送部門 (8/3 ~ 8/4) アナウンス部門出場 小山奈々 第 16 回山形大学高校生朗読コンクール (10/17) 入選 鈴木優香 第 42 回宮城県高等学校放送コンテスト新人大会 (10/21 ~ 11/11) 朗読部門 優良賞 相澤百音 朗読部門 優良賞 栗野こはる 朗読部門 奨励賞 浅海 大 朗読部門 奨励賞 佐藤遥花 朗読部門 奨励賞 松本恵里奈 アナウンス部門 入選 小野寺凜子 第 27 回東北高等学校放送コンテスト (2/3 ~ 2/4) 朗読部門 奨励賞 栗野こはる 朗読部出場 相澤百音
写 真 部	第 31 回宮城県高等学校文化連盟写真専門部 春季写真撮影大会 (5/27 ~ 5/28) 入選 1 年 佐藤栄希
生 物 部	第 76 回 宮城県高等学校生徒理科研究発表会 (10/27) 生物部門 優秀賞「キイロショウジョウバエ誘引物質とその効果」 2 年 渡邊皓介 1 年 大澤拓 1 年 松田志都
物 理 部	第 76 回 宮城県高等学校生徒理科研究発表会 (10/27) 物理部門 部会長賞「運動する板上のコマの回転」 2 年 餘目拓磨, 2 年富田さくら, 1 年和田徠夢
化 学 部	第 76 回 宮城県高等学校生徒理科研究発表会 (10/27) 化学部門 部会長賞「ケミカルライトの明るさと持続性を高める～触媒の検討～」 1 年 石川瑛太, 2 年 菊地悠天 優秀賞「灰汁の作成条件と油に対する洗浄効果」 2 年 大場 俊, 2 年 佐藤嵩大, 2 年 畠山大晴
地 学 部	第 76 回宮城県高等学校生徒理科研究発表会 (10/27) 地学部門 優秀賞「建物の構造と倒壊挙動の関係」 2 年 佐藤瑞穂 2 年 佐々木珠美 優秀賞「松島・塩竈地域の砂の分析」 1 年 亀井杏樹 1 年 塚原悠哉
合 唱 部	第 90 回 NHK 全国学校音楽コンクール宮城県大会 (8/20) 銅賞 第 75 回全日本合唱コンクール宮城県大会 (8/27) 銅賞 第 35 回宮城県合唱アンサンブルコンテスト (12/16) 銅賞 第 91 回 NHK 全国学校音楽コンクール宮城県コンクール(2024/8/18) 銀賞
吹 奏 楽 部	第 38 回宮城県管打楽器ソロコンテスト (6/4) 澤田碧海 フルート 金賞 河北新報社賞 第 66 回宮城県吹奏楽コンクール予選仙台青葉・泉地区大会 (7/8) 高等学校の部 銅賞 第 57 回宮城県アンサンブルコンテスト予選仙台青葉地区大会 (12/17) 高等学校の部 金管八重奏 金賞 サクソフォン四重奏 金賞 クラリネット四重奏 銀賞 打楽器四重奏 銀賞

部 名	成 績
吹 奏 楽 部	<p>第 57 回宮城県アンサンブルコンテスト (1/14)            金管八重奏 金賞 サクソフォン四重奏 銀賞            第 67 回宮城県吹奏楽コンクール予選仙台青葉・泉地区大会 (2024/7/20)            高等学校の部 銀賞            2024 (第 30 回) 日本管楽合奏コンテスト予選審査会 (2024/9/23 ~ 9/27)            高校生 B 部門 優秀賞</p>
将 棋 部	<p>第 59 回全国高等学校将棋選手権大会宮城県予選大会 (全国総文祭予選) (5/22 ~ 5/23)            女子個人 第 2 位 (全国大会出場権獲得) 岡崎理倅            男子団体 第 2 位 三品天人・及川武悠・青木宏介            男子個人 A 級 第 3 位 及川武悠 第 4 位 青木宏介            第 6 位 三品天人 第 7 位 小山和輝            第 40 回宮城県高等学校将棋新人戦 (11/2)            男子個人 A 級 第 4 位 青木宏介 (東北新人大会出場権獲得)            男子個人 A 級 第 5 位 及川武悠 (東北新人大会出場権獲得)            男子個人 B 級 第 4 位 菊地悠天            第 24 回東北地区高等学校将棋新人大会 (12/15 ~ 12/16)            男子個人 第 8 位 及川武悠 第 18 位 青木宏介            第 60 回全国高等学校将棋選手権宮城県予選大会 (全国総文祭予選) (2024/5/16 ~ 5/17)            男子団体 第 6 位 仙台二 A (及川武悠, 青木宏介, 工藤誠人)            第 10 位 仙台二 B (三品天人, 菊地悠天, 嶋晃佑)            男子個人 A 級 第 2 位 及川武悠 (全国大会出場権獲得) 第 3 位 青木宏介 第 8 位 三品天人 第 14 位 三浦颯馬            第 18 位 菊地悠天            男子個人 B 級 第 2 位 林田将一 第 6 位 嶋晃佑 第 8 位 福田健二郎            男子個人 C 級 第 14 位 工藤十座            女子個人 第 2 位 籙夏実 (全国大会出場権獲得)            第 60 回全国高等学校将棋選手権大会兼第 48 回全国高等学校総合文化祭将棋部門 (2024/8/1 ~ 8/2)            男子個人 第 30 位 及川武悠            女子個人 第 76 位 籙夏実</p>
囲 碁 部	<p>第 17 回全国高等学校囲碁選抜大会 (3/18 ~ 3/19)            男子団体 優勝 (主将: 千葉和真②, 副将: 二階堂史晟②, 三将: 三浦 颯③, 補欠: 塚原志哉③)            女子団体 第 14 位 (主将: 二井真理②, 副将: 岡崎理倅③, 三将: 松本悠希②)            男子個人 千葉和真② 第 12 位            男子 9 路盤 三浦 颯③ 第 3 位            女子 9 路盤 二井真理② 優勝            第 47 回文部科学大臣杯全国高等学校囲碁選手権大会 (7/24 ~ 7/26)            男子団体 優勝 (主将: 千葉和真②, 副将: 二階堂史晟②, 三将: 三浦 颯③, 補欠: 塚原志哉③)            男子個人 千葉和真② 予選リーグ敗退 二階堂史晟② 予選リーグ敗退            第 47 回全国高等学校総合文化祭囲碁部門 (7/31 ~ 8/1)            団体 (都道府県対抗) 第 18 位 (大将: 三浦 颯③)            男子個人 千葉和真② 第 8 位            第 24 回宮城県高等学校囲碁九路盤大会 (第 30 回宮城県高等学校総合文化祭を兼ねる) (10/13)            二階堂史晟② 優勝, 千葉和真② 第 2 位, 永澤周侍① 第 6 位, 鈴木智仁① 第 7 位,            塚原悠哉① 第 8 位            第 37 回東北地区高等学校囲碁選手権大会 兼 第 18 回全国高等学校囲碁選抜大会東北地区予選大会 (11/10 ~ 11/11)            男子団体 (主将: 千葉和真②, 副将: 二階堂史晟②, 三将: 永澤周侍①) 優勝            女子団体 (副将: 二井 真理②) 第 3 位            男子個人戦 (主将の部) 千葉和真② 第 1 位 男子九路盤 (副将の部) 二階堂史晟 第 1 位            男子九路盤 (三将の部) 永澤周侍① 第 1 位 女子九路盤 (副将の部) 二井真理② 第 1 位            優秀選手賞 (千葉和真②, 二階堂史晟②, 永澤周侍①, 二井真理②)            第 41 回宮城県高等学校囲碁新人大会 (1/28)            個人戦 A グループ 千葉和真② 第 1 位            第 48 回全国高等学校総合文化祭囲碁部門宮城県代表選手選抜戦 (2024/4/20)            男子 優 勝 千葉 和真③ (全国大会男子個人宮城県代表) 第 2 位 二階堂 史晟③ (全国大会団体宮城県代表: 主将)            第 3 位 永澤 周侍② (全国大会団体宮城県代表: 副将)            女子 第 2 位 二井 真理③ (全国大会団体宮城県代表: 三将)            第 48 回文部科学大臣杯全国高等学校囲碁選手権大会宮城県大会 (2024/6/22 ~ 6/24)            男子団体 優 勝 (千葉 和真③, 二階堂 史晟③, 永澤 周侍②) (全国大会宮城県代表)            男子個人 優 勝 千葉 和真③ (全国大会宮城県代表) 第 2 位 二階堂史晟③ (全国大会宮城県代表)            女子団体 優 勝 (二井 真理③, 佐藤 妃奈乃③, 佐藤 星空②) (全国大会宮城県代表)            第 48 回文部科学大臣杯全国高等学校囲碁選手権大会 (2024/7/22 ~ 7/24)            男子団体 優 勝 (主将: 千葉 和真③, 副将: 二階堂 史晟③, 三将: 永澤 周侍②, 補欠: 高橋 尚杜③)            男子個人 千葉 和真③ 予選リーグ (2 勝 1 敗) 敗退            二階堂 史晟③ 予選リーグ (1 勝 2 敗) 敗退            女子団体 予選リーグ (2 勝 1 敗) 敗退 (主将: 二井 真理③, 副将: 佐藤 妃奈乃③, 三将: 佐藤 星空②)            第 48 回全国高等学校総合文化祭囲碁部門 (2024/8/4 ~ 8/5)            団体 (都道府県対抗) 第 19 位 (主将: 二階堂 史晟③, 副将: 永澤 周侍②, 三将: 二井 真理③)            男子個人 千葉 和真③ 第 8 位            第 25 回宮城県高等学校囲碁九路盤大会 (第 31 回宮城県高等学校総合文化祭を兼ねる) (2024/10/18)            第 1 位 千葉 和真③、第 2 位 永澤 周侍②、第 4 位 塚原 悠哉②、第 5 位 二階堂 史晟③、第 7 位 鈴木 智仁②</p>
書 道 部	<p>第 72 回宮城県高等学校書道展覧会 (11/10 ~ 11/15)            推薦: 阿部幸歩② 木村眞子② 小山礼佳② 佐藤絢音①            特選: 田中沙季② 秋山ちひろ① 後藤嘉香① 高橋知花①            金賞: 赤坂 優② 相原 愛② 橋村茉那① 國方いろは①            第 49 回ふれあい書道展 (2024/7/1)            特選: 秋山ちひろ, 橋村茉那, 後藤嘉花, 高橋知花, 相原愛            第 73 回宮城県高等学校書道展覧会 (2024/11/8 ~ 11/13)            推薦: 高橋知花②, 佐藤絢音② 特選: 橋村茉那②</p>

# 定期戦

## ○第79回野球定期戦

仙台二高・仙台一高野球定期戦が五月晴れの中五月十一日楽天マゼンタパーク宮城で開催された。試合前球場前広場で各校の応援合戦があり大いに盛り上がった。樽野幸義仙台一高校長による始球式があり13:00試合開始になった。二高先攻で始まった試合は一

回表ノーアウト満塁と攻めたが一塁点にとどまった。一方一回裏一高は二高同様ノーアウト満塁から一塁4得点して逆転。一高はその後も得点を重ねて9回8点差に広がった。そこから二高は意地を見せ引地櫻人選手と唯野光汰選手がタイムリーヒットを打ち3点を返し点差を5点に縮めた。粘りを見せた二高であったが最後はセン



ターフライに打ち取られ11-6でゲームセット。伝統の一戦に勝利した一高は4年連続の勝利となり通算成績は仙台二高の32勝36敗9分けとなった。

高橋賢仙台二高校長の総評では熱戦を繰り広げた両校選手の健闘をたたえた。最後に両校校歌を斉唱して第79回定期戦が終了した。スタンドには、在校生、卒業生、保護者らが大勢集合。約三時間の熱戦に声援を送り続けた。

小野寺満明(高23回)



硬式野球定期戦は、毎年5月の第2土曜日に開催されます。

### 試合結果

バレーボール部	第73回	仙台二高・仙台一高	バレーボール定期戦
		男子 2-3 準優勝	女子 2-1 優勝
バスケットボール部	第73回	仙台二高・仙台一高	バスケットボール定期戦
		男子 100-41 優勝	女子 38-104 準優勝
柔道部	第129回	仙台二高・仙台一高	柔道定期戦
		1-0 優勝(不戦勝)	

### ○軟式野球定期戦の戦績

5/5 岩沼海浜緑地公園野球場

仙台二高 1-8 仙台一高 (準優勝)

### ○令和6年度 三部定期戦の戦績

## 二高・一高同窓会 ゴルフ対抗戦

今年も仙台二高一高ゴルフ対抗戦は五月十九日好天の中富谷カントリークラブで開催された。この対抗戦は十二年目を迎える年々参加者がふえている。今年も仙台二高四十八名仙台一高三十一名両校合わせて七十九名が参加してゴルフの腕を競った。各校上位十名のグロススコアの結果841対821で昨年同様若手精鋭を集めた仙台一高が勝利した。通算成績は仙台二高の4勝4敗となった。

表彰式では今年の幹事校仙台二高同窓会副会長高17回佐藤裕裕氏から挨拶があり和気あいあいの中終了した。来年は仙台一高が幹事校で二〇二五年五月野球定期戦の次週日曜日開催を予定している。

小野寺満明(高23回)

### 叙勲受章者

瑞宝双光章  
和田 健殿(高16回)



会 員 計 報

(令和6年10月分まで)

7 / 19	7 / 4	5 / 22	5 / 9	5 / 2	5 / 2	3 / 10	2 / 27	2 / 17	1 / 10	令和4年	12 / 4	11 / 29	10 / 30	6 / 12	3 / 6	令和3年	10 / 19	9 / 19	5 / 12	4 / 8	令和2年	12 / 23	令和元年	4 / 3	平成31年					
太田利男殿	坂井啓人殿	石井秀紀殿	佐藤正弘殿	加藤洋一殿	松田行弘殿	小松良弘殿	熱海泰功殿	成澤涼殿	芳賀英俊殿	大竹直嗣殿	門脇純殿	宮沢雄造殿	横溝幸一殿	長尾文孝殿	星宏一殿	鈴木信夫殿	板垣昭一殿	安部公雄殿	佐々木堅一殿	木暮創一殿	飯淵吉彦殿	小村益生殿								
高1回	高11回	高17回	高17回	高12回	高7回	高14回	高12回	高3回	高24回	高52回	高3回	高6回	高24回	高14回	高5回	高8回	中46回	中44回	高1回	高24回	高5回	高3回								
2	1 / 31	1 / 27	1 / 25	1 / 23	1 / 14	1 / 11	1 / 9	1			令和5年	12 / 26	12 / 18	12 / 18	12 / 10	12	11 / 30	11 / 26	11 / 24	11 / 23	11 / 16	11 / 12	10 / 28	10 / 25	9 / 7	9 / 6	8 / 29	8	7 / 26	
角田禎啓殿	高橋信隆殿	本郷正明殿	佐藤実殿	松岡功殿	姉齒秀平殿	小坂義裕殿	杉田頼生殿	茂泉劔佐殿	中島岩根殿	中島省三殿	加藤義重殿	山口利孝殿	児玉敏殿	日出平洋太郎殿	平田祐助殿	鈴木衛殿	柴田尚文殿	宗形直樹殿	相澤伴殿	佐藤雅俊殿	豊嶋秀夫殿	渋谷知行殿	千葉庸司殿	鈴木明夫殿	鈴木惇殿	入間川智久殿	山田秀雄殿	吉田寿彦殿	船木宏殿	
高9回	中44回	高6回	高44回	高5回	高26回	高7回	高5回	高4回	高10回	高10回	高11回	中45回	高10回	高9回	高6回	高4回	高6回	高6回	高6回	高21回	高1回	高24回	高36回	高5回	高3回	高3回	高7回	高25回	高5回	
8 / 8	8 / 7	7 / 27	7 / 24	7 / 19	6 / 25	6 / 14	5 / 31	5 / 30	5 / 24	5 / 18	5 / 17	5 / 3	4 / 28	4 / 26	4 / 23	4 / 8	4 / 3	3 / 26	3 / 15	3 / 15	3 / 7	3 / 3	3 / 2	3 / 1	2 / 27	2 / 15	2 / 3	2	2	
鈴木秀明殿	山本博也殿	菅原三雄殿	深沢鉦一郎殿	富田伸殿	藤原英樹殿	稲葉弘高殿	熊谷善治殿	都築素彦殿	猪苗代久殿	澤田仁殿	志賀信夫殿	上村正人殿	佐藤修喜殿	熊谷光悦殿	亀卦川誠殿	登坂高広殿	高橋伯殿	扇谷克殿	明星学殿	阿部忠仁殿	皆川健夫殿	本郷兵雄殿	佐藤勝朗殿	高橋靖信殿	今井清喜殿	伊達宗行殿	伊藤光郎殿	佐藤光亮殿	荒井博殿	鈴木忠直殿
高22回	高8回	高7回	高10回	高11回	高7回	高11回	高19回	高4回	中46回	高12回	高8回	高23回	中47回	高10回	中46回	高10回	高3回	高3回	高8回	中47回	高20回	高6回	高10回	高8回	高21回	中47回	高12回	高8回	高11回	高10回
2 / 7	2 / 4	2 / 2	1 / 27	1 / 22	1 / 18	1 / 16	1	令和6年	12 / 14	12 / 11	11 / 15	11 / 13	11 / 10	11	10 / 30	10 / 16	10 / 16	10 / 14	10 / 6	9 / 29	9 / 22	9 / 14	9 / 10	9 / 6	9 / 1	9	8 / 26	8 / 24	8 / 23	8 / 12
玉田久満殿	釜石修殿	坂田正雄殿	針生尚殿	田村義弘殿	遠藤紘殿	千葉一夫殿	中嶋秀殿	嶋倉正明殿	伊藤清一郎殿	菅野実殿	鈴木建夫殿	黒田泰昭殿	斉藤栄孝殿	穴戸浩殿	手嶋達宏殿	山本達夫殿	永沢良造殿	小林裕介殿	小平直殿	佐藤忠正殿	佐々木久之殿	佐々木洋殿	及川和彦殿	鈴木仁一郎殿	斎藤亮殿	針生常郎殿	佐久間勝殿	高橋正道殿	岩渕啓之殿	
高4回	中47回	中47回	高9回	高10回	高13回	高4回	高10回	高15回	中44回	高5回	高14回	高5回	高1回	高26回	高17回	高10回	高5回	高42回	高4回	高4回	高1回	高23回	高9回	高7回	高45回	中45回	高15回	高3回	高16回	
飯田清志殿	田辺好美殿	死亡日不明	鈴木實殿	鎌田正孝殿	佐藤裕殿	吉沢正雄殿	古谷求己殿	鈴木宏殿	新山龍治殿	内嶋洋之殿	津々良延正殿	鈴木弘明殿	小西巖殿	野村郁夫殿	青嶋章介殿	今野尚雄殿	小野寺郁夫殿	伊藤新太郎殿	小川彰殿	今井秀夫殿	片倉道夫殿	佐久間義信殿	松川安廣殿	叶成希殿	黒沢昌也殿	伊藤正道殿	蝦謙一殿	宮澤光夫殿	菅原啓一殿	
高30回	高16回		高9回	高14回	高4回	高15回	高11回	高15回	高22回	高16回	高10回	高5回	高16回	高8回	高4回	高7回	高2回	高19回	高14回	高14回	高5回	中47回	高15回	高11回	高19回	高17回	高5回	高24回		

## 支部・OB会連絡先

## ● 支 部

団体名称	代表者	事務局(連絡員)	事務局連絡先	
N・Y支部	且 英夫 (高20)	且 英夫 (高20)	8 Heritage Lane, Rye, New York 10580 USA,	914-921-0771
ローマ支部	武藤 順九 (高20)	武藤 順九 (高20)	Via del Caravaggio, 20 00047 Marino Roma, ITALIA	
北海道支部(休会中)				
青森県支部(不在)				
岩手支部	吉江 信博 (高21)	橋浦礼二郎 (高23)	〒020-0103盛岡市西松園1-9-3	019-662-7028
山形北陵会	阿子島 功 (高14)	渡部 浩	〒990-2473山形県山形市松栄1丁目5-25	023-647-8858 柴田原料(株)
福島北陵会	不在	大場 時彦 (高31)	福島県郡山市富田町字権現林オオバ工務店	024-961-6500
在京同窓会	上條 努 (高24)	在京同窓会事務局	niko@all-agent.co.jp	080-4196-3529
東海北陵会	岩田 繁 (高19)	菱沼 修 (高27)	〒471-0038愛知県豊田市宮上町3-62	080-5163-3913
関西北陵会	鈴木 武 (高20)	田中 聡 (高30)	〒573-0151大阪府枚方市藤阪北町21-1-212	072-857-7651
広島支部(休会中)				
九州北陵会	菅原 俊秀 (高10)	黒田 均 (高36)	〒803-0826福岡県北九州市小倉北区高峰町5-7	
四国北陵会	渡邊 安男 (高17)	渡邊 安男 (高17)	〒761-0121香川県高松市牟礼町牟礼370-4	087-845-3295
気仙沼支部(休会中)	調整中	調整中		
石巻・桃生・牡鹿支部	菅原 憲 (高 8)	後藤 宗徳 (高29)	〒986-0827 石巻市千石町2-10石巻グランドホテル気付	
加美支部	有馬 恒彦 (高18)	大山 匡 (高23)	〒981-4254加美郡加美町字北町2-181-1	0229-63-3054
塩釜北陵会	大平 眞悦 (高18)	庄子 文康 (高25)	〒985-0005塩釜市杉の入3-11-1	022-365-6435
黒川支部北陵会(休止中)	大友 正隆 (高16)	大友 正隆 (高16)	〒981-3515黒川郡大郷町羽生字原畑27-2	022-359-3222
岩沼支部	四倉 政美 (高10) 芳賀 盛 (高18)	渡辺 和雄 (高21)	〒989-2461岩沼市長岡字上根崎2-3	0223-24-1614
亶理会	手戸 雅己 (高15)	手戸 雅己 (高15)	〒989-2351亶理郡亶理町字五日町 60-1	0223-34-1750
角田支部	未定	湯村 周一 (高22)	〒981-1505角田市角田字町65	0224-63-1331
登米・栗原・南三陸支部	日野 宏 (高24)	佐藤 豪 (高21)	〒989-5612栗原市志波姫新熊谷255-1三和電設(株)内	0228-24-7203

## ● 職 域

団体名称	代表者	事務局	事務局連絡先	
仙台市役所北陵会	加藤 邦治 (高35)	菅原 義知 (高54)	〒980-8671青葉区国分町3-7-1	022-261-1111
宮城県庁仙台二高養賢会	正木 毅 (高29)	佐藤 仁 (高45)	〒980-8570 青葉区本町3-8-1宮城県総務部人事課	022-211-2226
仙教委北陵会	郡山 孝幸 (高25)	東海林恵吾 (高28)	〒982-0014 太白区大野田六反田10-5大野田小学校	022-247-6654
藤崎北陵会	松原 大介 (高27)			022-261-5111
宮爾二高会	太郎丸 浩 (高17)	角田 哲 (高26)	〒982-0252仙台市太白区茂庭台4-23-5	022-281-4182
北陵ドクター倶楽部	山崎 匡 (高12)	鶴飼 克明 (高28)	〒982-0802仙台市太白区八木山東2-3-7	hokuryo.dr@gmail.com

## ●クラブ

団体名称		代表者	事務局	事務局連絡先	
青葉倶楽部	硬式野球部	岡崎 正之 (高28)	谷田部達博 (高41)	〒981-3211 仙台市泉区長命ヶ丘 東5-4	022-778-3977
仙台二高 軟式野球部OB会	軟式野球部	菊地 房雄 (高18)	福田 瑞久 (高22)	〒980-0014 仙台市青葉区本町 2-3-1江陽グランドホテル内(福田)	022-267-5111
仙台二高 ハンドボール部 北陵会	ハンドボール部	菅間 進 (高21)	中鉢 貴省 (高48)	〒980-0014 仙台市青葉区本町 1-12-12GMビルディング9F	022-796-9411
仙台二高 バスケットボール部 北陵会	バスケットボール部	小栗 良憲 (高29)	三浦 強 (高29)		022-373-5941
仙台二高 バスケットボール部 東京北陵会	バスケットボール部	太田 一彦 (高23)			
仙台二高 サッカー部OB会	サッカー部	庄司 正春 (高21)	丸森亮太郎 (高50)	〒980-0873 仙台市青葉区広瀬町 2-5	022-223-1221
仙台二高 ラグビー部OB会	ラグビー部	本吉 和康 (高11)	桂島 猛 (高34)	〒981-3332 富谷町明石台5-41-1	022-776-1364
北陵騎士の会	フェンシング	高木 一弘 (高22)	秋保 茂樹 (高32)	〒021-0866 岩手県一関市南新町 55	0191-32-5105
	ヨット部	未定	奥野 誠也 (高22)	〒981-1304 志田郡松山町千石本 丸49桃源院	090-6149-0002
仙台二高 スキー部北陵会	スキー部	前田 弘毅 (高28)	斎藤 雅人 (高34)	〒981-0953 仙台市青葉区西勝山 7-2	022-719-3282
仙台二高陸友会	陸上競技部	不在			022-287-3901
仙台二高北陵柔道会	柔道部	鈴木 亮一 (高23)	宇根岡 篤 (高46)	〒981-3332 富谷市明石台5丁目 36-11	022-218-2875
仙台二高 剣道部OB会	剣道部	菅野 敦 (高41)	手嶋 泰伸 (高54)	〒989-8007 仙台市泉区虹の丘 2-4-13	090-4550-8041
仙台二高 弓道部OB会	弓道部		山口 哲男 (高20)	〒980-0804 仙台市青葉区大町 2-15-40	022-223-1618
仙台二高OB山の会	山岳部	三浦 康宏 (高31)	三浦 康宏 (高31)	〒981-3362 富谷町日吉台1-3-2	022-358-9452
仙台二高 バドミントン部OB会	バドミントン部	未定	穴戸 義一 (高22)	〒981-0952 仙台市青葉区中山 7-14-8	022-278-4448
仙台二高 卓球部北陵会	卓球部	鈴木 登 (高17)	鈴木 登 (高17)	〒983-0826 仙台市宮城野区鶴ヶ 谷東3-14-19	022-252-4216
バレーボール部 北陵会	バレーボール部	佐野 崇 (高4)	阿部広太郎 (高40)	〒982-0011 仙台市太白区長町 3-4-16-1001	022-308-3551
宮城県 仙台第二高等学校 合気道部同窓会	合気道部	岡崎 信 (高20)	吉田 信彌 (高22) 進藤 遼 (高60)	〒980-8631 仙台市青葉区川内 瀬橋通1番地宮城県仙台第二高等 学校合気道部顧問担当教諭気付	022-221-5626 (仙台二高) 0224-25-0024
仙台二高 空手部OB会	空手部		渡辺 秀樹 (高56)		
仙台二高 応援団幹部OB会	応援団	千葉 和俊 (高26)	千葉 和俊 (高26)	〒984-0816 仙台市若林区河原町 1-5-15-2100	022-711-0481
二吹会	吹奏楽部 (プラスバンド部)	但木 均 (高22)	大泉 義典 (高34)	nisuikai.sendai2@gmail.com	
	演劇部	西條 昭将 (高15)	西條 昭将 (高15)	〒191-0053 東京都日野市豊田 2-3-12	042-583-4997
	写真部	伊勢 隆一 (高19)	伊勢 隆一 (高19)	〒980-0803 仙台市青葉区国分町 3-9-7-2703	022-222-1720
	体操部	鈴木 孝 (高24)	鈴木 孝 (高24)	〒985-0072 塩釜市小松崎9-27	090-9637-8652

※他の運動部、文化部の情報をお寄せください。

※代表者及び事務局が変更になった際は同窓会事務局にご連絡をお願いします。

【連絡先】 仙台二高同窓会事務局  
担当 佐々木恵理  
月・水・金 10:00~15:00

〒980-8631 仙台市青葉区川内瀬橋通1  
TEL/022-221-5651 FAX022-221-5686  
Eメール/info@sendainiko-dousoukai.com  
同窓会ML/nikodousoukai@googlegroups.com(詳しくはp32)



評議員名簿

回期	氏 名	回期	氏 名	回期	氏 名	回期	氏 名
中44	石井 敏夫	高19	佐藤 芳博	高36	首藤 雅浩(住所不明)	高61	泉 聖也
中45	欠員		遠藤 謙治(住所不明)	高37	天江新太郎	高62	添田 敏寛
中46	欠員	高20	半田 賢		木村 光博	高63	佐久間俊平
中47	佐々木一弘		中島 俊和	高38	飯川 齊		佐藤 葵
高 1	欠員	高21	内藤 清秀	高39	日下 開	高64	深松 栞(住所不明)
高 2	吉田 敏樹		吉田憲三郎	高40	内田 靖		徳永 航平
高 3	安達 剛	高22	菊田 健三		酒井 紀章	高65	佐渡 恵奈
高 4	欠員		熊谷 晴樹	高41	菅沼 恵一		佐藤 泰史
高 5	菅原 正人	高23	鷲尾 幸雄		米地 真	高66	坂元 宏司
	高橋 清人		山口 信也	高42	藤原 伯晋		鈴木 麻優
高 6	土岐 満夫	高24	沼倉 和彦		小幡 秀樹	高67	齋藤 樹
	鈴木 文夫		二本柳 基	高43	渡邊 勝宏	高68	舟生佳奈子(住所不明)
高 7	藤野 尚之	高25	斎 基之		櫻井 一弥		大山 遼
高 8	奥山 隆生		原 敏紀	高44	田所 直希	高69	生田目誉也
	後藤 潮	高26	木村 清		渡邊 英俊		尾形 眞美
高 9	相澤美智雄		角田 哲	高45	花本耕之助(住所不明)	高70	菊地 雅子
	石田 武彦	高27	谷口 秀樹	高46	小野 光利(住所不明)	高71	加藤 広大
高10	四倉 政美		千葉 宏	高47	八谷 豊		阿部 柚佳
	佐野 伸義	高28	岡崎 正行	高48	武田 力也	高72	小野寺 俊
高11	高石 祥二		鶴飼 克明		中村 正帆		須田 朱音
	笹氣 光祚	高29	稲辺 和彦	高49	落合 和希	高73	岡本 和大
高12	米竹 隆		永見 幸久	高50	橘 大介		秋山 愛佳
高13	高橋 和男	高30	渡邊 善夫	高51	平山 雅史(住所不明)	高74	福田 みちる
	菅野 昭雄	高31	太田 康裕	高52	欠員		宮崎 ローレンス
高14	磐井 裕	高32	竹田 幸司	高53	栗原 慶太	高75	高橋 慧多
	笹氣光寿郎		伊達 久	高54	三嶋 廣人		小林 彩花
高15	近藤 尚武	高33	松谷 秀則	高55	千葉 祐介(住所不明)	高76	杉田 知泰
	坂本 正憲		鈴木 孝志		金森信之介(住所不明)		嵯峨井颯希
高16	花坂 登	高34	千葉 敏彦	高56	杉内 洋亮		
	高橋 賢		大泉 義典	高57	京極 自源(住所不明)		
高17	鎌田 喜光	高35	今野 明典(住所不明)	高58	相場 峻		
	梅津 瑠三		菊地 徹	高59	蔡 優広		
高18	前野 文男	高36	柳 雅裕	高60	柴又 賢史		

◆評議員が2名制になっています  
 平成25年度の総会後から、各回期の評議員が2名となりました。まだ選出されていない回期の方は、お早めに選出していただき、事務局までご一報下さい。また、評議員の方が住所不明で連絡がとれないため、欠員となっている回期があります。  
 ( ) 表記は住所不明のため、事務局まで住所の連絡をお願い致します。

同窓会理事及び会務分担

2024年 9月25日現在

部 門	担当理事	会務内容
総 務	○佐藤 裕洋	会務全般の統括・調整
	利 大作	外部、会員、事務局との連絡調整
会 報	○千田 耕一	会報の企画・編集・発行
	島田 耕平	ニュースレターの企画・立案 印刷会社との折衝
広 報	○中鉢 貴省 檜山 公彦	公式サイト及び同窓会メーリングリストの管理運営 同窓会各種行事等に関する PR
名 簿	○齋藤 雅樹	同窓生名簿の作成・管理 名簿作成業者との連絡調整
活 性 化	○小野寺 満明	活性化に向けての企画・立案
	横山 政宣 本田 英彦	各種行事への会員参加率向上 評議員、常任委員、クラブ OB 会への働きかけ
	中鉢 貴省	会費収入増強
北 陵 祭	○利 大作 佐藤 裕洋	同窓会ブースの運営
同 窓 会 旗	齋藤 雅樹	
事 務 局 連 携	齋藤 雅樹	事務局長、事務局との連絡調整
会 計	○佐藤 裕洋	同窓会費納入状況の点検
	菊池 祐輝	日常的な出納業務・決算業務
事 務 局 長	横山 佳司	
事 務 局	佐々木 恵理	

今春の人事異動

▼退職された先生方▲  
 阿部 伸 教諭(英語) 再任用 仙台二高  
 早坂 利昭 事務部長  
 ▼転出された先生方▲  
 山田 賢一 教頭(社会) 大河原町立金ヶ瀬中学校 校長(昇任)  
 佐藤 徳顕 教諭(数学) 仙台南高校 教諭  
 三宅 保士 教諭(理科) 仙台南高校 教諭

齊藤 裕美 教諭(保健体育)  
 聴覚支援学校 教頭(昇任)  
 村岡恵利華 主幹(司書) 仙台三桜高校 主幹(司書)  
 後藤 雄樹 主任主査 名取市立増田小学校兼名取市学校事務支援室 主幹(昇任)  
 菅原 千景 主査 図書館 主査  
 笠石 匠 講師(数学) 今野あさほ 講師(養護担当) 任期満了

齊藤 雅樹 非常勤講師(理科) 任期満了  
 亀井 聡 非常勤講師(理科) 任期満了  
 ▼転入された先生方▲  
 伊藤 寛明 教頭(理科) 気仙沼高校 教頭  
 早坂 貴恵 教諭(保健体育) 加美農業高校 教諭  
 東館 拓也 教諭(理科) 多賀城高校 教諭  
 木村 謙太 教諭(数学) 岩出山高校 教諭

今野 省吾 教諭(数学) 白石工業高校 教諭  
 吉田 花道 教諭(社会) 新規採用  
 八島 彩夏 養護教諭 小牛田高等学校 養護教諭  
 菅野 巧 講師(国語) 塩釜高校 講師  
 鈴木 淳一 事務部長 福利率 副参事兼総括課長補佐  
 安藤 祐子 主幹(司書) 仙台南高校 主幹(司書)  
 館岡 真澄 主査 光明支援学校 主査

朝倉 玲奈 主事 図書館 主事  
 布田 真一 非常勤講師(国語) 新規採用 10h  
 ▼再任用された先生方▲  
 鈴木 利明 教諭(英語)  
 手代木章宏 教諭(社会)  
 尾形 俊賢 教諭(保健体育)  
 三浦 克彦 教諭(理科)  
 横山 佳司 教諭(英語)  
 尾形 敦 教諭(国語)  
 阿部 伸 教諭(英語)  
 ▼任用された先生方▲  
 森 功 技師(臨時庁務)

【同窓会員登録のお願い】

同窓会では毎年会報などを発行し皆様にお送りしておりますが、ご卒業当時の住所から転居などの理由で連絡先住所が不明の方にはお届けできていない状況です。会報などが届いていない方は「同窓会員登録フォーム」より、登録をお願い致します。

<https://www.sendainiko-dousoukai.com/entry-form/>

【メーリングリスト登録のお願い】

同窓会では、会員が相互に情報交換を行うためにメーリングリストを活用して参りましたが、管理体制の見直しから、今回新たにリストを再構築する運びとなりました。

新規登録はもちろん、既にメーリングリストに登録され DM を受け取られていた会員の皆様におかれましても、大変お手数ではありますが、再度の登録をお願い申し上げます。

<https://www.sendainiko-dousoukai.com/ml-form/>

ご活用下さい！同窓会公式サイト（ホームページ）

仙台二高の Web サイト

<https://www.sendainiko-dousoukai.com> のご案内です。

第一に「住所・連絡先変更」コーナーをご活用下さい。卒業当時の住所から転居した方などが簡単に変更登録出来るようになっています。

第二に「同窓会関連 行事予定一覧（支部会・OB会・同期会等も含む）」コーナーにて開催予定などを掲載しております。同窓会の公式行事を初め各支部会やサークルなどのOB会の開催などでもご活用下さい。

同期会の開催案内なども掲載できますので、[info@sendainiko-dousoukai.com](mailto:info@sendainiko-dousoukai.com) まで開催情報をお寄せください。同窓生全体の情報のポータルサイトとして、一層のご活用をお願い致します。

二高への交通の便＜仙台駅前から＞

①お奨め

9 番乗り場 730系統毎時37分発、739系統毎時07分発、乗車時間13分程  
二高・県美術館前下車 料金190円

②遠回り

15番乗り場 839系統毎時26分発（県庁・東北大学病院経由）乗車時間30分前後  
二高・県美術館前下車 料金190円

③余裕のある時

16番乗り場 るーぶるバス 全日 9 時発20分毎 乗車時間40分前後  
国際センター駅・県美術館前下車 徒歩 1 分 料金260円

④地下鉄東西線

地下鉄仙台駅乗車 国際センター下車 徒歩 5 ～ 6 分

編集後記

会員皆様のご協力のおかげをもちまして、同窓会報第57号を無事発刊することができましたことを心より御礼申し上げます。今回はニュースレターと会報の時期が変更になり、一年半ぶりの会報発行となりました。寄稿や支部報告、OB会なども多数お寄せいただき、皆様の活発な活動が窺い知れる会報となりました。今後は二十歳を祝う会や若手会員交流会も予定されており、これからの同窓会を担う若手同窓生も積極的に同窓会活動にご参加いただければ幸いです。

島田 耕平（高53回）